

玉城町男女共同参画基本計画策定促進アンケート調査 報告書

平成 22 年 3 月

目 次

調査の概要及び回答者の属性.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象及び調査方法.....	1
3 回収の結果.....	1
4 分析上の留意点.....	1
5 回答者の属性.....	2
(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	3
(3) 家族構成.....	4
(4) 居住地区.....	6
(5) 職業.....	8
(6) 婚姻状況.....	10
調 査 結 果.....	12
1 男女平等について.....	12
(1) 各分野での男女の地位.....	12
(2) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について.....	31
2 家庭生活について.....	35
(1) 男女のしつけや教育.....	35
(2) 子育てについて.....	37
(3) 乳児や就学前の幼児について.....	53
(4) 手助けが必要な高齢者の有無.....	56
(5) 介護が必要になった場合の介護者.....	59
(6) 家庭生活の現実と希望.....	61
(7) 家庭内の仕事の分担.....	70
3 職業生活について.....	97
(1) 女性の職業で望ましい形態.....	97
(2) 女性は働きやすい状況にあるか.....	99
(3) 働きやすすくない理由.....	102
(4) 制度の認知状況及び取得状況.....	103
(5) 職場での男女の地位.....	113
(6) 男女平等だと思わない理由.....	116
4 社会活動等について.....	117
(1) 地域活動の参加状況.....	117
(2) 男性の参加促進に必要なこと.....	118

5	女性の人権、DVなどの男女間の暴力について	119
	(1) DV防止法の認知度	119
	(2) 発見した際の通知の認知	121
	(3) 男女間の暴力を受けた経験の有無	123
	(4) 暴力の内容及び暴力を受けた際の相談先	125
	(5) 暴力を受けた際に相談しなかった理由	127
	(6) 知っているDV相談窓口	128
6	自由意見.....	129

調査の概要及び回答者の属性

1 調査の目的

本調査は、玉城町の男女共同参画社会の形成に関する住民の考え等を把握し、玉城町の男女共同参画基本計画策定等の基礎資料とするために実施した。

2 調査対象及び調査方法

調査対象：平成 21 年 12 月現在、玉城町に居住する 20 歳以上の男女 1,500 名

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法

調査方法：郵送により配布・回収

調査期間：平成 21 年 12 月

3 回収の結果

配布数：1,500 件

有効回収数：817 件

回収率：54.5%

4 分析上の留意点

回答は全て百分率で表わし、小数点第二位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合がある。

性別・年齢等に集計してグラフ等を作成するなかで、無回答についてはグラフ作成に含められない部分があるため、合計すると合致しない箇所がある。

性別・年齢別に分析すると標本数が少ない場合は、集計表とあわせて表記しているが、クロス集計表とグラフは無回答者の処理により、合計が合致しない箇所がある。

「複数回答」の設問は回答比率の合計が 100%を超える。

集計結果の表やグラフでは、スペース等の都合上、回答の選択肢の言葉を簡略化して表現している場合がある。

今回の調査は、標本調査であるため、回答者のデータが町民の意識として十分信頼のおけるものであるかどうかをみる。

調査精度として、比率の推定の標本誤差をみるが、信頼度 95%レベルにおいた場合、これは統計学理論から次のように与えられる。

$$E = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P \times (1 - P)}{n}}$$

E：標本誤差

N：母集団の大きさ

n：標本の大きさ

P：あるカテゴリについての、母集団での回答率

この式の意味は、求める母集団におけるあるカテゴリ（注目した特性、多くの場合、調査項目と一致）の比率 P が、標本調査で得られた比率 P の前後 ± E の範囲に入っていると判断して 95% 間違いはないということである。

主な標本における比率の標本誤差 E（信頼度 95%レベル）

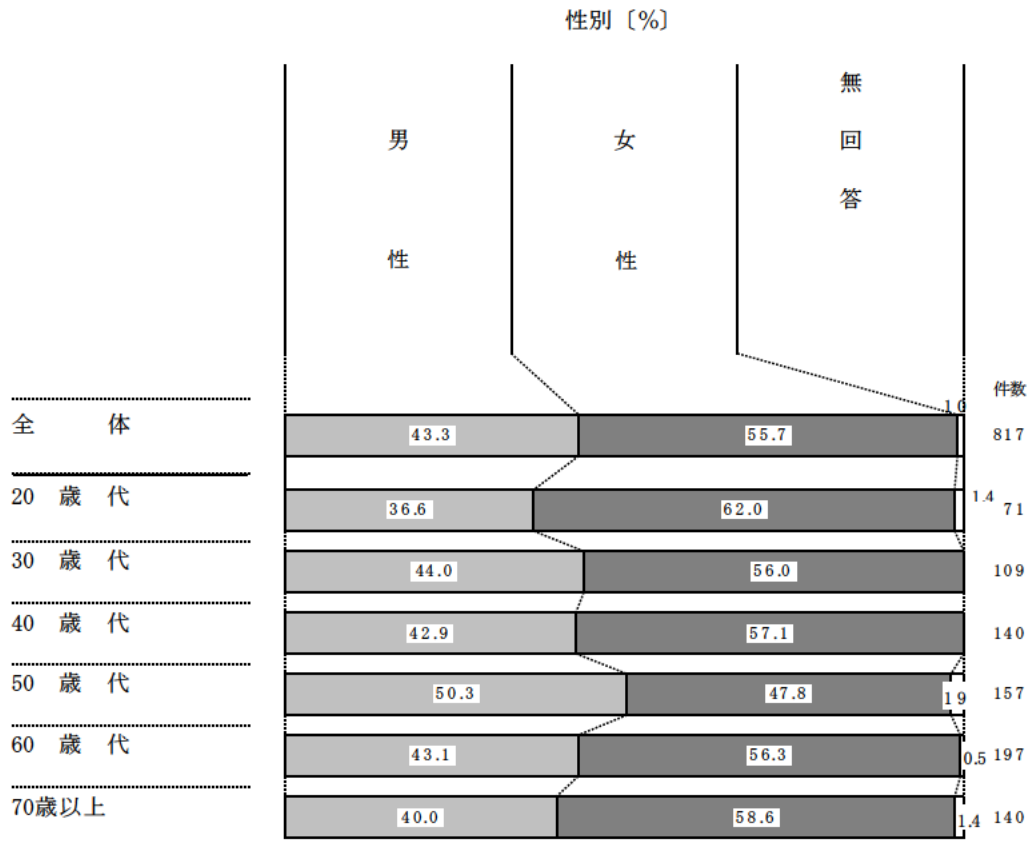
母集団	P(%)	5.0%	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%
15,360	n 数	95.0%	90.0%	85.0%	80.0%	75.0%	70.0%	65.0%	60.0%	55.0%	50.0%
全体	817	1.5	2.0	2.4	2.7	2.9	3.1	3.2	3.3	3.3	3.3

5 回答者の属性

あなたご自身のことについておたずねします。

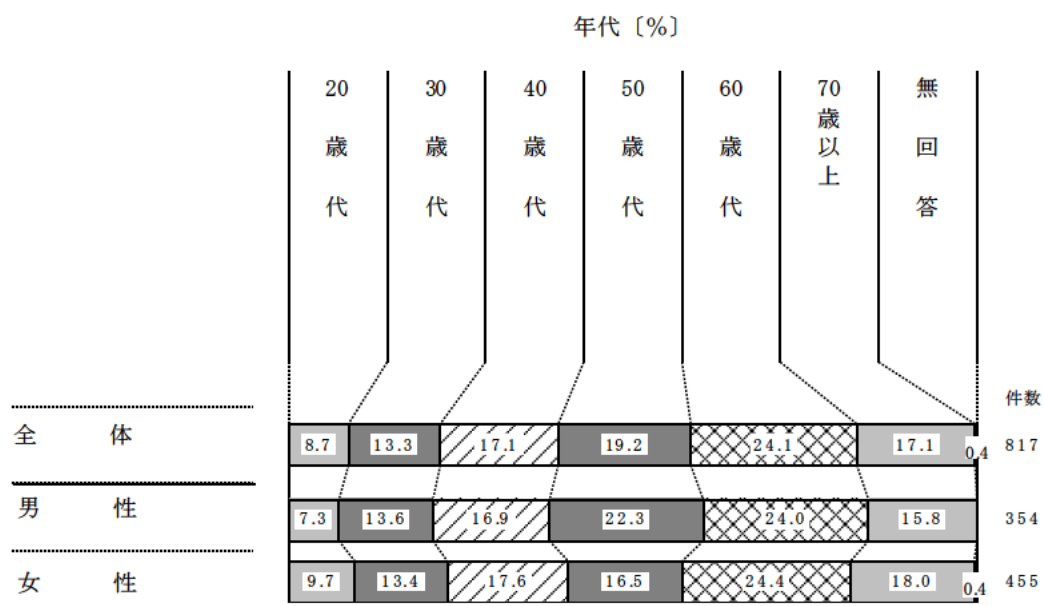
(1) 性別

- 「女性」が 55.7%と多く、「男性」は 43.3%である。



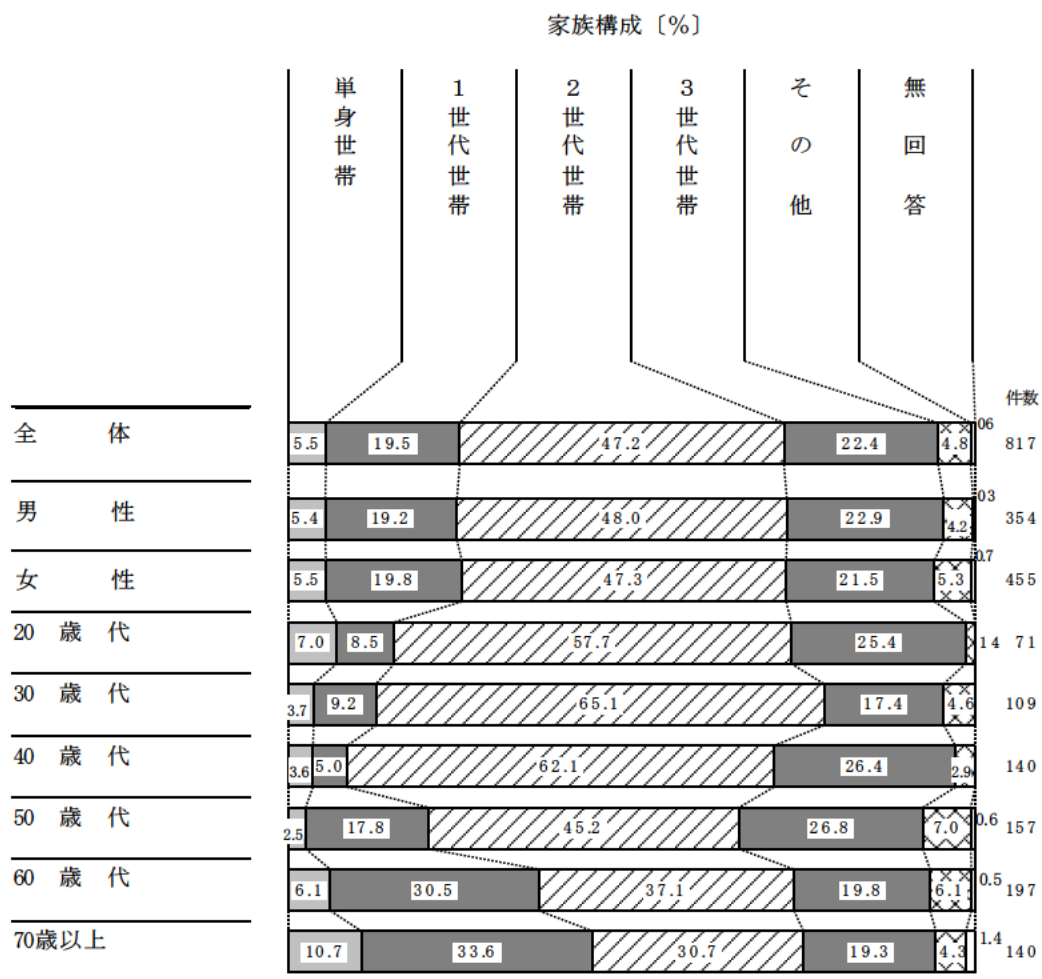
(2) 年齢

- 「60 歳代」が 24.1%と最も多く、以下、「50 歳代」(19.2%)、「40 歳代」及び「70 歳代」(同率 17.1%)、「30 歳代」(13.3%)、「20 歳代」(8.7%) である。



(3) 家族構成

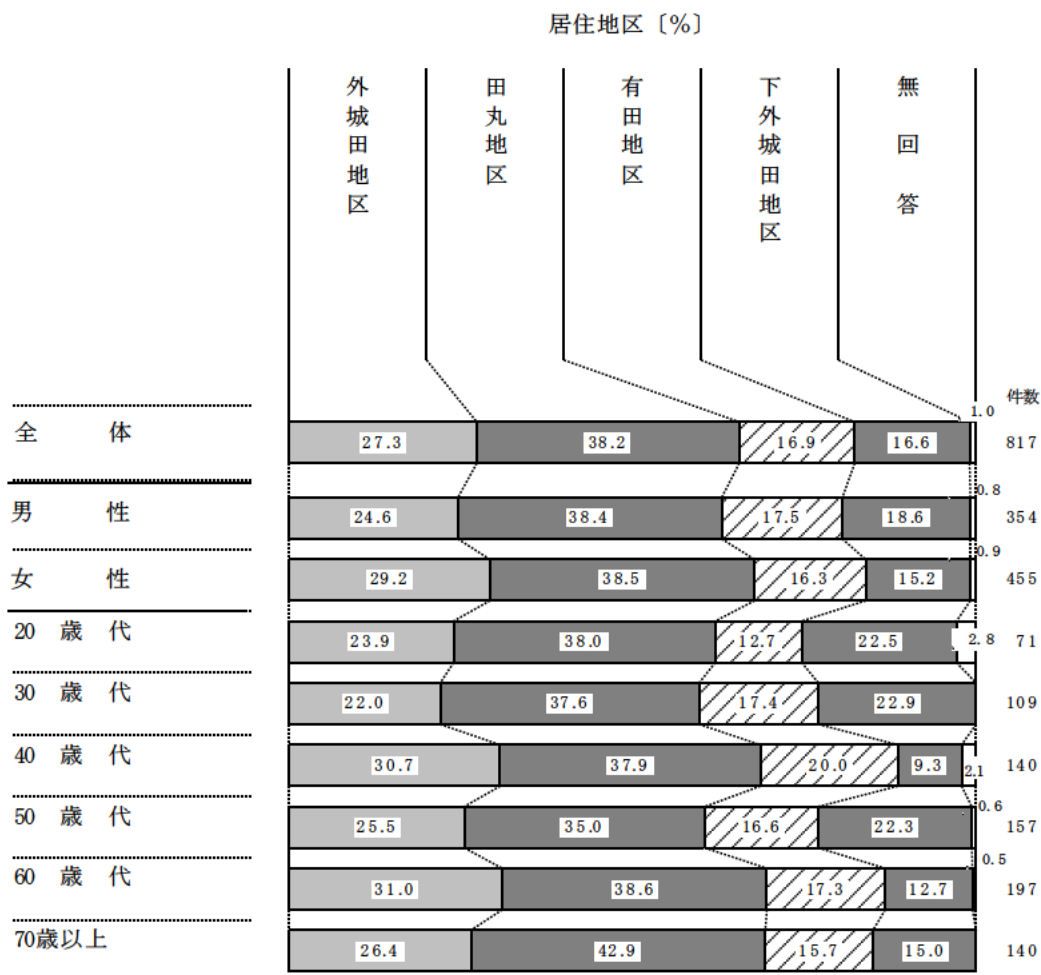
- 「2 世代世帯」が 47.2%と最も多く、以下「3 世代世帯」(22.4%)、「1 世代世帯」(19.5%)、「単身世帯」(5.5%) である。



		家族構成(%)						
		全 体	単身世帯	1世代世帯	2世代世帯	3世代世帯	その他	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	45 5.5	159 19.5	386 47.2	183 22.4	39 4.8	5 0.6
	男性計	354 100.0	19 5.4	68 19.2	170 48.0	81 22.9	15 4.2	1 0.3
	20歳代	26 100.0	3 11.5	3 11.5	13 50.0	7 26.9	- -	- -
	30歳代	48 100.0	1 2.1	6 12.5	30 62.5	8 16.7	3 6.3	- -
	40歳代	60 100.0	3 5.0	4 6.7	37 61.7	14 23.3	2 3.3	- -
	50歳代	79 100.0	2 2.5	9 11.4	39 49.4	24 30.4	4 5.1	1 1.3
	60歳代	85 100.0	4 4.7	27 31.8	33 38.8	18 21.2	3 3.5	- -
	70歳以上	56 100.0	6 10.7	19 33.9	18 32.1	10 17.9	3 5.4	- -
	女性計	453 100.0	25 5.5	89 19.6	215 47.5	97 21.4	24 5.3	3 0.7
	20歳代	44 100.0	2 4.5	3 6.8	27 61.4	11 25.0	1 2.3	- -
	30歳代	61 100.0	3 4.9	4 6.6	41 67.2	11 18.0	2 3.3	- -
	40歳代	80 100.0	2 2.5	3 3.8	50 62.5	23 28.8	2 2.5	- -
	50歳代	75 100.0	2 2.7	18 24.0	32 42.7	16 21.3	7 9.3	- -
	60歳代	111 100.0	7 6.3	33 29.7	40 36.0	21 18.9	9 8.1	1 0.9
	70歳以上	82 100.0	9 11.0	28 34.1	25 30.5	15 18.3	3 3.7	2 2.4

(4) 居住地区

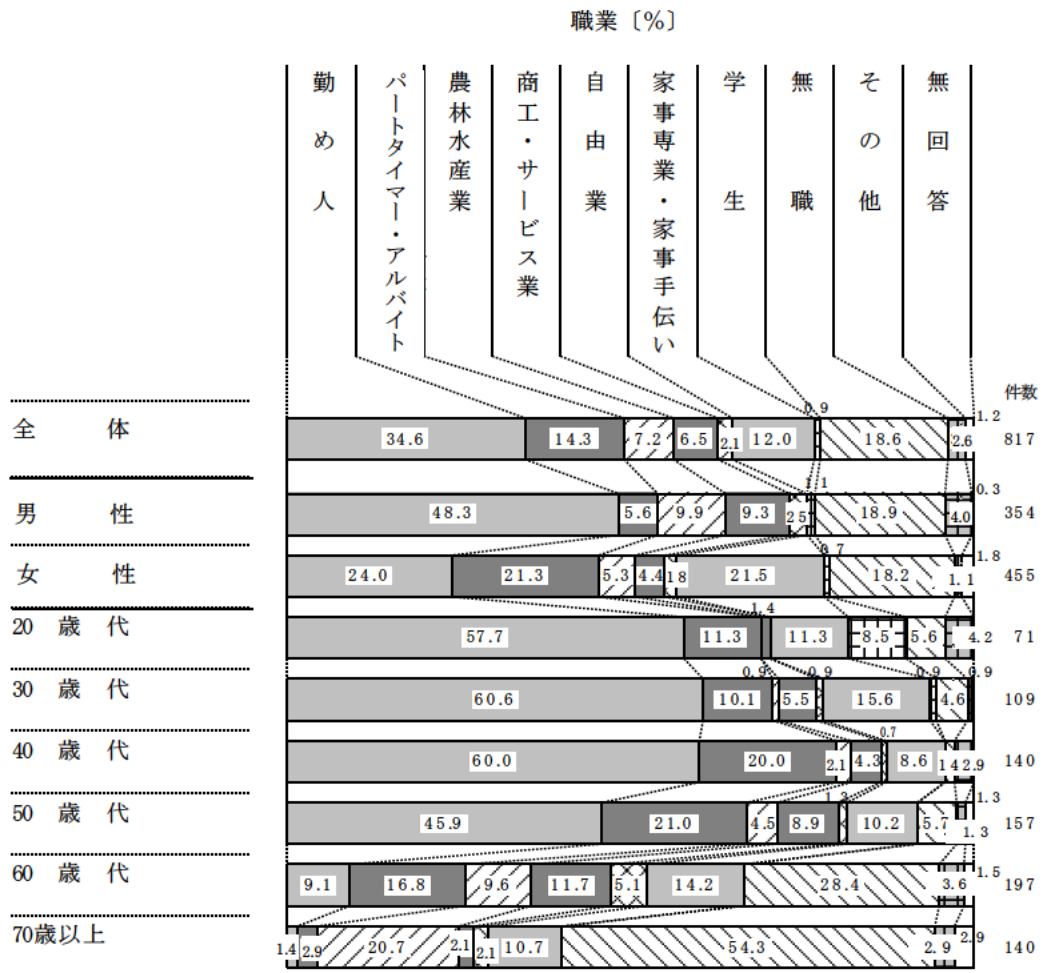
- 「田丸地区」が38.2%と最も多く、以下「外城田地区」(27.3%)、「有田地区」(16.9%)、「下外城田地区」(16.6%)である。



		居住地区(%)					
		全 体	外城田地区	田丸地区	有田地区	下外城田地区	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	223 27.3	312 38.2	138 16.9	136 16.6	8 1.0
	男性計	354 100.0	87 24.6	136 38.4	62 17.5	66 18.6	3 0.8
	20歳代	26 100.0	9 34.6	8 30.8	1 3.8	8 30.8	- -
	30歳代	48 100.0	10 20.8	22 45.8	6 12.5	10 20.8	- -
	40歳代	60 100.0	17 28.3	20 33.3	15 25.0	6 10.0	2 3.3
	50歳代	79 100.0	16 20.3	30 38.0	11 13.9	21 26.6	1 1.3
	60歳代	85 100.0	21 24.7	32 37.6	19 22.4	13 15.3	- -
	70歳以上	56 100.0	14 25.0	24 42.9	10 17.9	8 14.3	- -
	女性計	453 100.0	132 29.1	175 38.6	74 16.3	68 15.0	4 0.9
	20歳代	44 100.0	8 18.2	18 40.9	8 18.2	8 18.2	2 4.5
	30歳代	61 100.0	14 23.0	19 31.1	13 21.3	15 24.6	- -
	40歳代	80 100.0	26 32.5	33 41.3	13 16.3	7 8.8	1 1.3
	50歳代	75 100.0	23 30.7	25 33.3	14 18.7	13 17.3	- -
	60歳代	111 100.0	40 36.0	44 39.6	14 12.6	12 10.8	1 0.9
	70歳以上	82 100.0	21 25.6	36 43.9	12 14.6	13 15.9	- -

(5) 職業

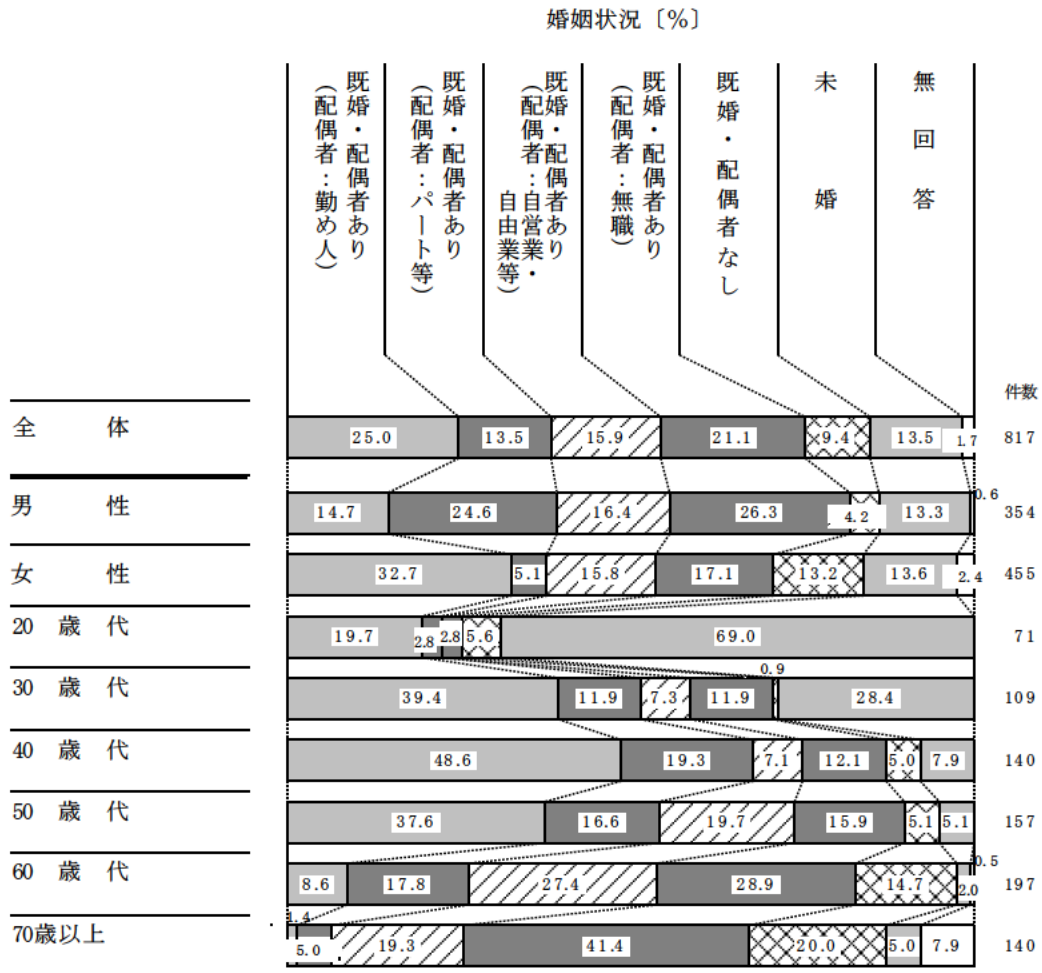
- 「勤め人」が34.6%と最も多く、以下「無職」(18.6%)、「パートタイマー・アルバイト」(14.3%)、「家事専業・家事手伝い」(12.0%)である。
- 性別で見ると、男性は「勤め人」が48.3%と女性(24.0%)よりも約2倍と高い。女性は「勤め人」の比率が男性よりも低く、「パートタイマー・アルバイト」が高くなっている。
- 年齢別では、50歳代以上は「勤め人」の割合が低下し、50歳代で45.9%、60歳代では9.1%である。60歳代以上で「無職」の割合が高くなっている。



		職業 [%]										
		全 体	勤め人	パートタイ マー・アル バイト	農林水産業	商工・サー ビス業	自由業	家事専業・ 家事手伝い	学生	無職	その他	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	283 34.6	117 14.3	59 7.2	53 6.5	17 2.1	98 12.0	7 0.9	152 18.6	21 2.6	10 1.2
	男性計	354 100.0	171 48.3	20 5.6	35 9.9	33 9.3	9 2.5	- -	4 1.1	67 18.9	14 4.0	1 0.3
	20歳代	26 100.0	15 57.7	2 7.7	- -	1 3.8	- -	- -	4 15.4	2 7.7	2 7.7	- -
	30歳代	48 100.0	37 77.1	- -	1 2.1	6 12.5	1 2.1	- -	- -	2 4.2	1 2.1	- -
	40歳代	60 100.0	49 81.7	- -	2 3.3	5 8.3	- -	- -	- -	1 1.7	3 5.0	- -
	50歳代	79 100.0	56 70.9	5 6.3	5 6.3	5 6.3	2 2.5	- -	- -	4 5.1	2 2.5	- -
	60歳代	85 100.0	13 15.3	10 11.8	9 10.6	14 16.5	4 4.7	- -	- -	30 35.3	5 5.9	- -
	70歳以上	56 100.0	1 1.8	3 5.4	18 32.1	2 3.6	2 3.6	- -	- -	28 50.0	1 1.8	1 1.8
	女性計	453 100.0	109 24.1	97 21.4	24 5.3	20 4.4	8 1.8	96 21.2	3 0.7	83 18.3	5 1.1	8 1.8
	20歳代	44 100.0	26 59.1	6 13.6	- -	- -	- -	8 18.2	2 4.5	2 4.5	- -	- -
	30歳代	61 100.0	29 47.5	11 18.0	- -	- -	- -	17 27.9	1 1.6	3 4.9	- -	- -
	40歳代	80 100.0	35 43.8	28 35.0	1 1.3	1 1.3	1 1.3	12 15.0	- -	1 1.3	1 1.3	- -
	50歳代	75 100.0	13 17.3	28 37.3	2 2.7	9 12.0	- -	16 21.3	- -	5 6.7	- -	2 2.7
	60歳代	111 100.0	5 4.5	23 20.7	10 9.0	9 8.1	6 5.4	28 25.2	- -	25 22.5	2 1.8	3 2.7
	70歳以上	82 100.0	1 1.2	1 1.2	11 13.4	1 1.2	1 1.2	15 18.3	- -	47 57.3	2 2.4	3 3.7

(6) 婚姻状況

- 「既婚・配偶者あり（配偶者：勤め人）」（25.0%）と最も多く、「既婚・配偶者あり（配偶者：無職）」が21.1%、「既婚・配偶者あり（配偶者：自営業・自由業等）」が15.9%である。
- 性別で見ると、女性は「既婚・配偶者あり（配偶者：勤め人）」が32.7%と男性（14.7%）よりも18ポイント上回る。
- 年齢別で見ると、「既婚・配偶者あり（配偶者：勤め人）」は40歳代で48.6%と高く、30歳代、50歳代でも40%近い。



		婚姻状況[%]							
		全 体	既婚・配偶者あり(配偶者:勤め人)	既婚・配偶者あり(配偶者:パート等)	既婚・配偶者あり(配偶者:自営業・自由業等)	既婚・配偶者あり(配偶者:無職)	既婚・配偶者なし	未婚	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	204 25.0	110 13.5	130 15.9	172 21.1	77 9.4	110 13.5	14 1.7
	男性計	354 100.0	52 14.7	87 24.6	58 16.4	93 26.3	15 4.2	47 13.3	2 0.6
	20歳代	26 100.0	3 11.5	1 3.8	- -	2 7.7	2 7.7	18 69.2	- -
	30歳代	48 100.0	9 18.8	12 25.0	5 10.4	11 22.9	- -	11 22.9	- -
	40歳代	60 100.0	8 13.3	26 43.3	2 3.3	16 26.7	1 1.7	7 11.7	- -
	50歳代	79 100.0	24 30.4	22 27.8	11 13.9	16 20.3	1 1.3	5 6.3	- -
	60歳代	85 100.0	8 9.4	22 25.9	23 27.1	27 31.8	2 2.4	3 3.5	- -
	70歳以上	56 100.0	- -	4 7.1	17 30.4	21 37.5	9 16.1	3 5.4	2 3.6
	女性計	453 100.0	148 32.7	23 5.1	72 15.9	78 17.2	60 13.2	62 13.7	10 2.2
	20歳代	44 100.0	11 25.0	1 2.3	- -	- -	2 4.5	30 68.2	- -
	30歳代	61 100.0	34 55.7	1 1.6	3 4.9	2 3.3	1 1.6	20 32.8	- -
	40歳代	80 100.0	60 75.0	1 1.3	8 10.0	1 1.3	6 7.5	4 5.0	- -
	50歳代	75 100.0	32 42.7	4 5.3	20 26.7	9 12.0	7 9.3	3 4.0	- -
	60歳代	111 100.0	9 8.1	13 11.7	31 27.9	30 27.0	26 23.4	1 0.9	1 0.9
	70歳以上	82 100.0	2 2.4	3 3.7	10 12.2	36 43.9	18 22.0	4 4.9	9 11.0

調査結果

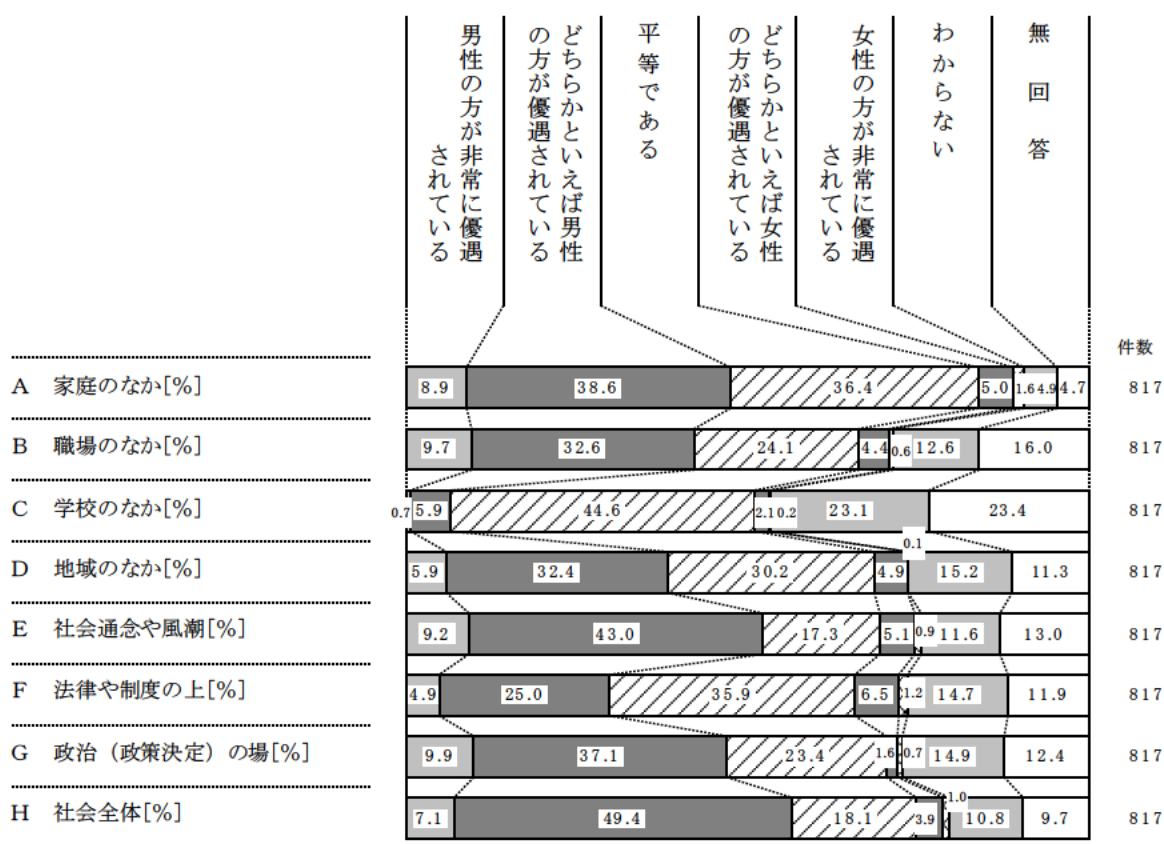
1 男女平等について

問1. あなたは、次にあげるA～Hの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。

(1) 各分野での男女の地位

【全体】(A～H)

- 「平等である」が最も高いのは、「C 学校のなか」が44.6%で、ついで「A 家庭のなか」(36.4%)と「F 法律や制度の上」(35.9%)が同程度が続いている。『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が高い項目は、「H 社会全体」(56.5%)、「E 社会通念」(52.2%)で、50%を超えている。

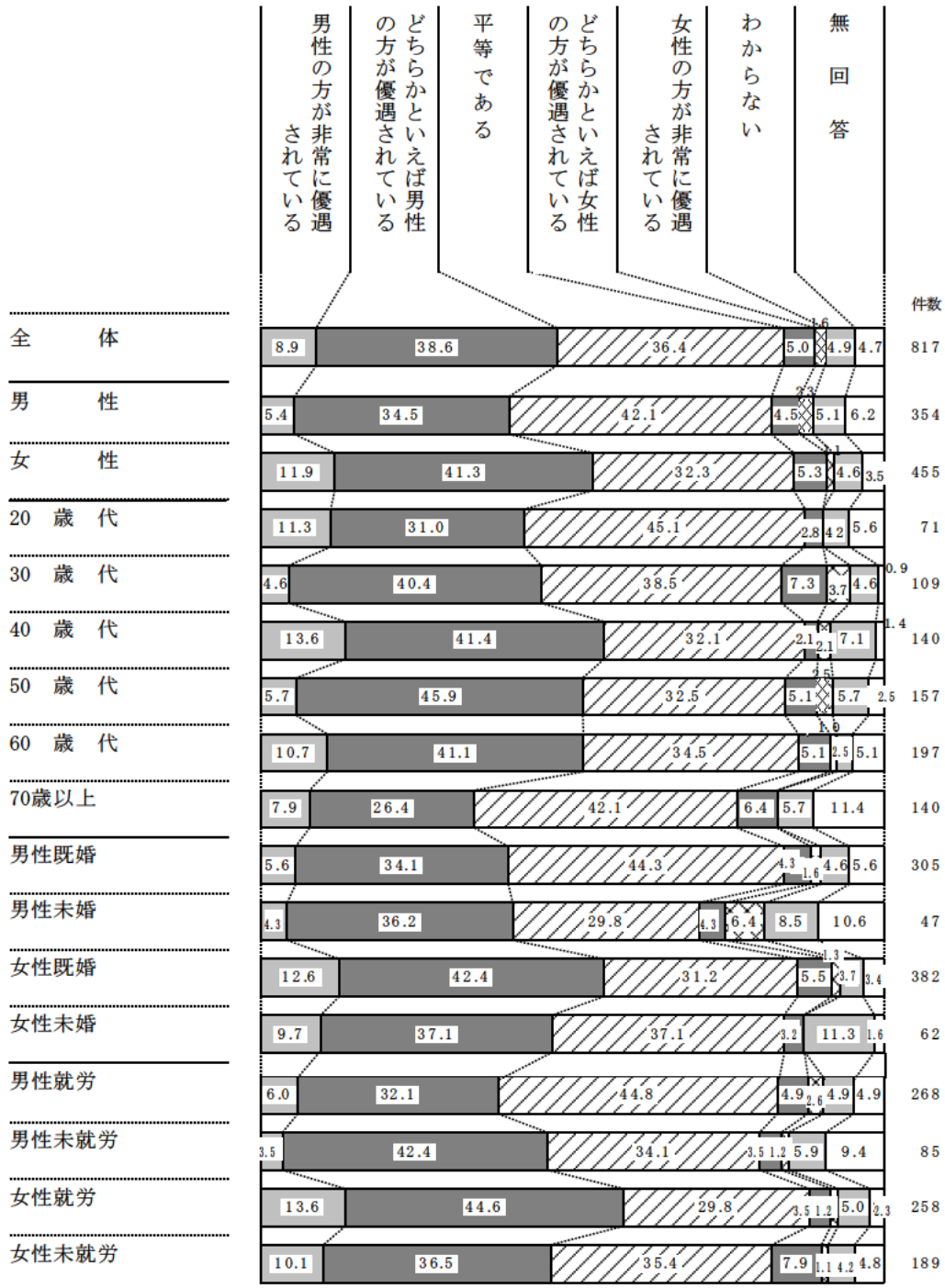


※『男性の方が優遇されている』は、本来の選択肢の「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合を合計している。『女性の方が優遇されている』は、本来の選択肢の「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 家庭のなか】

- 「平等である」が36.4%となり、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は47.5%に上る。
- 性別で見ると、男性は「平等である」が42.1%と女性（32.3%）よりも9.8ポイント上回る。
- 年齢別では、20歳代は「平等である」が45.1%と高い。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は「平等である」が44.3%と女性既婚者（31.2%）よりも13.1ポイント上回る。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が58.2%と高い。

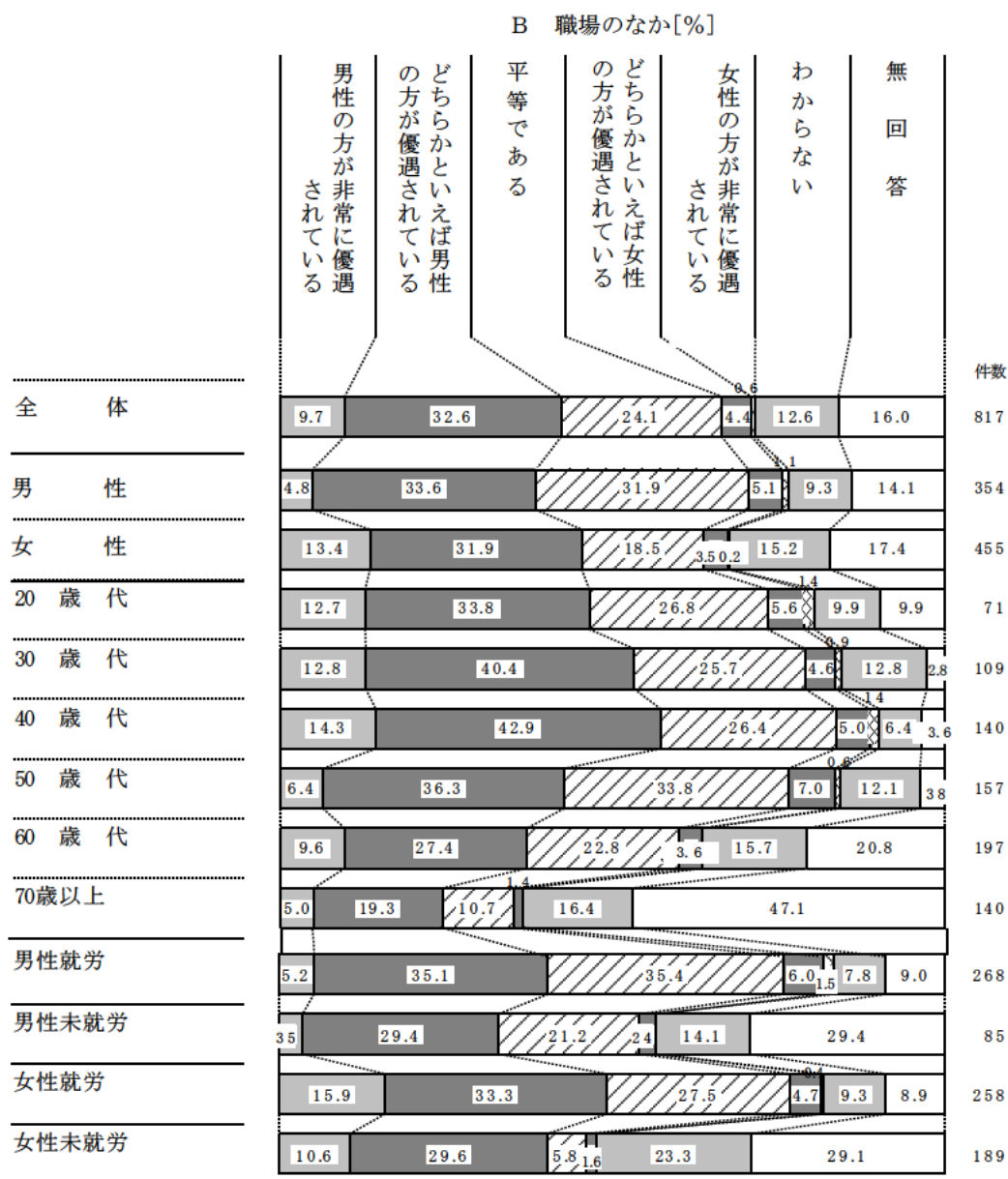
A 家庭のなか[%]



		A 家庭のなか[%]							
		全 体	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等である	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	73 8.9	315 38.6	297 36.4	41 5.0	13 1.6	40 4.9	38 4.7
	男性計	354 100.0	19 5.4	122 34.5	149 42.1	16 4.5	8 2.3	18 5.1	22 6.2
	20歳代	26 100.0	1 3.8	9 34.6	12 46.2	1 3.8	-	1 3.8	2 7.7
	30歳代	48 100.0	-	12 25.0	22 45.8	6 12.5	4 8.3	3 6.3	1 2.1
	40歳代	60 100.0	5 8.3	21 35.0	24 40.0	1 1.7	2 3.3	6 10.0	1 1.7
	50歳代	79 100.0	3 3.8	33 41.8	34 43.0	2 2.5	1 1.3	4 5.1	2 2.5
	60歳代	85 100.0	6 7.1	35 41.2	30 35.3	4 4.7	1 1.2	-	9 10.6
	70歳以上	56 100.0	4 7.1	12 21.4	27 48.2	2 3.6	-	4 7.1	7 12.5
	女性計	453 100.0	54 11.9	187 41.3	147 32.5	24 5.3	5 1.1	21 4.6	15 3.3
	20歳代	44 100.0	7 15.9	13 29.5	20 45.5	1 2.3	-	1 2.3	2 4.5
	30歳代	61 100.0	5 8.2	32 52.5	20 32.8	2 3.3	-	2 3.3	-
	40歳代	80 100.0	14 17.5	37 46.3	21 26.3	2 2.5	1 1.3	4 5.0	1 1.3
	50歳代	75 100.0	6 8.0	37 49.3	16 21.3	6 8.0	3 4.0	5 6.7	2 2.7
	60歳代	111 100.0	15 13.5	45 40.5	38 34.2	6 5.4	1 0.9	5 4.5	1 0.9
	70歳以上	82 100.0	7 8.5	23 28.0	32 39.0	7 8.5	-	4 4.9	9 11.0

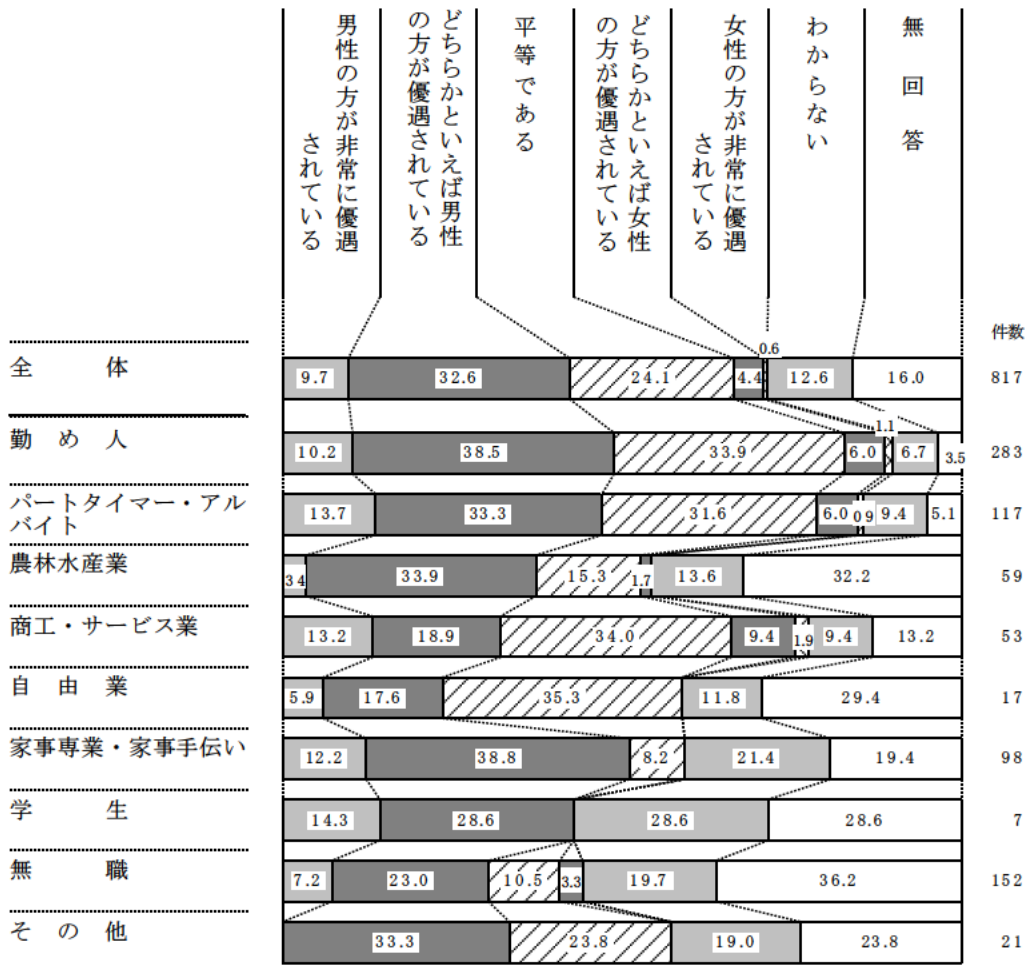
【B 職場のなか】

- 「平等である」が24.1%となり、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は42.3%に上る。
- 性別で見ると、男性は「平等である」が31.9%と女性（18.5%）よりも13.4ポイント上回る。
- 性別・就労別では、男女とも就労者は、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が40%を超えており、女性就労者では49.2%と高い。
- 職業別では、勤め人とパートタイマー・アルバイトは「平等である」割合が全体に比べてやや高く、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」との差が小さくなっている。



		B職場のなか[%]							
		全 体	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等である	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	79 9.7	266 32.6	197 24.1	36 4.4	5 0.6	103 12.6	131 16.0
	男性計	354 100.0	17 4.8	119 33.6	113 31.9	18 5.1	4 1.1	33 9.3	50 14.1
	20歳代	26 100.0	2 7.7	7 26.9	9 34.6	2 7.7	1 3.8	2 7.7	3 11.5
	30歳代	48 100.0	4 8.3	19 39.6	16 33.3	2 4.2	1 2.1	4 8.3	2 4.2
	40歳代	60 100.0	5 8.3	27 45.0	15 25.0	5 8.3	2 3.3	4 6.7	2 3.3
	50歳代	79 100.0	2 2.5	30 38.0	38 48.1	6 7.6	-	1 1.3	2 2.5
	60歳代	85 100.0	3 3.5	24 28.2	26 30.6	2 2.4	-	11 12.9	19 22.4
	70歳以上	56 100.0	1 1.8	12 21.4	9 16.1	1 1.8	-	11 19.6	22 39.3
	女性計	453 100.0	61 13.5	145 32.0	84 18.5	16 3.5	1 0.2	69 15.2	77 17.0
	20歳代	44 100.0	7 15.9	17 38.6	10 22.7	2 4.5	-	4 9.1	4 9.1
	30歳代	61 100.0	10 16.4	25 41.0	12 19.7	3 4.9	-	10 16.4	1 1.6
	40歳代	80 100.0	15 18.8	33 41.3	22 27.5	2 2.5	-	5 6.3	3 3.8
	50歳代	75 100.0	8 10.7	26 34.7	15 20.0	3 4.0	1 1.3	18 24.0	4 5.3
	60歳代	111 100.0	15 13.5	30 27.0	19 17.1	5 4.5	-	20 18.0	22 19.8
	70歳以上	82 100.0	6 7.3	14 17.1	6 7.3	1 1.2	-	12 14.6	43 52.4

B 職場のなか[%]

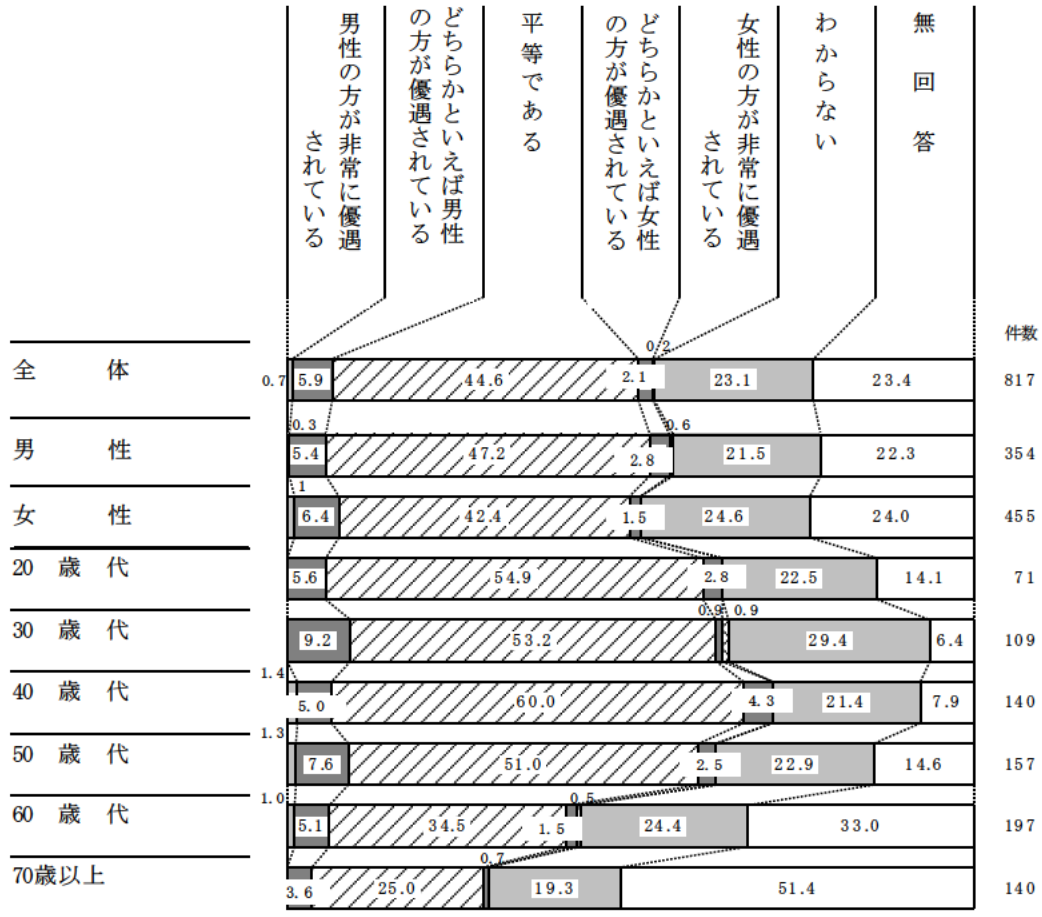


※自由業、学生、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。

【C 学校のなか】

- 『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は6.6%にとどまっている。
- 年齢別では、40歳代は「平等である」が60.0%と特に高い。

C 学校のなか[%]

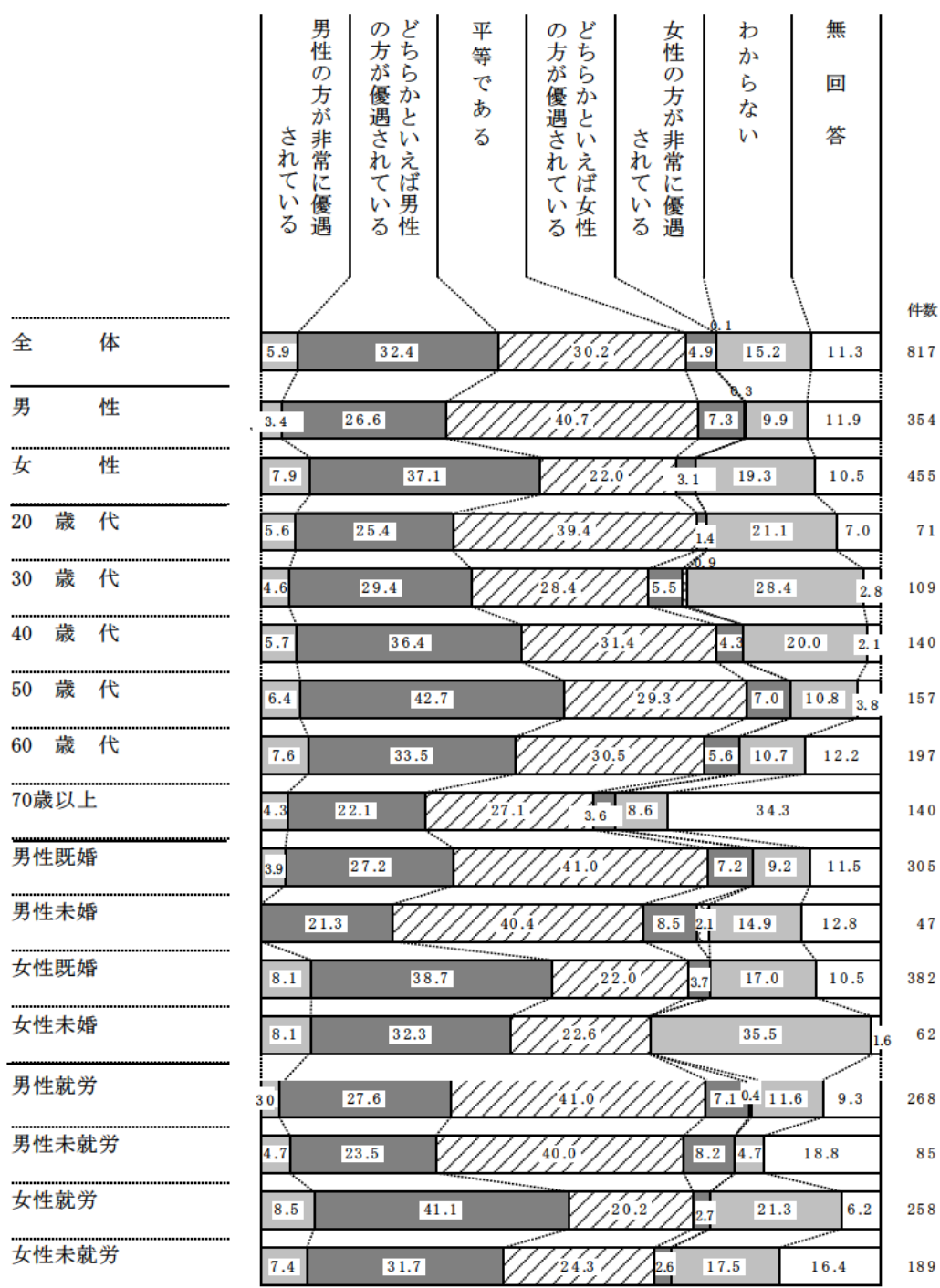


		C 学校のなか[%]							
		全 体	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等である	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	6 0.7	48 5.9	364 44.6	17 2.1	2 0.2	189 23.1	191 23.4
	男性計	354 100.0	1 0.3	19 5.4	167 47.2	10 2.8	2 0.6	76 21.5	79 22.3
	20歳代	26 100.0	- -	2 7.7	16 61.5	2 7.7	- -	2 7.7	4 15.4
	30歳代	48 100.0	- -	3 6.3	24 50.0	1 2.1	1 2.1	15 31.3	4 8.3
	40歳代	60 100.0	1 1.7	2 3.3	37 61.7	2 3.3	- -	14 23.3	4 6.7
	50歳代	79 100.0	- -	4 5.1	46 58.2	3 3.8	- -	15 19.0	11 13.9
	60歳代	85 100.0	- -	4 4.7	28 32.9	2 2.4	1 1.2	20 23.5	30 35.3
	70歳以上	56 100.0	- -	4 7.1	16 28.6	- -	- -	10 17.9	26 46.4
	女性計	453 100.0	5 1.1	29 6.4	193 42.6	7 1.5	- -	112 24.7	107 23.6
	20歳代	44 100.0	- -	2 4.5	23 52.3	- -	- -	13 29.5	6 13.6
	30歳代	61 100.0	- -	7 11.5	34 55.7	- -	- -	17 27.9	3 4.9
	40歳代	80 100.0	1 1.3	5 6.3	47 58.8	4 5.0	- -	16 20.0	7 8.8
	50歳代	75 100.0	2 2.7	8 10.7	32 42.7	1 1.3	- -	21 28.0	11 14.7
	60歳代	111 100.0	2 1.8	6 5.4	39 35.1	1 0.9	- -	28 25.2	35 31.5
	70歳以上	82 100.0	- -	1 1.2	18 22.0	1 1.2	- -	17 20.7	45 54.9

【D 地域のなか】

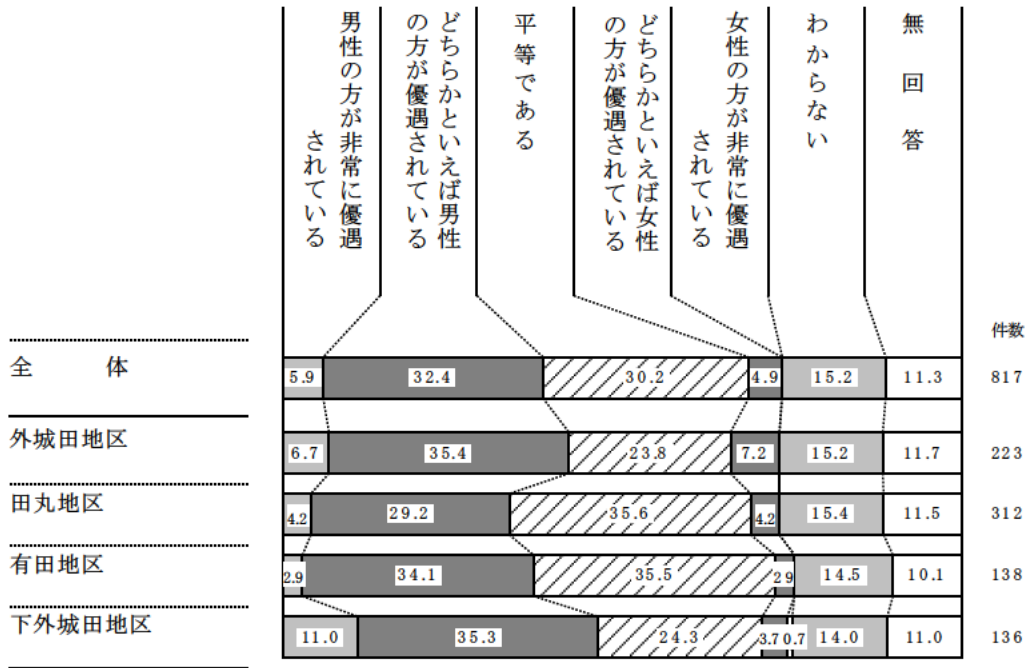
- 「平等である」が 30.2%となり、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は 38.3%に上る。
- 性別で見ると、男性は「平等である」が 40.7%と女性 (22.0%) よりも 18.7 ポイント上回る。
- 年齢別では、20 歳代は「平等である」が 39.4%と最も高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が 49.6%に上る。
- 居住地区別では、田丸地区と有田地区の回答者は、「平等である」が 35%を超えて高い。

D 地域のなか[%]



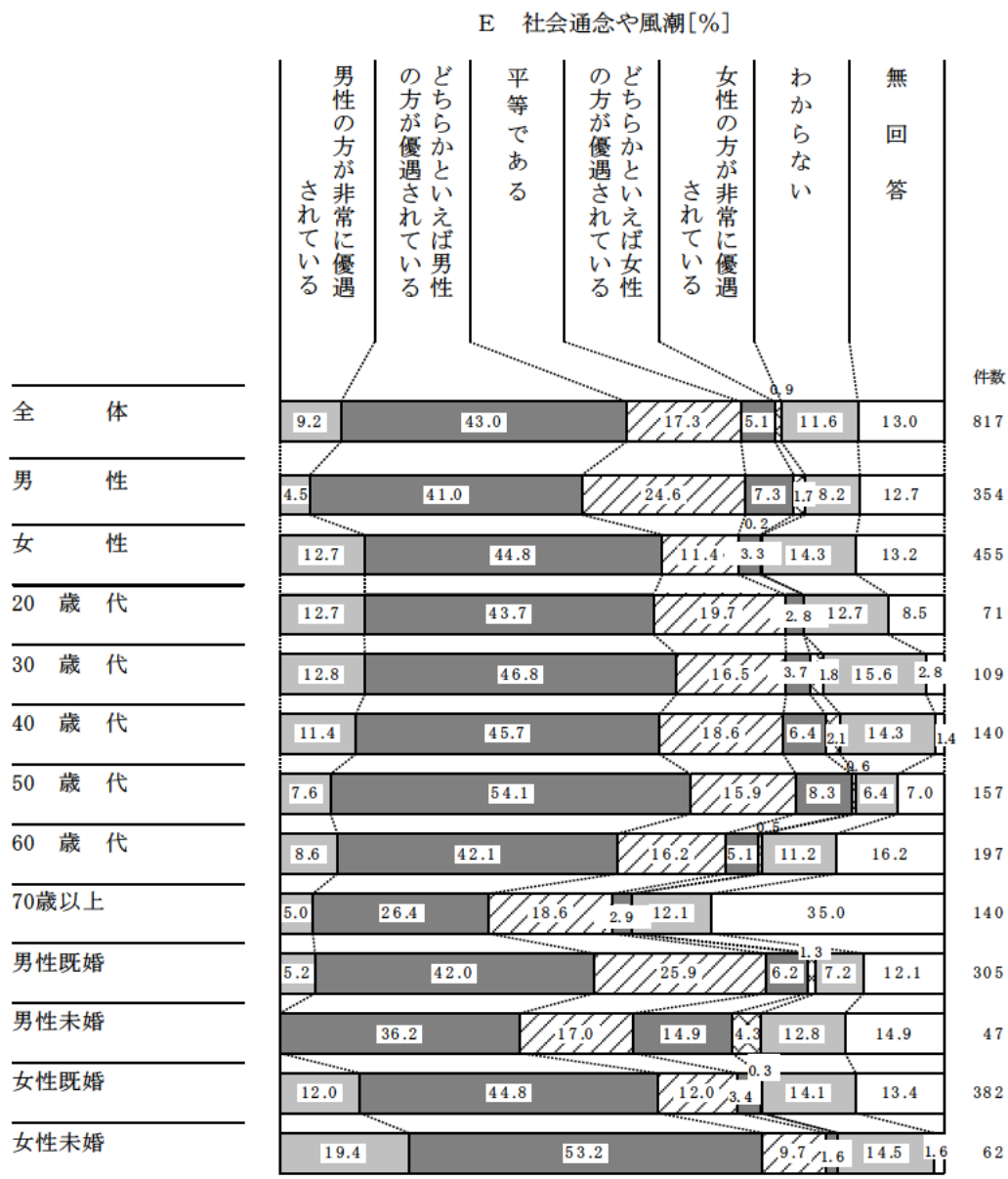
		D 地域のなか[%]							
		全 体	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらか といえば男性 の方が優遇 されている	平等である	どちらか といえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	48 5.9	265 32.4	247 30.2	40 4.9	1 0.1	124 15.2	92 11.3
	男性計	354 100.0	12 3.4	94 26.6	144 40.7	26 7.3	1 0.3	35 9.9	42 11.9
	20歳代	26 100.0	1 3.8	6 23.1	13 50.0	1 3.8	-	3 11.5	2 7.7
	30歳代	48 100.0	1 2.1	9 18.8	20 41.7	5 10.4	1 2.1	9 18.8	3 6.3
	40歳代	60 100.0	2 3.3	17 28.3	24 40.0	4 6.7	-	11 18.3	2 3.3
	50歳代	79 100.0	2 2.5	30 38.0	30 38.0	8 10.1	-	5 6.3	4 5.1
	60歳代	85 100.0	4 4.7	18 21.2	39 45.9	7 8.2	-	4 4.7	13 15.3
	70歳以上	56 100.0	2 3.6	14 25.0	18 32.1	1 1.8	-	3 5.4	18 32.1
	女性計	453 100.0	36 7.9	169 37.3	100 22.1	14 3.1	-	88 19.4	46 10.2
	20歳代	44 100.0	3 6.8	12 27.3	15 34.1	-	-	11 25.0	3 6.8
	30歳代	61 100.0	4 6.6	23 37.7	11 18.0	1 1.6	-	22 36.1	-
	40歳代	80 100.0	6 7.5	34 42.5	20 25.0	2 2.5	-	17 21.3	1 1.3
	50歳代	75 100.0	8 10.7	36 48.0	14 18.7	3 4.0	-	12 16.0	2 2.7
	60歳代	111 100.0	11 9.9	47 42.3	21 18.9	4 3.6	-	17 15.3	11 9.9
	70歳以上	82 100.0	4 4.9	17 20.7	19 23.2	4 4.9	-	9 11.0	29 35.4

D 地域のなか[%]



【E 社会通念や風潮】

- 「平等である」が17.3%となり、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は52.2%に上る。
- 性別で見ると、男性は「平等である」が24.6%と女性（11.4%）よりも13.2ポイント高い。
- 年齢別では、50歳代は『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が61.7%と高く、50歳代以上では低下している。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は『男性の方が優遇されている』と答えた人の比率が特に高く、7割程度に上る。

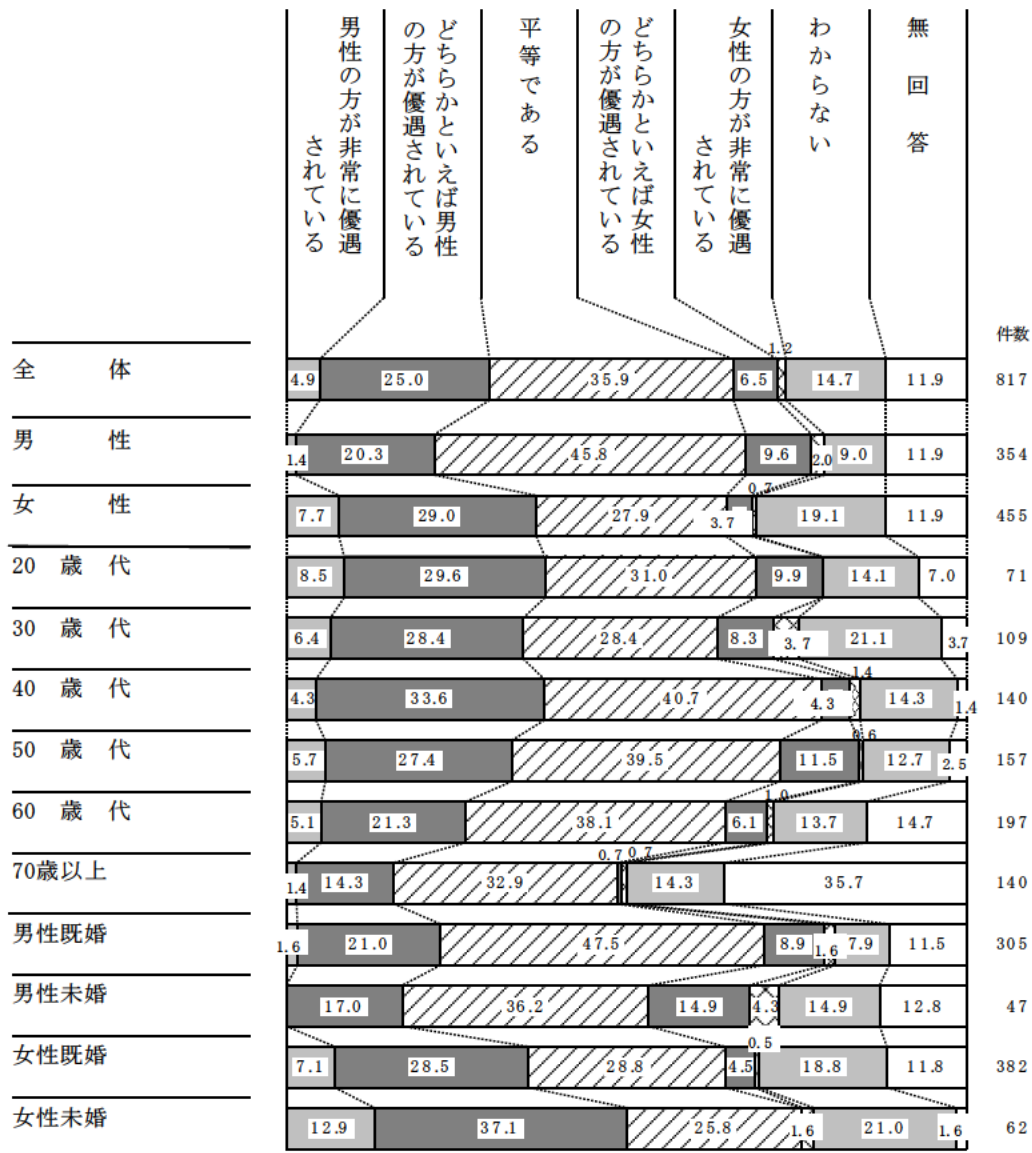


		E 社会通念や風潮 (%)							
		全 体	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらか といえば男性 の方が優遇 されている	平等である	どちらか といえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	75 9.2	351 43.0	141 17.3	42 5.1	7 0.9	95 11.6	106 13.0
	男性計	354 100.0	16 4.5	145 41.0	87 24.6	26 7.3	6 1.7	29 8.2	45 12.7
	20歳代	26 100.0	1 3.8	9 34.6	8 30.8	2 7.7	-	3 11.5	3 11.5
	30歳代	48 100.0	2 4.2	17 35.4	15 31.3	3 6.3	2 4.2	6 12.5	3 6.3
	40歳代	60 100.0	4 6.7	25 41.7	15 25.0	5 8.3	3 5.0	7 11.7	1 1.7
	50歳代	79 100.0	2 2.5	44 55.7	16 20.3	10 12.7	-	3 3.8	4 5.1
	60歳代	85 100.0	5 5.9	33 38.8	19 22.4	6 7.1	1 1.2	5 5.9	16 18.8
	70歳以上	56 100.0	2 3.6	17 30.4	14 25.0	-	-	5 8.9	18 32.1
	女性計	453 100.0	58 12.8	204 45.0	52 11.5	15 3.3	1 0.2	65 14.3	58 12.8
	20歳代	44 100.0	8 18.2	22 50.0	6 13.6	-	-	5 11.4	3 6.8
	30歳代	61 100.0	12 19.7	34 55.7	3 4.9	1 1.6	-	11 18.0	-
	40歳代	80 100.0	12 15.0	39 48.8	11 13.8	4 5.0	-	13 16.3	1 1.3
	50歳代	75 100.0	10 13.3	40 53.3	8 10.7	2 2.7	1 1.3	7 9.3	7 9.3
	60歳代	111 100.0	11 9.9	50 45.0	13 11.7	4 3.6	-	17 15.3	16 14.4
	70歳以上	82 100.0	5 6.1	19 23.2	11 13.4	4 4.9	-	12 14.6	31 37.8

【F 法律や制度の上】

- 「平等である」が35.9%と最も多く、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は29.9%となっている。
- 性別で見ると、男性は「平等である」が45.8%と女性(27.9%)よりも17.9ポイント上回る。
- 年齢別では、50歳代以下は『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が高く、30%を超えている。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は「平等である」が47.5%に上る一方、女性未婚者は『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が50.0%を占めている。

F 法律や制度の上[%]

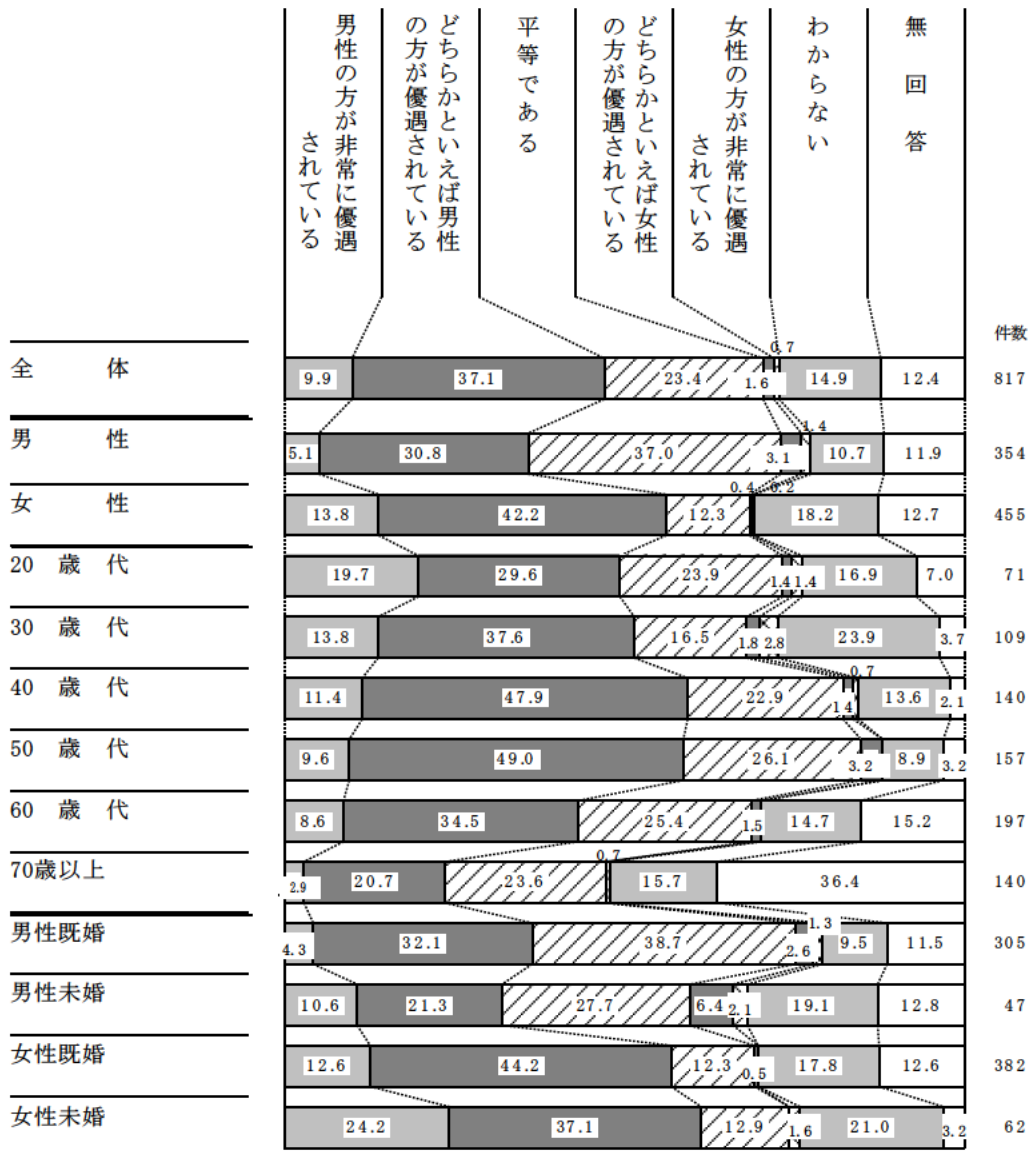


		F 法律や制度の上 [%]							
		全 体	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等である	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	40 4.9	204 25.0	293 35.9	53 6.5	10 1.2	120 14.7	97 11.9
	男性計	354 100.0	5 1.4	72 20.3	162 45.8	34 9.6	7 2.0	32 9.0	42 11.9
	20歳代	26 100.0	- -	4 15.4	11 42.3	7 26.9	- -	2 7.7	2 7.7
	30歳代	48 100.0	1 2.1	10 20.8	15 31.3	7 14.6	4 8.3	7 14.6	4 8.3
	40歳代	60 100.0	2 3.3	13 21.7	29 48.3	4 6.7	2 3.3	9 15.0	1 1.7
	50歳代	79 100.0	- -	21 26.6	41 51.9	10 12.7	- -	5 6.3	2 2.5
	60歳代	85 100.0	2 2.4	16 18.8	42 49.4	5 5.9	1 1.2	5 5.9	14 16.5
	70歳以上	56 100.0	- -	8 14.3	24 42.9	1 1.8	- -	4 7.1	19 33.9
	女性計	453 100.0	35 7.7	132 29.1	127 28.0	17 3.8	3 0.7	87 19.2	52 11.5
	20歳代	44 100.0	6 13.6	17 38.6	11 25.0	- -	- -	7 15.9	3 6.8
	30歳代	61 100.0	6 9.8	21 34.4	16 26.2	2 3.3	- -	16 26.2	- -
	40歳代	80 100.0	4 5.0	34 42.5	28 35.0	2 2.5	- -	11 13.8	1 1.3
	50歳代	75 100.0	9 12.0	22 29.3	20 26.7	6 8.0	1 1.3	15 20.0	2 2.7
	60歳代	111 100.0	8 7.2	26 23.4	32 28.8	7 6.3	1 0.9	22 19.8	15 13.5
	70歳以上	82 100.0	2 2.4	12 14.6	20 24.4	- -	1 1.2	16 19.5	31 37.8

【G 政治（政策決定）の場】

- 「平等である」が23.4%となり、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は47.0%に上る。
- 性別で見ると、男性は「平等である」が37.0%と女性（12.3%）を24.7ポイント上回る。
- 年齢別では40歳代、50歳代は『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が59.3%、58.6%と高い。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は「平等である」が38.7%と特に高くなっている。一方、女性未婚者は「男性の方が非常に優遇されている」が24.2%と高い。

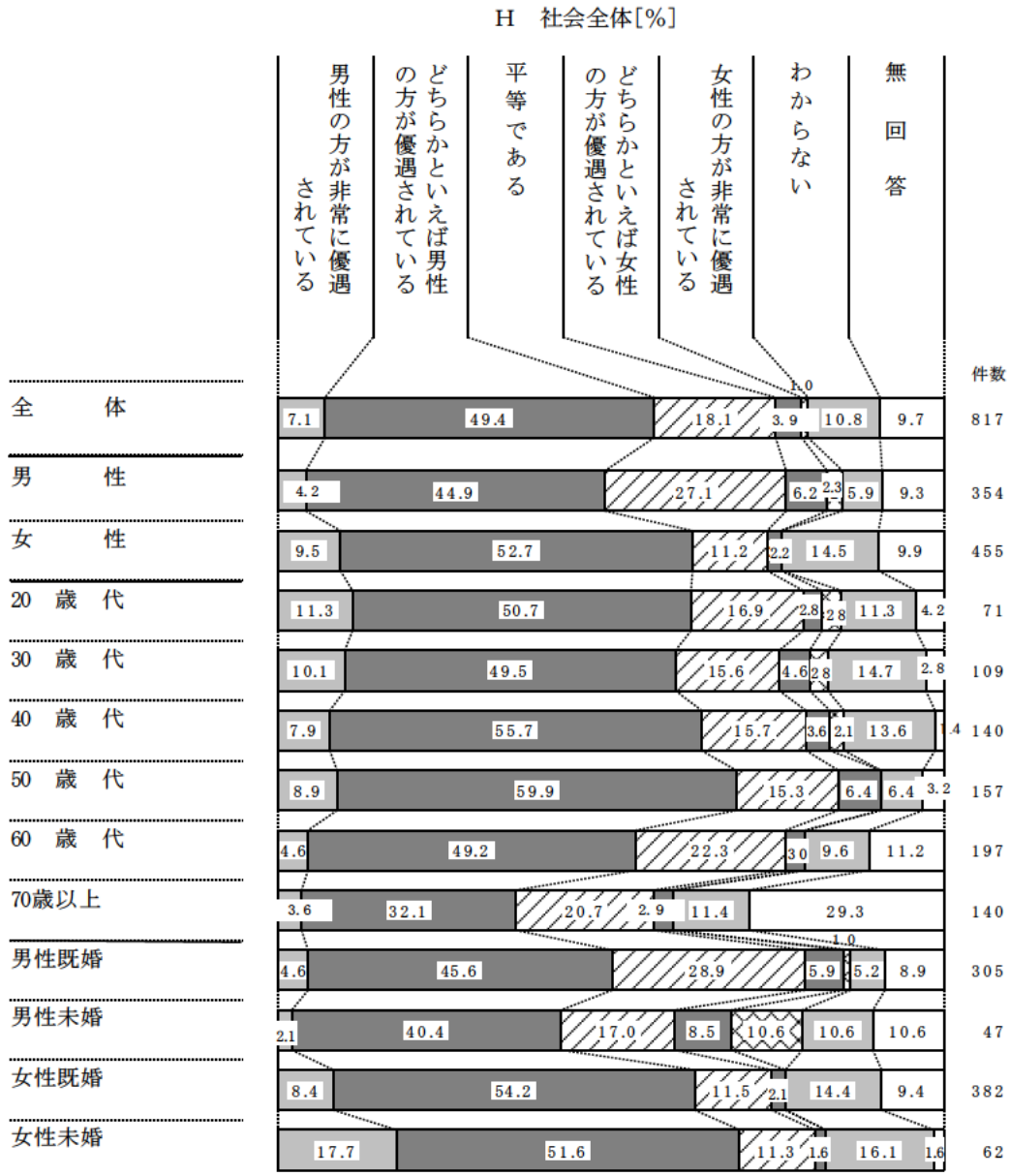
G 政治（政策決定）の場[%]



		G 政治(政策決定)の場(%)							
		全 体	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等である	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	81 9.9	303 37.1	191 23.4	13 1.6	6 0.7	122 14.9	101 12.4
	男性計	354 100.0	18 5.1	109 30.8	131 37.0	11 3.1	5 1.4	38 10.7	42 11.9
	20歳代	26 100.0	3 11.5	6 23.1	9 34.6	1 3.8	1 3.8	4 15.4	2 7.7
	30歳代	48 100.0	4 8.3	16 33.3	13 27.1	2 4.2	3 6.3	7 14.6	3 6.3
	40歳代	60 100.0	3 5.0	22 36.7	22 36.7	1 1.7	1 1.7	10 16.7	1 1.7
	50歳代	79 100.0	2 2.5	32 40.5	32 40.5	5 6.3	-	5 6.3	3 3.8
	60歳代	85 100.0	5 5.9	23 27.1	34 40.0	2 2.4	-	6 7.1	15 17.6
	70歳以上	56 100.0	1 1.8	10 17.9	21 37.5	-	-	6 10.7	18 32.1
	女性計	453 100.0	63 13.9	192 42.4	56 12.4	2 0.4	1 0.2	83 18.3	56 12.4
	20歳代	44 100.0	11 25.0	15 34.1	8 18.2	-	-	7 15.9	3 6.8
	30歳代	61 100.0	11 18.0	25 41.0	5 8.2	-	-	19 31.1	1 1.6
	40歳代	80 100.0	13 16.3	45 56.3	10 12.5	1 1.3	-	9 11.3	2 2.5
	50歳代	75 100.0	13 17.3	43 57.3	8 10.7	-	-	9 12.0	2 2.7
	60歳代	111 100.0	12 10.8	45 40.5	15 13.5	1 0.9	-	23 20.7	15 13.5
	70歳以上	82 100.0	3 3.7	19 23.2	10 12.2	-	1 1.2	16 19.5	33 40.2

【H 社会全体】

- 「平等である」が18.1%となり、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は56.5%に上る。
- 性別で見ると、男性は「平等である」が27.1%と女性（11.2%）よりも15.9ポイント高い。
- 年齢別では、60歳代と70歳以上では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が低下し、60歳代で53.8%、70歳代以上は35.7%と特に低い。



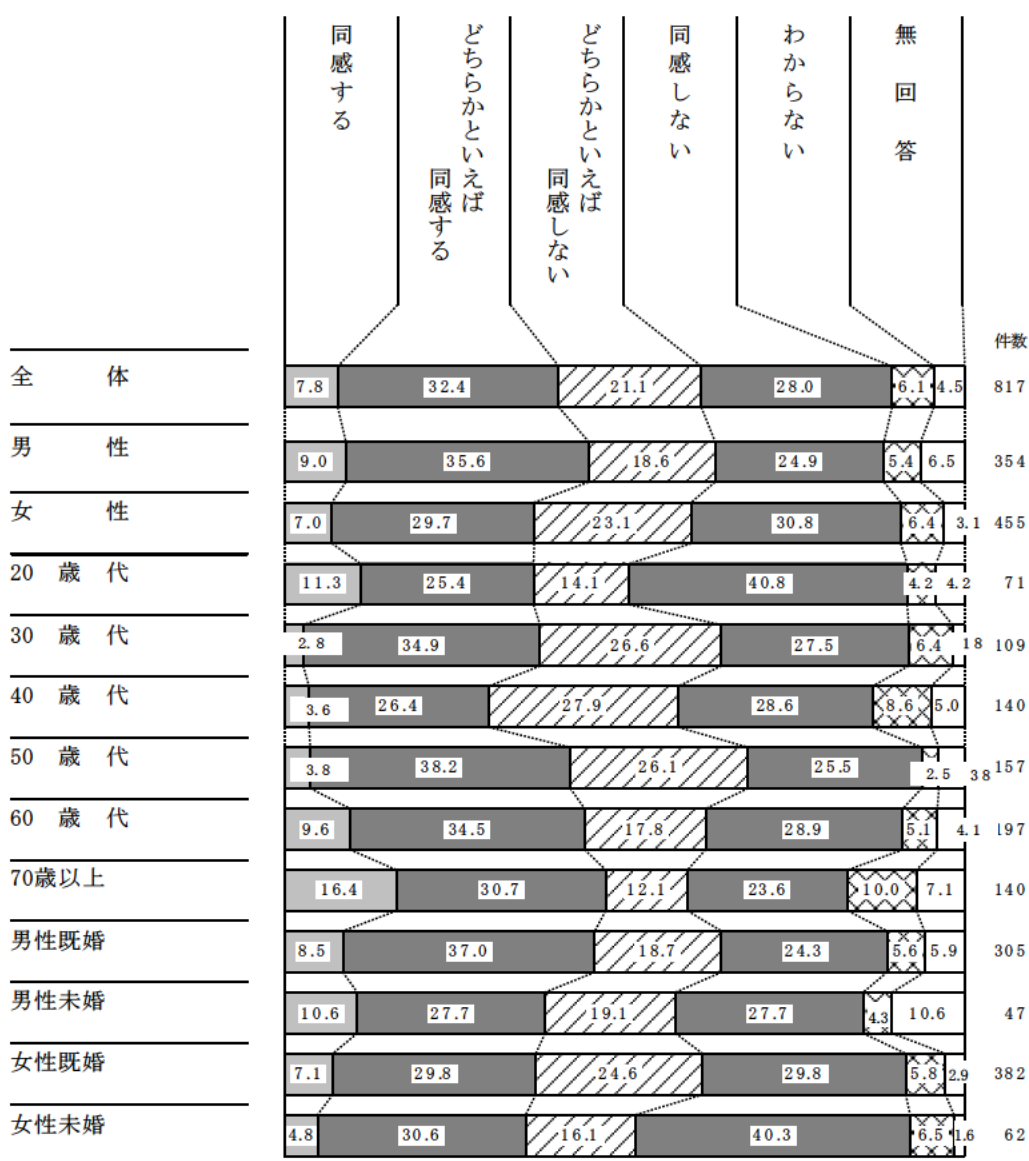
		H 社会全体[%]							
		全 体	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらか といえば男性 の方が優遇 されている	平等である	どちらか といえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	58 7.1	404 49.4	148 18.1	32 3.9	8 1.0	88 10.8	79 9.7
	男性計	354 100.0	15 4.2	159 44.9	96 27.1	22 6.2	8 2.3	21 5.9	33 9.3
	20歳代	26 100.0	1 3.8	12 46.2	6 23.1	2 7.7	2 7.7	2 7.7	1 3.8
	30歳代	48 100.0	3 6.3	18 37.5	14 29.2	4 8.3	3 6.3	3 6.3	3 6.3
	40歳代	60 100.0	3 5.0	30 50.0	12 20.0	3 5.0	3 5.0	8 13.3	1 1.7
	50歳代	79 100.0	4 5.1	43 54.4	20 25.3	7 8.9	-	2 2.5	3 3.8
	60歳代	85 100.0	3 3.5	40 47.1	26 30.6	4 4.7	-	2 2.4	10 11.8
	70歳以上	56 100.0	1 1.8	16 28.6	18 32.1	2 3.6	-	4 7.1	15 26.8
	女性計	453 100.0	43 9.5	240 53.0	51 11.3	10 2.2	-	66 14.6	43 9.5
	20歳代	44 100.0	7 15.9	24 54.5	6 13.6	-	-	5 11.4	2 4.5
	30歳代	61 100.0	8 13.1	36 59.0	3 4.9	1 1.6	-	13 21.3	-
	40歳代	80 100.0	8 10.0	48 60.0	10 12.5	2 2.5	-	11 13.8	1 1.3
	50歳代	75 100.0	10 13.3	48 64.0	4 5.3	3 4.0	-	8 10.7	2 2.7
	60歳代	111 100.0	6 5.4	56 50.5	18 16.2	2 1.8	-	17 15.3	12 10.8
	70歳以上	82 100.0	4 4.9	28 34.1	10 12.2	2 2.4	-	12 14.6	26 31.7

(2) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問2. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。

- 「どちらかといえば同感する」が 32.4%と最も多く、「同感する」(7.8%) と合わせると『同感する』は 40.2%となる。一方、『同感しない』は 49.1%で、『同感する』よりも 8.9 ポイント上回る。
- 性別で見ると、女性は『同感しない』が 53.9%と男性 (43.5%) よりも 10.4 ポイント高い。
- 年齢では、20 歳代は「同感しない」が 40.8%と特に高い。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「同感しない」が 40.3%と特に高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『同感する』の割合が低く、「同感しない」が 39.5%と高い。
- 居住地区別では、有田地区の回答者では『同感する』が 45.6%とやや高い。

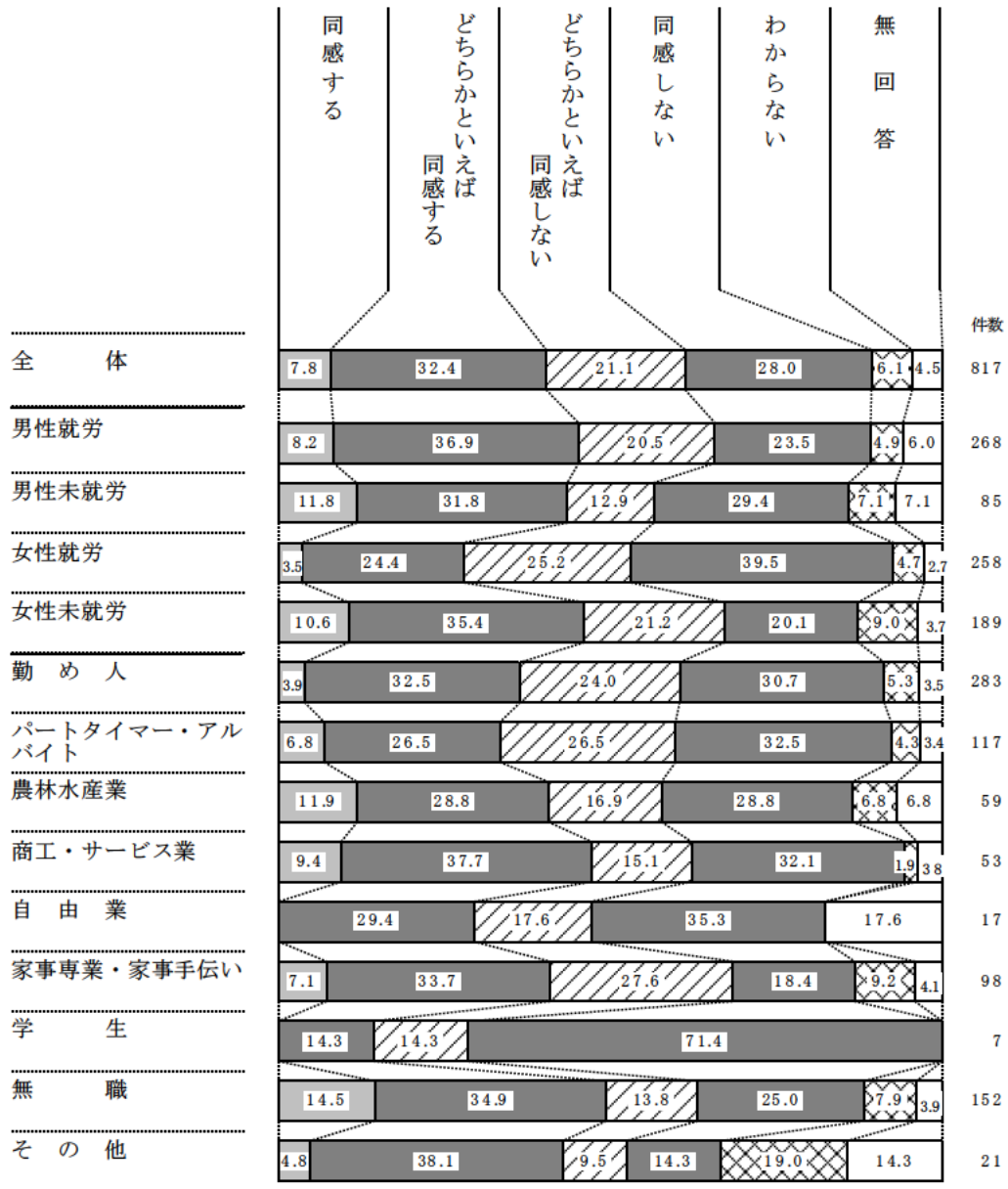
「男は仕事、女は家庭」という考え方について [%]



※『同感する』は、本来の選択肢の「同感する」と「どちらかといえば同感する」の割合を合計したものである。また、『同感しない』は、「どちらかといえば同感しない」と「同感しない」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

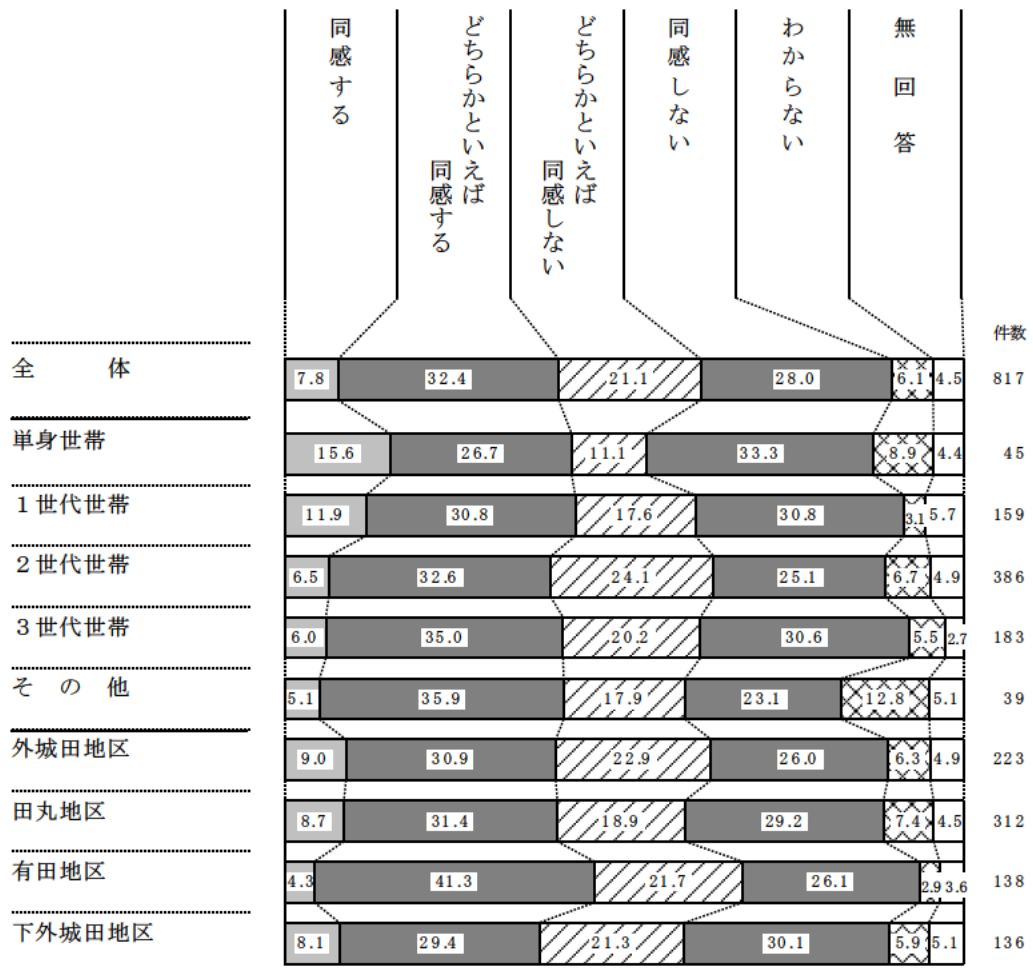
		「男は仕事、女は家庭」という考え方について(%)						
		全 体	同感する	どちらかと いえば同感 する	どちらかと いえば同感 しない	同感しない	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	64 7.8	265 32.4	172 21.1	229 28.0	50 6.1	37 4.5
	男性計	354 100.0	32 9.0	126 35.6	66 18.6	88 24.9	19 5.4	23 6.5
	20歳代	26 100.0	5 19.2	7 26.9	3 11.5	9 34.6	1 3.8	1 3.8
	30歳代	48 100.0	2 4.2	16 33.3	13 27.1	12 25.0	3 6.3	2 4.2
	40歳代	60 100.0	2 3.3	26 43.3	10 16.7	11 18.3	7 11.7	4 6.7
	50歳代	79 100.0	3 3.8	30 38.0	22 27.8	19 24.1	2 2.5	3 3.8
	60歳代	85 100.0	10 11.8	33 38.8	13 15.3	20 23.5	3 3.5	6 7.1
	70歳以上	56 100.0	10 17.9	14 25.0	5 8.9	17 30.4	3 5.4	7 12.5
	女性計	453 100.0	32 7.1	134 29.6	105 23.2	140 30.9	29 6.4	13 2.9
	20歳代	44 100.0	3 6.8	11 25.0	7 15.9	20 45.5	1 2.3	2 4.5
	30歳代	61 100.0	1 1.6	22 36.1	16 26.2	18 29.5	4 6.6	- -
	40歳代	80 100.0	3 3.8	11 13.8	29 36.3	29 36.3	5 6.3	3 3.8
	50歳代	75 100.0	3 4.0	27 36.0	19 25.3	21 28.0	2 2.7	3 4.0
	60歳代	111 100.0	9 8.1	34 30.6	22 19.8	37 33.3	7 6.3	2 1.8
	70歳以上	82 100.0	13 15.9	29 35.4	12 14.6	15 18.3	10 12.2	3 3.7

「男は仕事、女は家庭」という考え方について〔%〕



※自由業、学生、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。

「男は仕事、女は家庭」という考え方について〔%〕

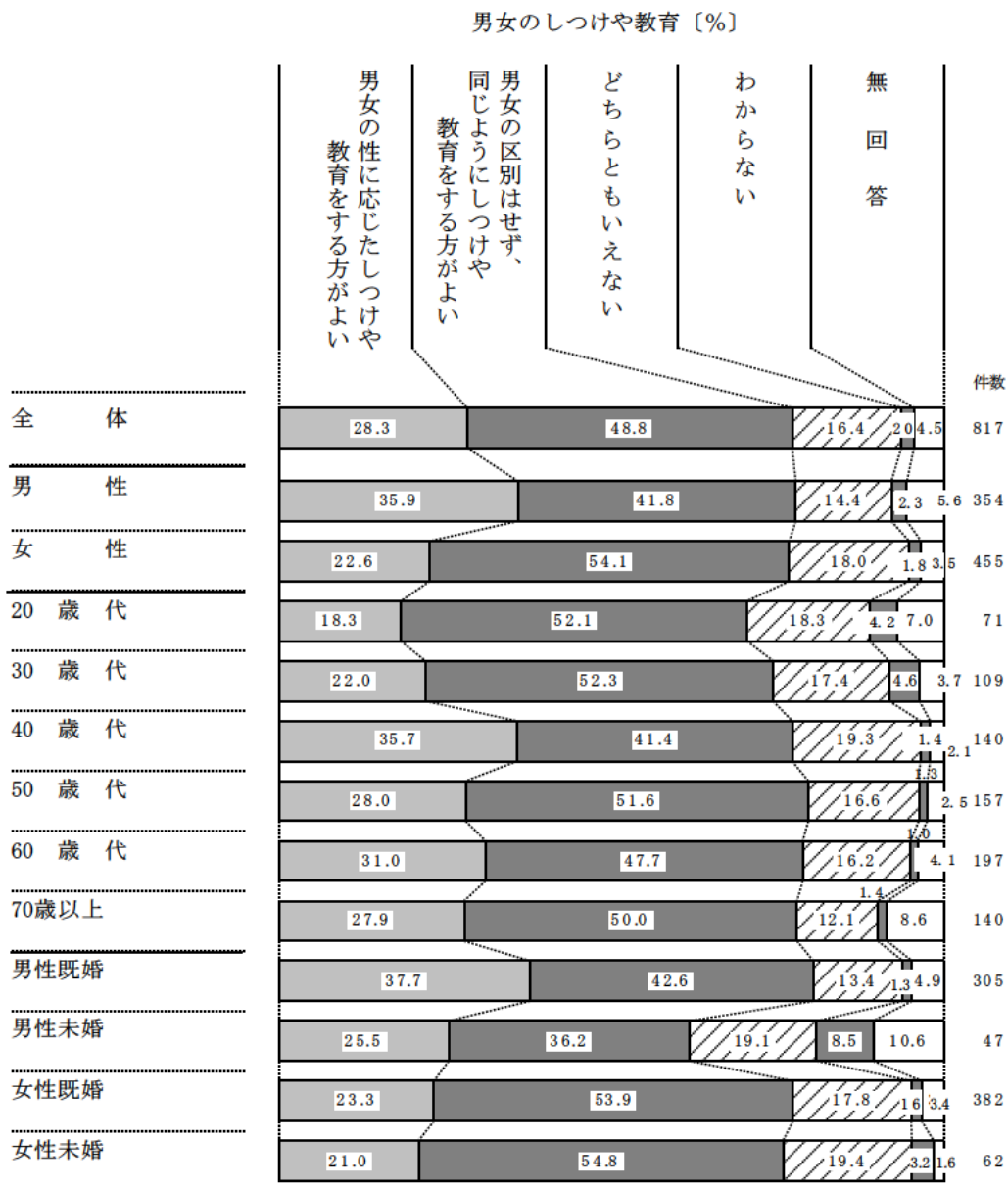


2 家庭生活について

(1) 男女のしつけや教育

問3. あなたは男の子と女の子のしつけや教育についてどう思いますか。

- 「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をする方がよい」が48.8%と最も多く、以下「男女の性に応じたしつけや教育をする方がよい」(28.3%)、「どちらともいえない」(16.4%)である。
- 性別で見ると、女性は「男女の区別はせず、同じようにしつけや教育をする方がよい」が54.1%と男性(41.8%)よりも12.3ポイント上回る。
- 年齢別では、40歳代は「男女の性に応じたしつけや教育をする方がよい」が35.7%と高い。



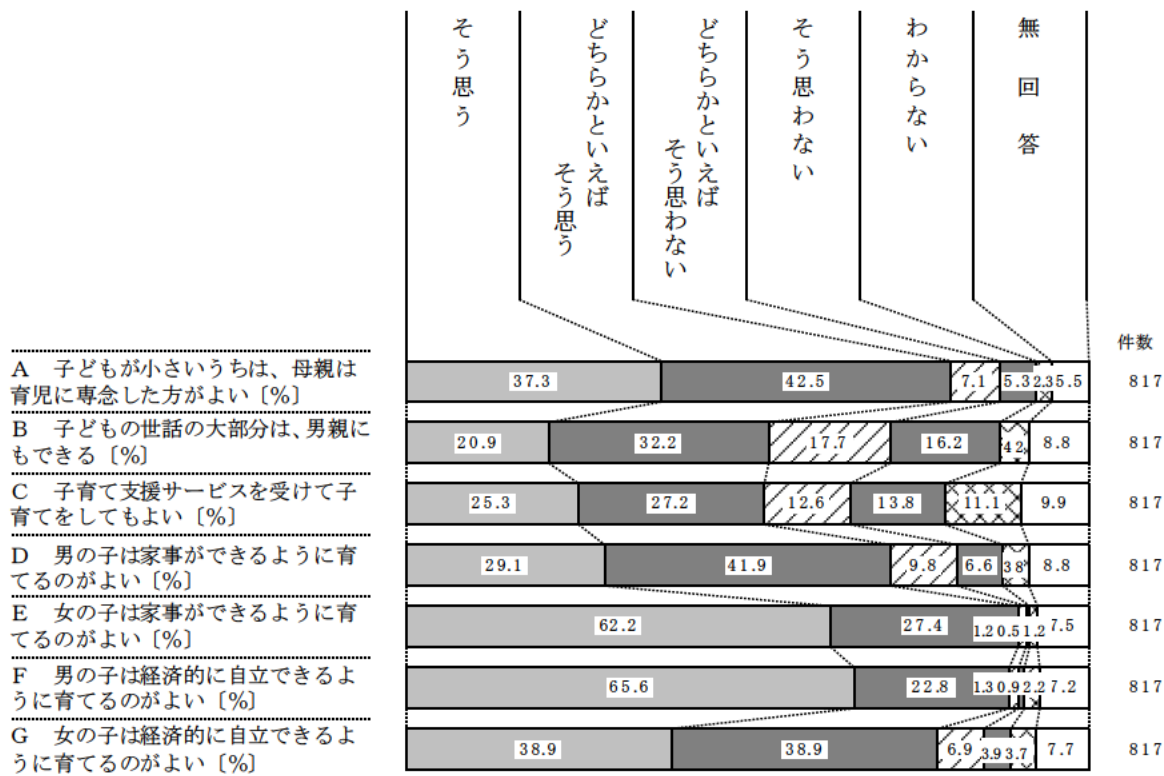
		男女のしつけや教育[%]					
		全 体	男女の性に 応じたしつ けや教育を する方がよ い	男女の区別 はせず、同 じようにしつ けや教育を する方がよ い	どちらともい えない	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	231 28.3	399 48.8	134 16.4	16 2.0	37 4.5
	男性計	354 100.0	127 35.9	148 41.8	51 14.4	8 2.3	20 5.6
	20歳代	26 100.0	6 23.1	12 46.2	5 19.2	2 7.7	1 3.8
	30歳代	48 100.0	16 33.3	18 37.5	6 12.5	4 8.3	4 8.3
	40歳代	60 100.0	31 51.7	21 35.0	5 8.3	2 3.3	1 1.7
	50歳代	79 100.0	26 32.9	35 44.3	16 20.3	- -	2 2.5
	60歳代	85 100.0	29 34.1	36 42.4	15 17.6	- -	5 5.9
	70歳以上	56 100.0	19 33.9	26 46.4	4 7.1	- -	7 12.5
	女性計	453 100.0	103 22.7	245 54.1	82 18.1	8 1.8	15 3.3
	20歳代	44 100.0	7 15.9	25 56.8	8 18.2	1 2.3	3 6.8
	30歳代	61 100.0	8 13.1	39 63.9	13 21.3	1 1.6	- -
	40歳代	80 100.0	19 23.8	37 46.3	22 27.5	- -	2 2.5
	50歳代	75 100.0	17 22.7	44 58.7	10 13.3	2 2.7	2 2.7
	60歳代	111 100.0	32 28.8	57 51.4	17 15.3	2 1.8	3 2.7
	70歳以上	82 100.0	20 24.4	43 52.4	12 14.6	2 2.4	5 6.1

(2) 子育てについて

問4. 子育てについて、あなたのご意見に近いものはどれですか。

【全体】(A～G)

- 「E 女の子は家事ができるように育てるのがよい」と「F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」は、「そう思う」が 62.2%、65.6%と特に高く、「どちらかといえばそう思う」を加えると、90%近い。「B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる」と、「C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」の2項目は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」割合が他の項目に比べて低い。

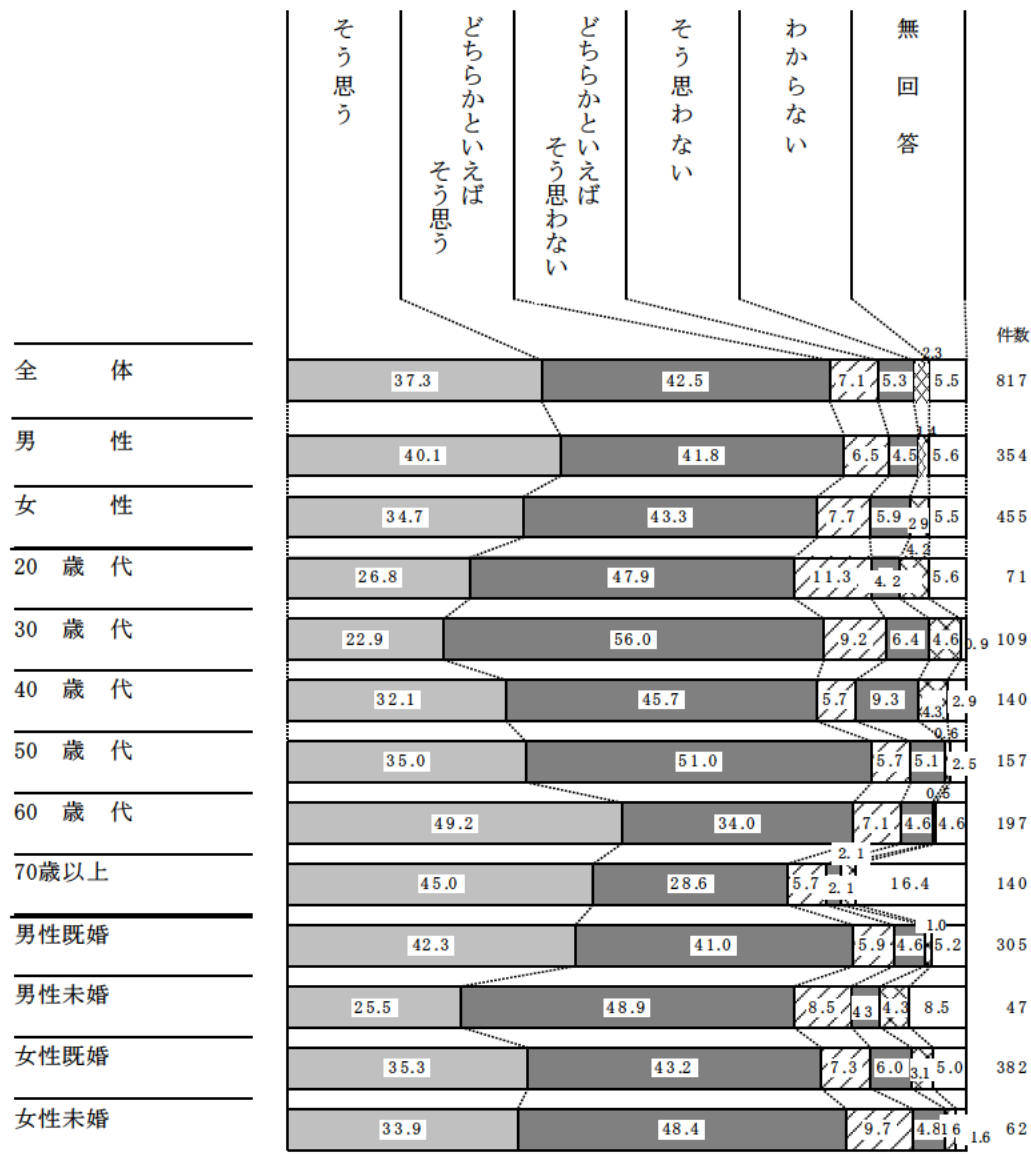


※『そう思う』は、本来の選択肢の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を合計したものである。また、『そう思わない』は、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい】

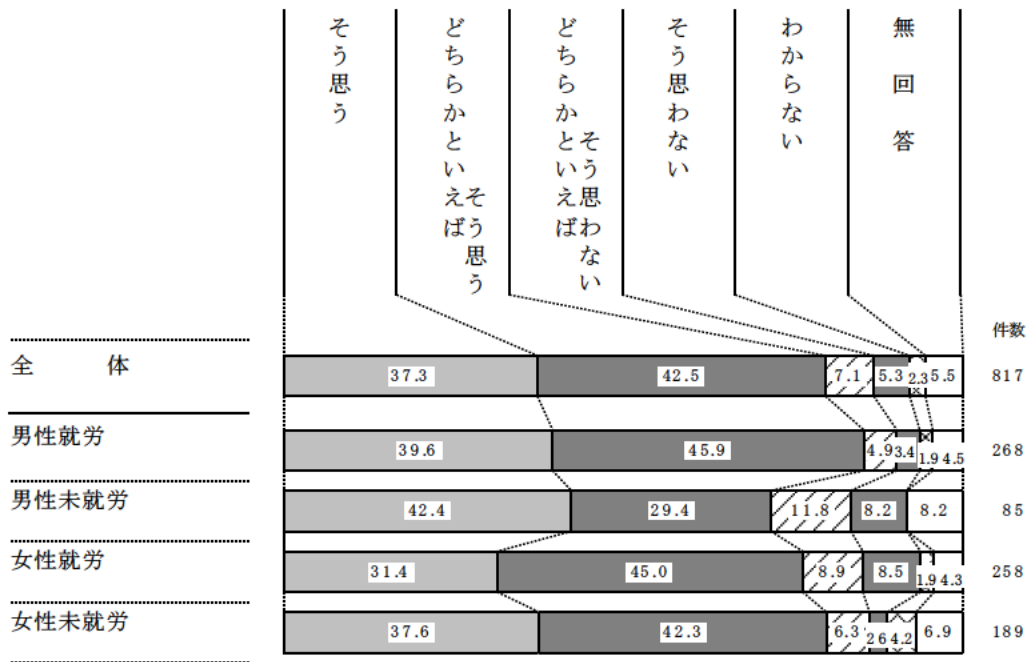
- 『そう思う』と答えた賛成派の割合は 79.8%を占め、『そう思わない』と答えた反対派の割合は 12.4%である。
- 年齢別では、全ての年齢層で賛成派が多数を占めているが、「そう思う」という積極的な賛成派に限ってみると、30 歳代以上は年齢が上がるほど比率が上昇する傾向がみられる。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は「そう思う」が 42.3%と高いが、男性未婚者は 25.5%と 16.8 ポイント低い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「そう思う」が 31.4%と低い。また、男性未就労者は『そう思う』と答えた人の割合が 71.8%である。

A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい [%]



		A 子どもが小さいうちは 母親は育児に専念したほうがよい[%]						
		全 体	そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらかと いえばそう 思わない	そう思わな い	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	305 37.3	347 42.5	58 7.1	43 5.3	19 2.3	45 5.5
	男性計	354 100.0	142 40.1	148 41.8	23 6.5	16 4.5	5 1.4	20 5.6
	20歳代	26 100.0	5 19.2	13 50.0	4 15.4	1 3.8	1 3.8	2 7.7
	30歳代	48 100.0	13 27.1	29 60.4	2 4.2	2 4.2	1 2.1	1 2.1
	40歳代	60 100.0	24 40.0	27 45.0	- -	4 6.7	3 5.0	2 3.3
	50歳代	79 100.0	25 31.6	45 57.0	4 5.1	4 5.1	- -	1 1.3
	60歳代	85 100.0	47 55.3	23 27.1	6 7.1	3 3.5	- -	6 7.1
	70歳以上	56 100.0	28 50.0	11 19.6	7 12.5	2 3.6	- -	8 14.3
	女性計	453 100.0	157 34.7	197 43.5	34 7.5	27 6.0	13 2.9	25 5.5
	20歳代	44 100.0	14 31.8	21 47.7	4 9.1	2 4.5	1 2.3	2 4.5
	30歳代	61 100.0	12 19.7	32 52.5	8 13.1	5 8.2	4 6.6	- -
	40歳代	80 100.0	21 26.3	37 46.3	8 10.0	9 11.3	3 3.8	2 2.5
	50歳代	75 100.0	28 37.3	34 45.3	5 6.7	4 5.3	1 1.3	3 4.0
	60歳代	111 100.0	49 44.1	44 39.6	8 7.2	6 5.4	1 0.9	3 2.7
	70歳以上	82 100.0	33 40.2	29 35.4	1 1.2	1 1.2	3 3.7	15 18.3

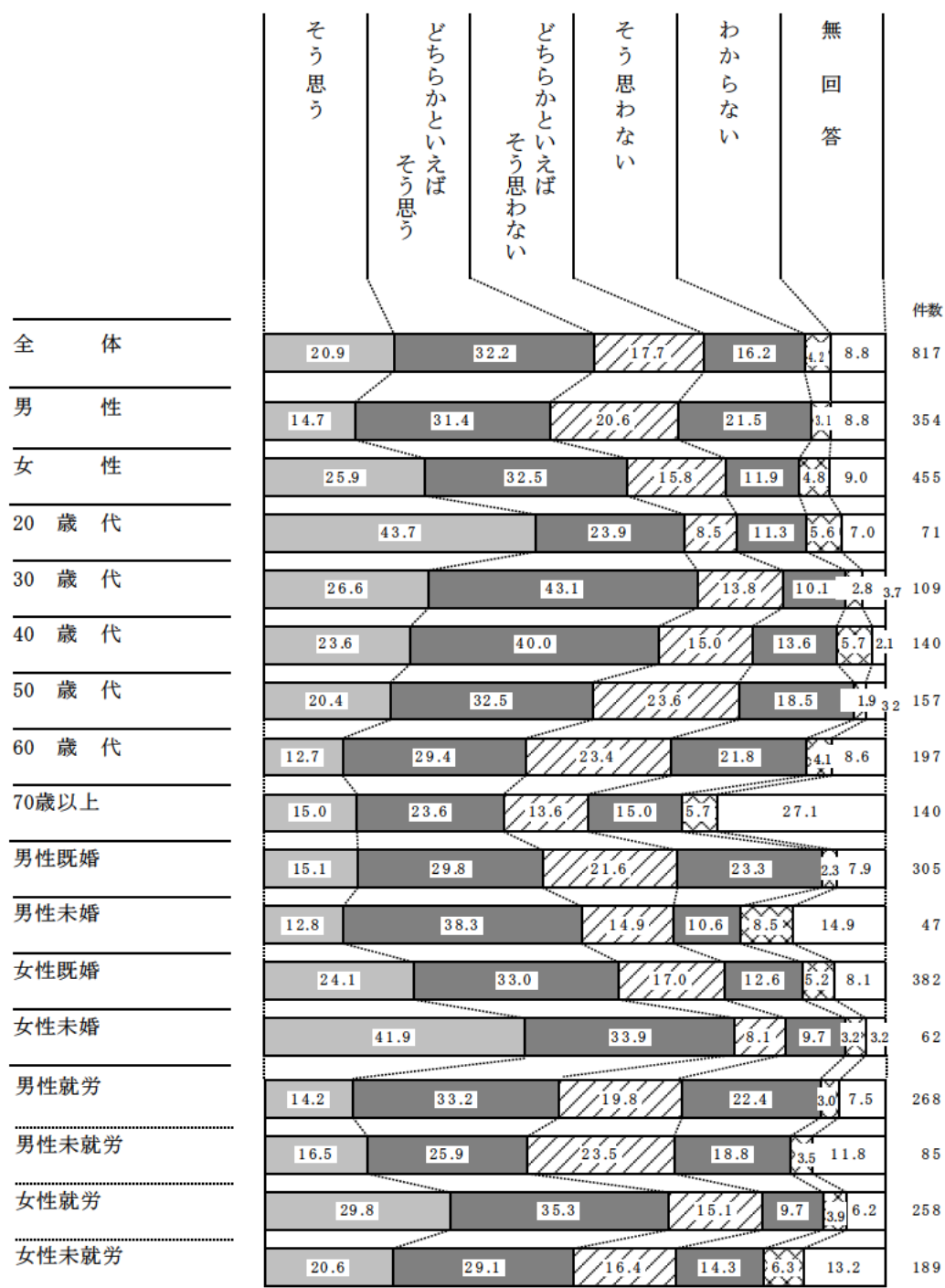
A 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい [%]



【B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる】

- 「どちらかといえばそう思う」が 32.2%と最も多く、「そう思う」(20.9%)と合わせると 53.1%を占め、『そう思わない』と答えた人の割合は 33.9%である。
- 性別でみると、女性は『そう思う』と答えた人の割合が 58.4%と男性 (46.1%) よりも 12.3ポイント上回る。
- 年齢別では、30 歳代以上は年齢が上がるほど『そう思う』と答えた人の割合は低下している。
- 婚姻状況別では、未婚女性は「そう思う」が多く、4 割台となっている。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』と答えた人の割合が 65.1%と特に高い。

B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる [%]

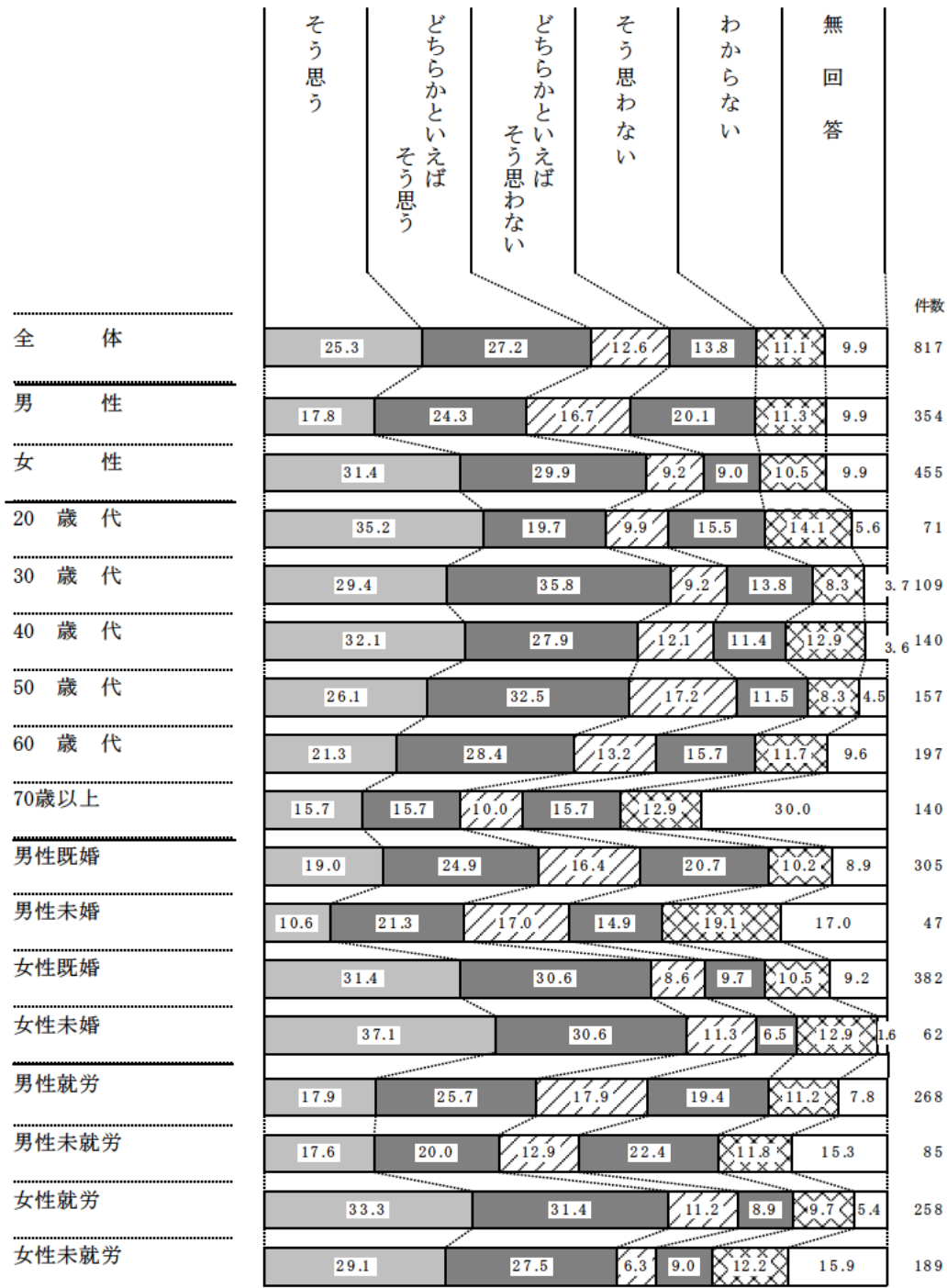


		B 子どもの世話の大部分は、男親にもできる(%)						
		全 体	そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらかと いえばそう 思わない	そう思わな い	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	171 20.9	263 32.2	145 17.7	132 16.2	34 4.2	72 8.8
	男性計	354 100.0	52 14.7	111 31.4	73 20.6	76 21.5	11 3.1	31 8.8
	20歳代	26 100.0	5 19.2	10 38.5	3 11.5	5 19.2	1 3.8	2 7.7
	30歳代	48 100.0	9 18.8	19 39.6	7 14.6	8 16.7	1 2.1	4 8.3
	40歳代	60 100.0	7 11.7	21 35.0	11 18.3	13 21.7	6 10.0	2 3.3
	50歳代	79 100.0	14 17.7	22 27.8	25 31.6	15 19.0	1 1.3	2 2.5
	60歳代	85 100.0	10 11.8	23 27.1	18 21.2	24 28.2	1 1.2	9 10.6
	70歳以上	56 100.0	7 12.5	16 28.6	9 16.1	11 19.6	1 1.8	12 21.4
	女性計	453 100.0	118 26.0	147 32.5	71 15.7	54 11.9	22 4.9	41 9.1
	20歳代	44 100.0	26 59.1	7 15.9	3 6.8	3 6.8	2 4.5	3 6.8
	30歳代	61 100.0	20 32.8	28 45.9	8 13.1	3 4.9	2 3.3	- -
	40歳代	80 100.0	26 32.5	35 43.8	10 12.5	6 7.5	2 2.5	1 1.3
	50歳代	75 100.0	18 24.0	26 34.7	12 16.0	14 18.7	2 2.7	3 4.0
	60歳代	111 100.0	15 13.5	34 30.6	28 25.2	19 17.1	7 6.3	8 7.2
	70歳以上	82 100.0	13 15.9	17 20.7	10 12.2	9 11.0	7 8.5	26 31.7

【C 子育て支援サービスを受けて子育てしてもよい】

- 「そう思う」(25.3%)と「どちらかといえばそう思う」(27.2%)が僅差で、『そう思う』と答えた人の割合は52.5%となり、『そう思わない』と答えた人の割合は26.4%である。
- 性別でみると、女性は『そう思う』と答えた人の割合が61.3%と男性(42.1%)よりも19.2ポイント上回る。
- 年齢別では、30歳以上は年齢層が上がるほど『そう思う』と答えた人の割合が低下している。
- 婚姻状況別、性別・就労別でみても、女性は『そう思う』と答えた人の割合が多い。

C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい [%]

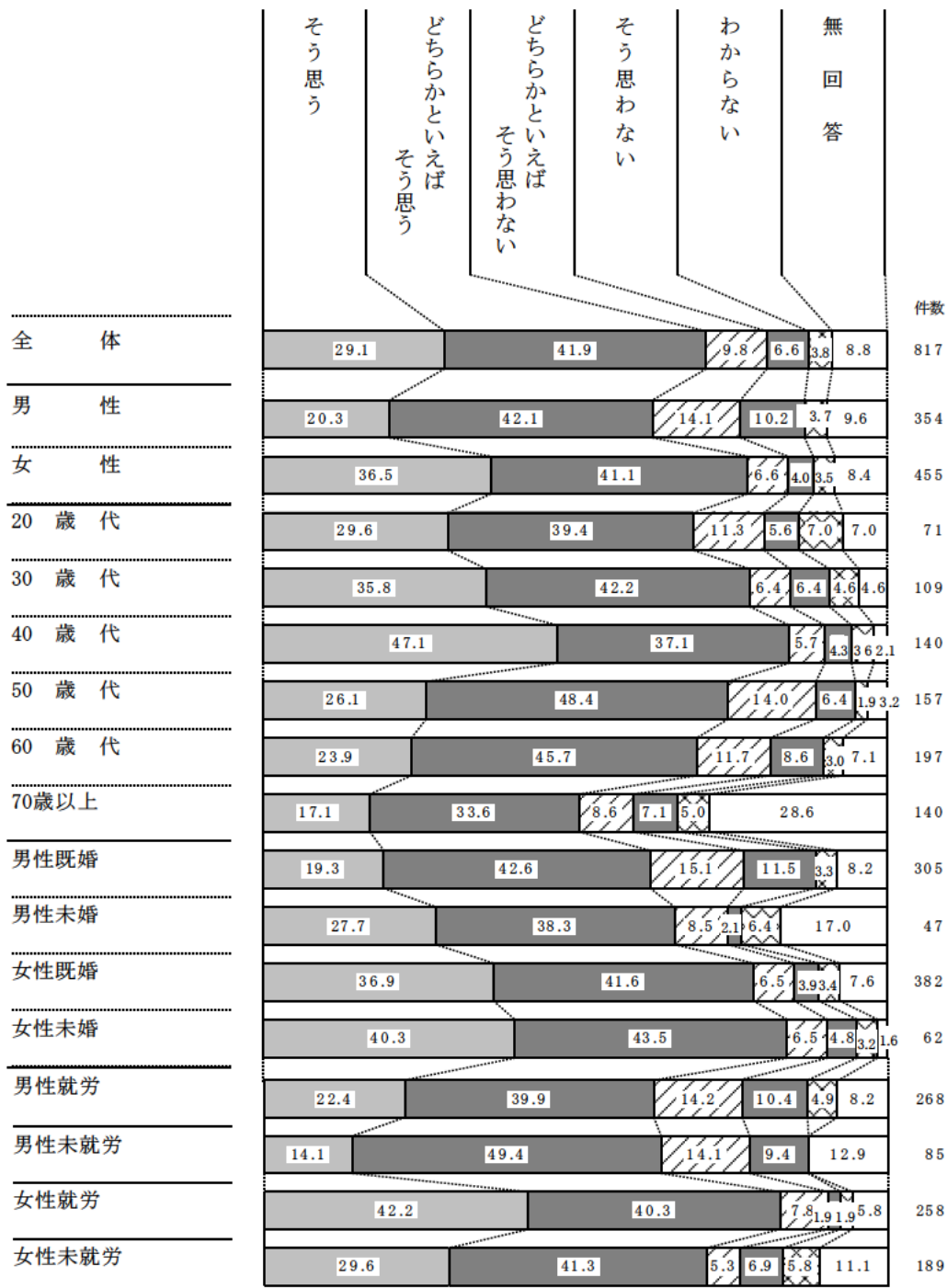


		C 子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい(%)						
		全 体	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	207 25.3	222 27.2	103 12.6	113 13.8	91 11.1	81 9.9
	男性計	354 100.0	63 17.8	86 24.3	59 16.7	71 20.1	40 11.3	35 9.9
	20歳代	26 100.0	5 19.2	5 19.2	4 15.4	6 23.1	4 15.4	2 7.7
	30歳代	48 100.0	10 20.8	13 27.1	5 10.4	13 27.1	3 6.3	4 8.3
	40歳代	60 100.0	11 18.3	13 21.7	10 16.7	13 21.7	10 16.7	3 5.0
	50歳代	79 100.0	18 22.8	25 31.6	16 20.3	12 15.2	6 7.6	2 2.5
	60歳代	85 100.0	11 12.9	23 27.1	15 17.6	15 17.6	10 11.8	11 12.9
	70歳以上	56 100.0	8 14.3	7 12.5	9 16.1	12 21.4	7 12.5	13 23.2
	女性計	453 100.0	143 31.6	135 29.8	41 9.1	41 9.1	48 10.6	45 9.9
	20歳代	44 100.0	20 45.5	9 20.5	3 6.8	5 11.4	5 11.4	2 4.5
	30歳代	61 100.0	22 36.1	26 42.6	5 8.2	2 3.3	6 9.8	- -
	40歳代	80 100.0	34 42.5	26 32.5	7 8.8	3 3.8	8 10.0	2 2.5
	50歳代	75 100.0	23 30.7	26 34.7	10 13.3	5 6.7	7 9.3	4 5.3
	60歳代	111 100.0	30 27.0	33 29.7	11 9.9	16 14.4	13 11.7	8 7.2
	70歳以上	82 100.0	14 17.1	15 18.3	5 6.1	10 12.2	9 11.0	29 35.4

【D 男の子は家事ができるように育てるのがよい】

- 『そう思う』と答えた人の割合は71.0%を占め、『そう思わない』と答えた人の割合は16.4%である。
- 性別でみると、女性は『そう思う』と答えた人の割合が77.6%と男性（62.4%）よりも15.2ポイント上回る。
- 年齢別では、40歳代は『そう思う』と答えた人の割合が84.2%に上る。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は『そう思う』と答えた人の割合が83.8%に上り、女性既婚者も『そう思う』と答えた人の割合が多い。
- 性別・就労別では、女性就労者は『そう思う』と答えた人の割合が82.5%と高い。

D 男の子は家事ができるように育てるのがよい [%]

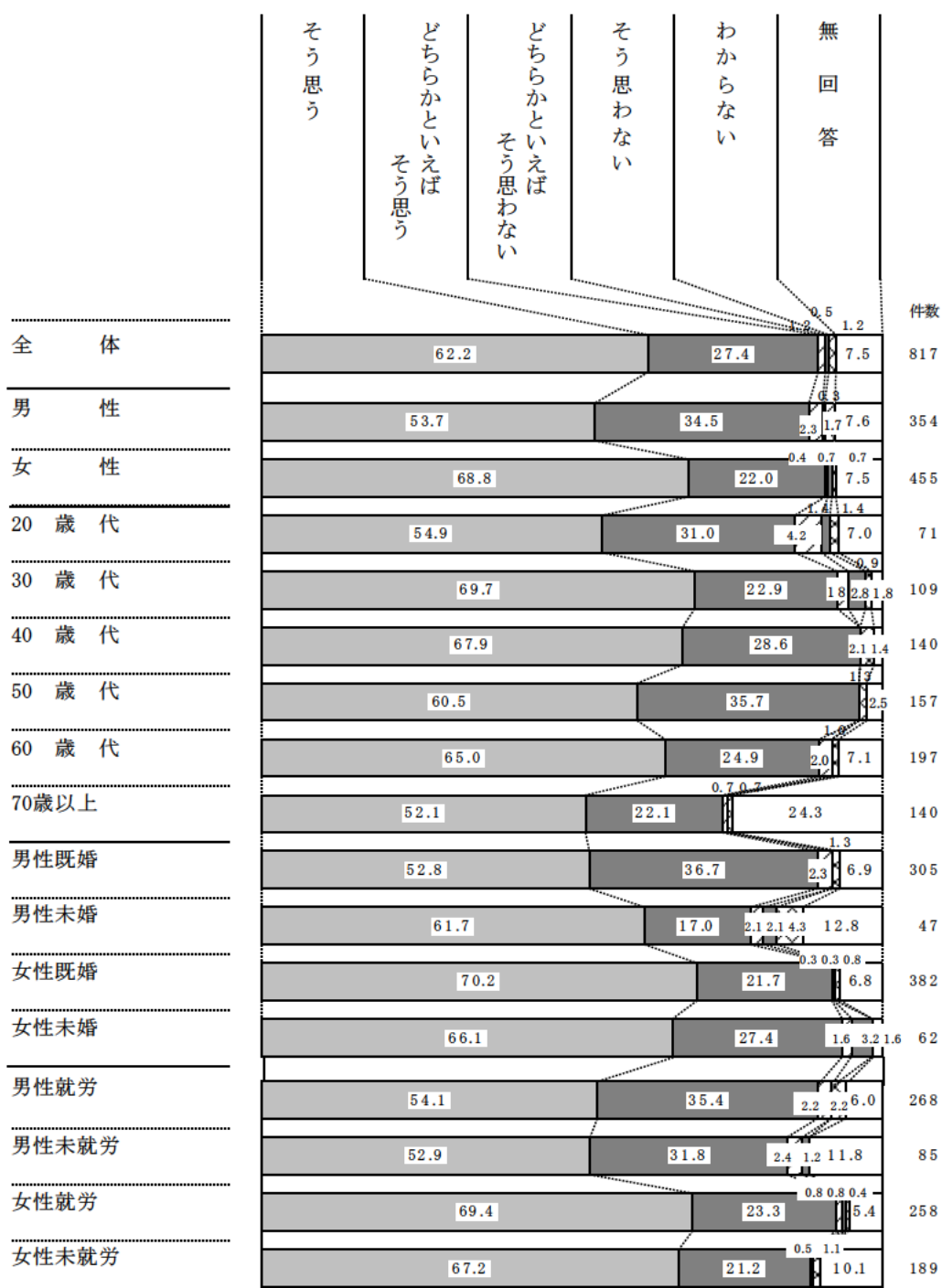


		D 男の子は家事ができるように育てるのがよい(%)						
		全 体	そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらかと いえばそう 思わない	そう思わな い	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	238 29.1	342 41.9	80 9.8	54 6.6	31 3.8	72 8.8
	男性計	354 100.0	72 20.3	149 42.1	50 14.1	36 10.2	13 3.7	34 9.6
	20歳代	26 100.0	4 15.4	12 46.2	3 11.5	3 11.5	1 3.8	3 11.5
	30歳代	48 100.0	14 29.2	19 39.6	5 10.4	4 8.3	1 2.1	5 10.4
	40歳代	60 100.0	18 30.0	23 38.3	7 11.7	6 10.0	4 6.7	2 3.3
	50歳代	79 100.0	16 20.3	37 46.8	15 19.0	8 10.1	2 2.5	1 1.3
	60歳代	85 100.0	11 12.9	42 49.4	11 12.9	8 9.4	4 4.7	9 10.6
	70歳以上	56 100.0	9 16.1	16 28.6	9 16.1	7 12.5	1 1.8	14 25.0
	女性計	453 100.0	166 36.6	185 40.8	30 6.6	18 4.0	16 3.5	38 8.4
	20歳代	44 100.0	17 38.6	16 36.4	5 11.4	1 2.3	3 6.8	2 4.5
	30歳代	61 100.0	25 41.0	27 44.3	2 3.3	3 4.9	4 6.6	- -
	40歳代	80 100.0	48 60.0	29 36.3	1 1.3	- -	1 1.3	1 1.3
	50歳代	75 100.0	25 33.3	36 48.0	7 9.3	2 2.7	1 1.3	4 5.3
	60歳代	111 100.0	36 32.4	47 42.3	12 10.8	9 8.1	2 1.8	5 4.5
	70歳以上	82 100.0	15 18.3	30 36.6	3 3.7	3 3.7	5 6.1	26 31.7

【E 女の子は家事ができるように育てるのがよい】

- 「そう思う」が62.2%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」(27.4%)と合わせた『そう思う』と答えた人の割合は89.6%を占め、『そう思わない』と答えた人の割合は1.7%である。前述の「D 男の子は家事ができるように育てるのがよい」の「そう思う」(29.1%)に比べ、33.1ポイント高く、大きな差がみられる。
- 性別では男性は「そう思う」が53.7%で、女性は「そう思う」が68.8%と高く、男性よりも15.1ポイント高い。
- 婚姻状況別では、女性既婚者は「そう思う」が70.2%と高い。
- 性別・就労別でみると、就労状況よりも性別で回答が分かれており、女性は就業者・未就業者ともに「そう思う」が70%弱と高い。

E 女の子は家事ができるように育てるのがよい [%]

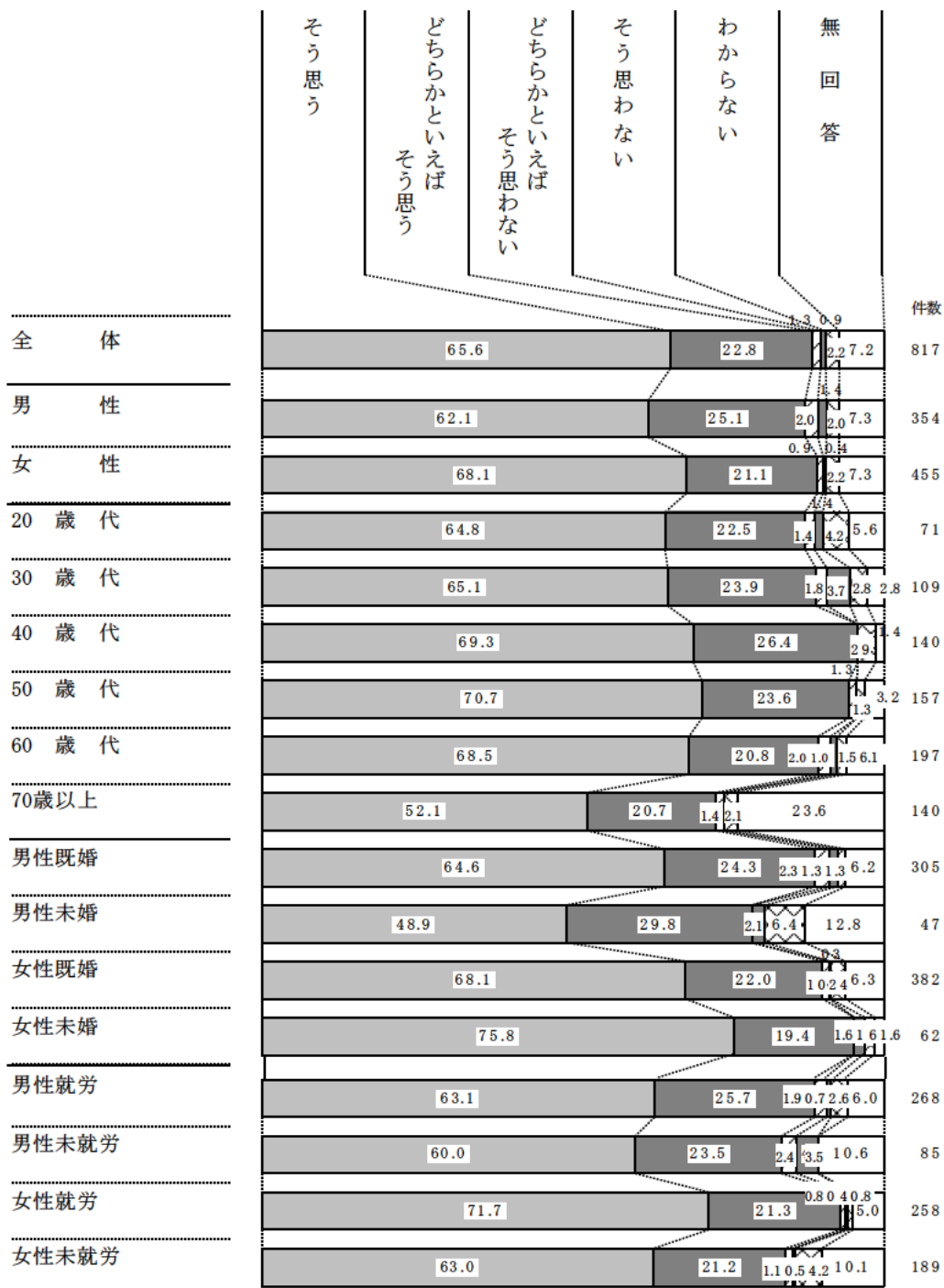


		E 女の子は家事ができるように育てるのがよい(%)						
		全 体	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	508 62.2	224 27.4	10 1.2	4 0.5	10 1.2	61 7.5
	男性計	354 100.0	190 53.7	122 34.5	8 2.3	1 0.3	6 1.7	27 7.6
	20歳代	26 100.0	10 38.5	10 38.5	2 7.7	1 3.8	- -	3 11.5
	30歳代	48 100.0	33 68.8	11 22.9	2 4.2	- -	- -	2 4.2
	40歳代	60 100.0	37 61.7	19 31.7	- -	- -	3 5.0	1 1.7
	50歳代	79 100.0	41 51.9	36 45.6	- -	- -	1 1.3	1 1.3
	60歳代	85 100.0	45 52.9	26 30.6	3 3.5	- -	2 2.4	9 10.6
	70歳以上	56 100.0	24 42.9	20 35.7	1 1.8	- -	- -	11 19.6
	女性計	453 100.0	311 68.7	100 22.1	2 0.4	3 0.7	3 0.7	34 7.5
	20歳代	44 100.0	29 65.9	12 27.3	1 2.3	- -	- -	2 4.5
	30歳代	61 100.0	43 70.5	14 23.0	- -	3 4.9	1 1.6	- -
	40歳代	80 100.0	58 72.5	21 26.3	- -	- -	- -	1 1.3
	50歳代	75 100.0	52 69.3	19 25.3	- -	- -	1 1.3	3 4.0
	60歳代	111 100.0	82 73.9	23 20.7	1 0.9	- -	- -	5 4.5
	70歳以上	82 100.0	47 57.3	11 13.4	- -	- -	1 1.2	23 28.0

【F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい】

- 「そう思う」が65.6%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」(22.8%)と合わせた『そう思う』と答えた人の割合は88.4%を占め、『そう思わない』と答えた人の割合は2.2%である。
- 性別でみると、女性は「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」割合がやや高く、『そう思う』と答えた人の割合は89.2%を占める。
- 年齢別では『そう思う』と答えた人の割合は、40歳代は95.7%、50歳代は94.3%を占めている。
- 婚姻状況別では、男性未婚者は「そう思う」が48.9%と特に低い。

F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい [%]

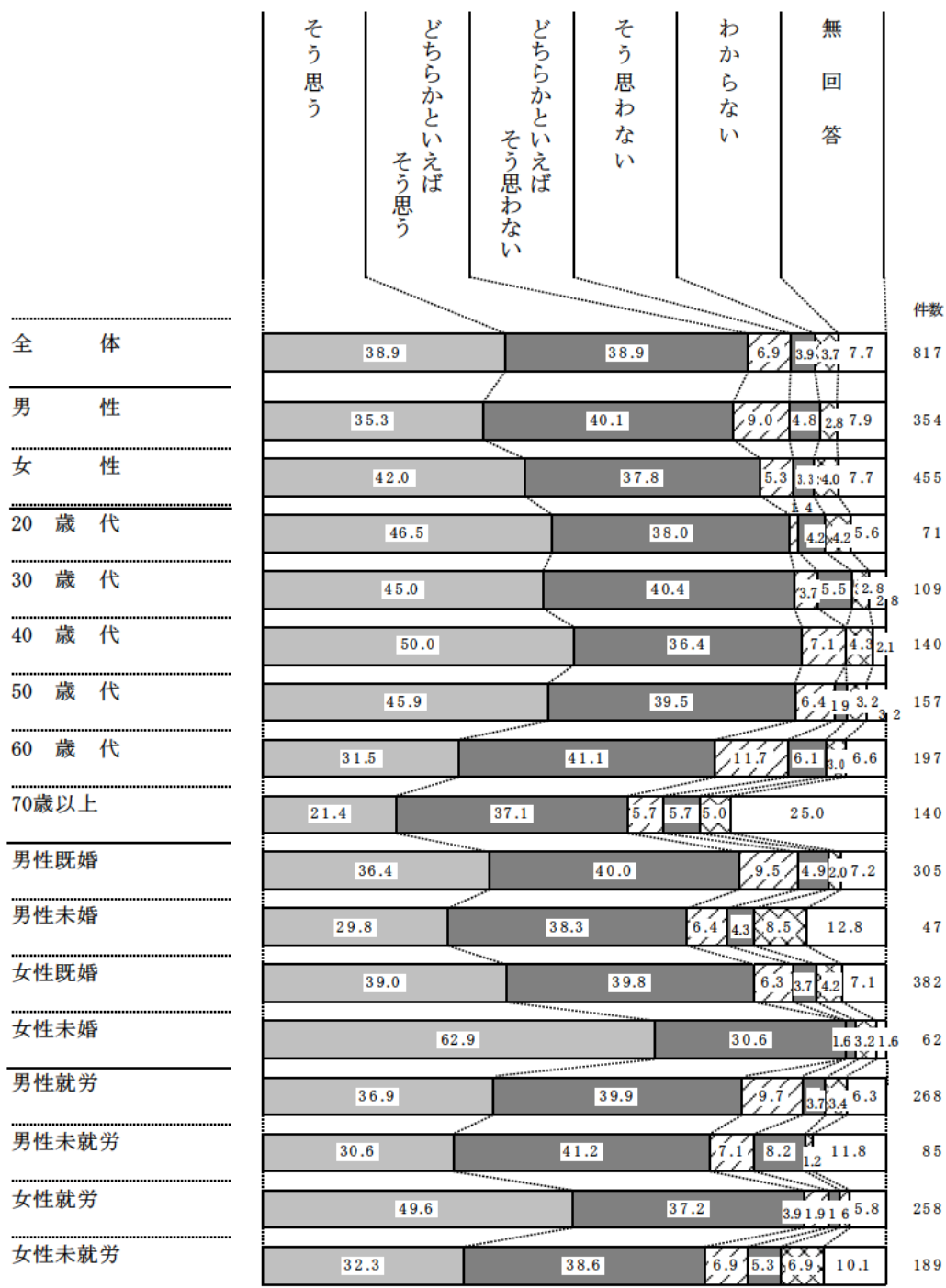


		F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい(%)						
		全 体	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わな い	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	536 65.6	186 22.8	11 1.3	7 0.9	18 2.2	59 7.2
	男性計	354 100.0	220 62.1	89 25.1	7 2.0	5 1.4	7 2.0	26 7.3
	20歳代	26 100.0	11 42.3	11 42.3	1 3.8	1 3.8	- -	2 7.7
	30歳代	48 100.0	29 60.4	11 22.9	2 4.2	2 4.2	1 2.1	3 6.3
	40歳代	60 100.0	36 60.0	19 31.7	- -	- -	4 6.7	1 1.7
	50歳代	79 100.0	54 68.4	22 27.8	- -	- -	1 1.3	2 2.5
	60歳代	85 100.0	60 70.6	12 14.1	2 2.4	2 2.4	1 1.2	8 9.4
	70歳以上	56 100.0	30 53.6	14 25.0	2 3.6	- -	- -	10 17.9
	女性計	453 100.0	308 68.0	96 21.2	4 0.9	2 0.4	10 2.2	33 7.3
	20歳代	44 100.0	35 79.5	5 11.4	- -	- -	2 4.5	2 4.5
	30歳代	61 100.0	42 68.9	15 24.6	- -	2 3.3	2 3.3	- -
	40歳代	80 100.0	61 76.3	18 22.5	- -	- -	- -	1 1.3
	50歳代	75 100.0	55 73.3	14 18.7	2 2.7	- -	1 1.3	3 4.0
	60歳代	111 100.0	74 66.7	29 26.1	2 1.8	- -	2 1.8	4 3.6
	70歳以上	82 100.0	41 50.0	15 18.3	- -	- -	3 3.7	23 28.0

【G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい】

- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」は同率 38.9%で、『そう思う』と答えた人の割合は 77.8%となり、『そう思わない』と答えた人の割合は 10.8%である。前述の「F 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」の「そう思う」(65.6%)に比べ、26.7ポイントと低く、大きな差がみられる。
- 年齢別では、40歳代以上は年齢が上がるほど『そう思う』と答えた人の割合の比率が低下している。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「そう思う」が62.9%と特に高く、積極的に『そう思う』と答えた人の割合が多い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「そう思う」が49.6%と高い。

G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい [%]

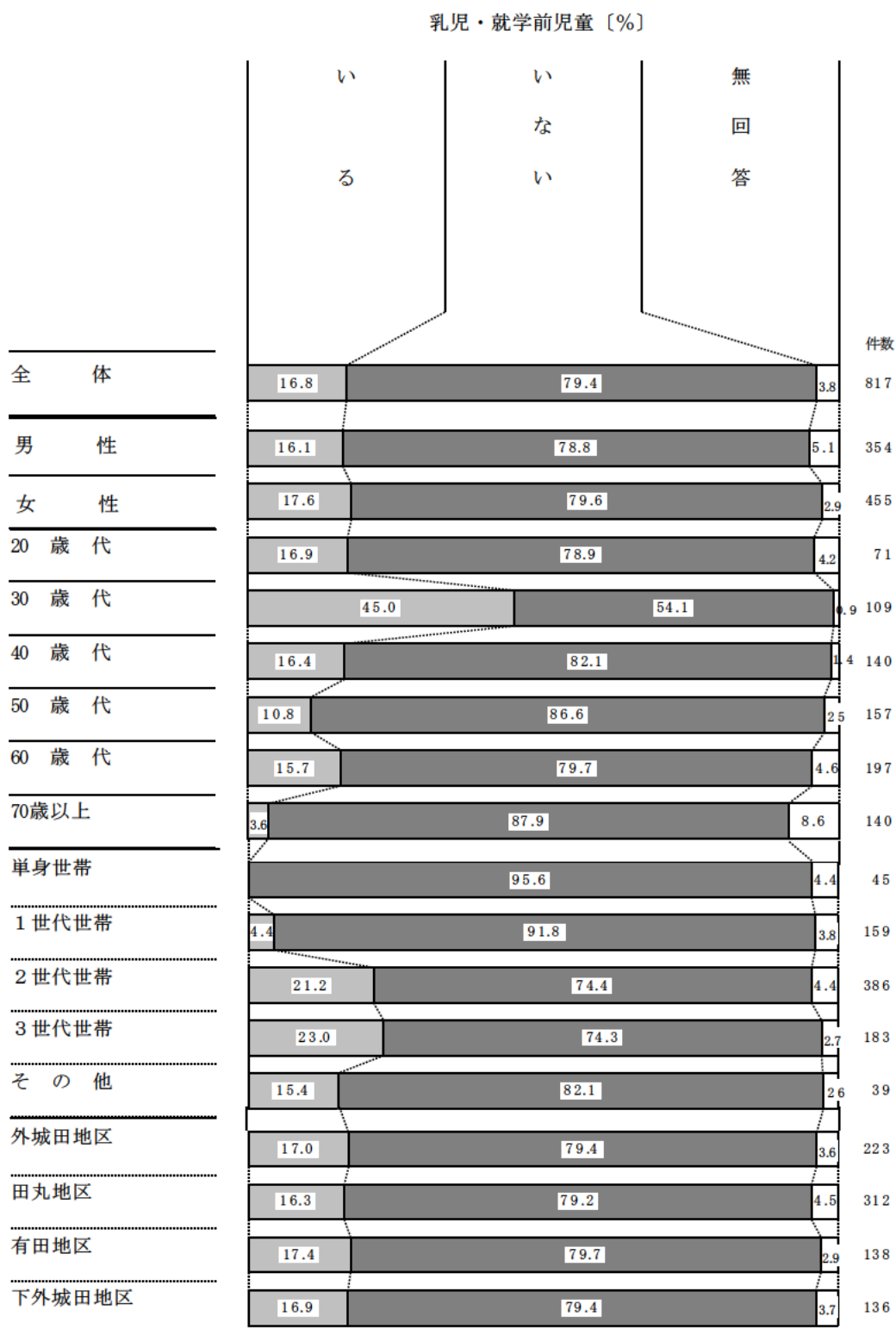


		G 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい(%)						
		全 体	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	318 38.9	318 38.9	56 6.9	32 3.9	30 3.7	63 7.7
	男性計	354 100.0	125 35.3	142 40.1	32 9.0	17 4.8	10 2.8	28 7.9
	20歳代	26 100.0	6 23.1	15 57.7	- -	3 11.5	- -	2 7.7
	30歳代	48 100.0	20 41.7	16 33.3	4 8.3	4 8.3	1 2.1	3 6.3
	40歳代	60 100.0	21 35.0	25 41.7	7 11.7	- -	6 10.0	1 1.7
	50歳代	79 100.0	39 49.4	31 39.2	5 6.3	- -	2 2.5	2 2.5
	60歳代	85 100.0	28 32.9	30 35.3	12 14.1	5 5.9	1 1.2	9 10.6
	70歳以上	56 100.0	11 19.6	25 44.6	4 7.1	5 8.9	- -	11 19.6
	女性計	453 100.0	190 41.9	171 37.7	24 5.3	15 3.3	18 4.0	35 7.7
	20歳代	44 100.0	27 61.4	12 27.3	1 2.3	- -	2 4.5	2 4.5
	30歳代	61 100.0	29 47.5	28 45.9	- -	2 3.3	2 3.3	- -
	40歳代	80 100.0	49 61.3	26 32.5	3 3.8	- -	- -	2 2.5
	50歳代	75 100.0	32 42.7	29 38.7	5 6.7	3 4.0	3 4.0	3 4.0
	60歳代	111 100.0	34 30.6	50 45.0	11 9.9	7 6.3	5 4.5	4 3.6
	70歳以上	82 100.0	19 23.2	26 31.7	4 4.9	3 3.7	6 7.3	24 29.3

(3) 乳児や就学前の幼児について

問5. あなたの家庭には、乳児や就学前の幼児がいますか。

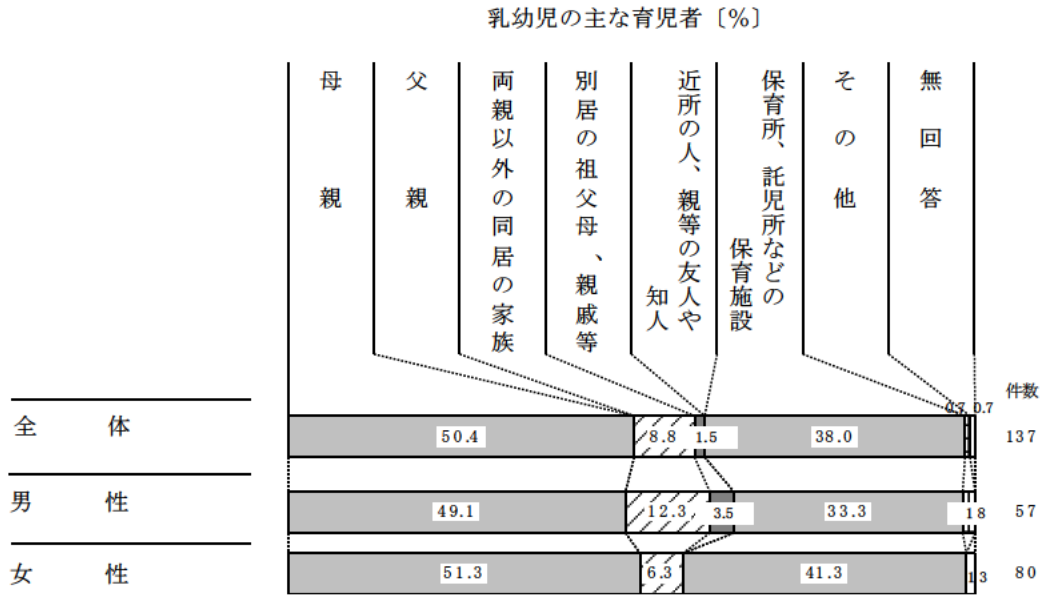
- 「いない」が79.4%と大多数を占め、「いる」は16.8%となっている。
- 年齢別では、30歳代は「いる」が45.0%と半数近くを占める。
- 世帯別で、2世代世帯、3世代世帯は、「いる」が20%強となっている。



※前問で「いる」と回答した方を対象

問5-1. 平日の日中、その乳幼児の世話は主に誰がしていますか。

- 「母親」が50.4%と最も多く、以下「保育所、託児所などの保育施設」(38.0%)、「両親以外の同居の家族」(8.8%)である。

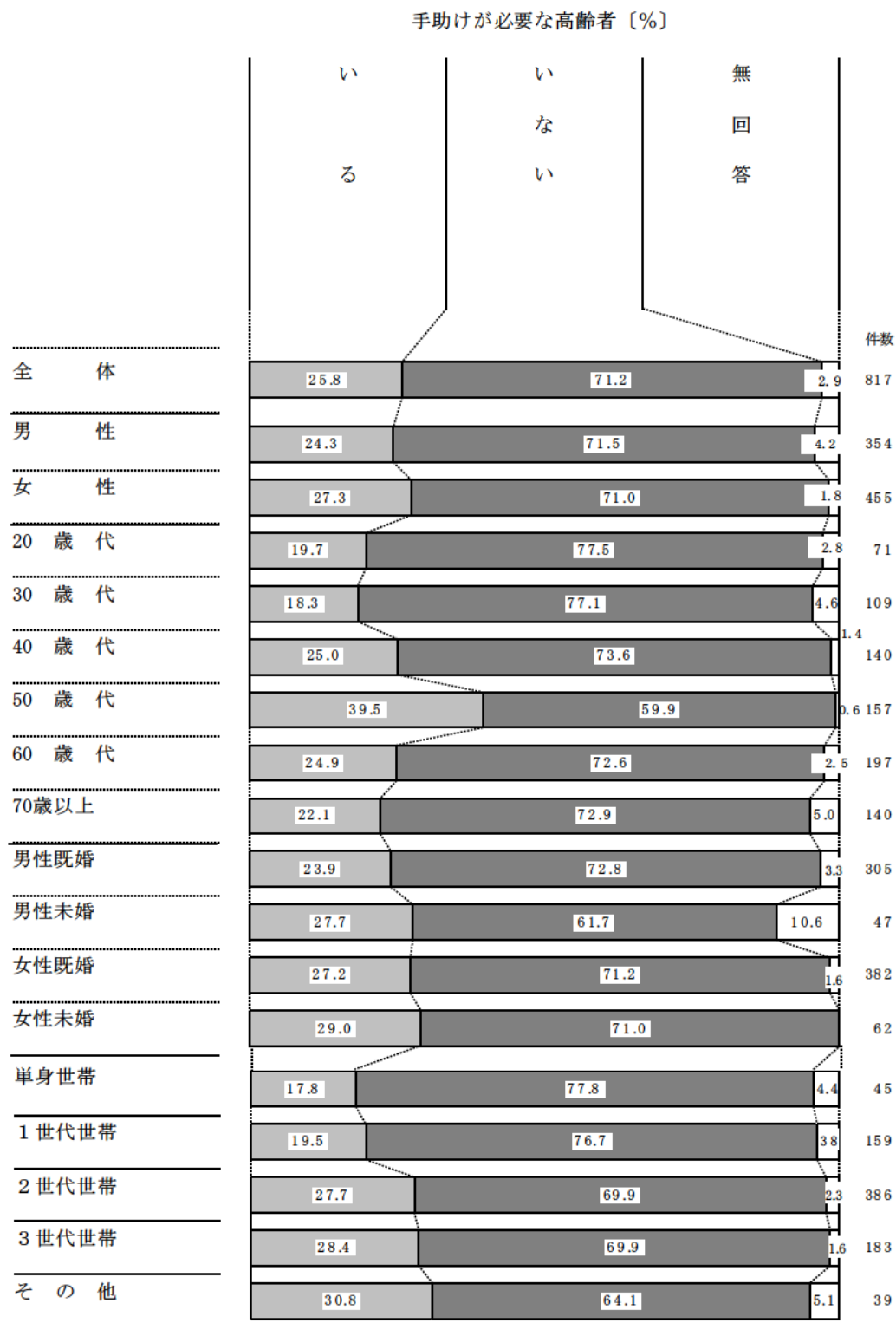


		乳幼児の主な育児者(%)								
		全体	母親	父親	両親以外の同居の家族	別居の祖父母、親戚等	近所の人、親等の友人や知人	保育所、託児所などの保育施設	その他	無回答
性年齢別	全体	137 100.0	69 50.4	- -	12 8.8	2 1.5	- -	52 38.0	1 0.7	1 0.7
	男性計	57 100.0	28 49.1	- -	7 12.3	2 3.5	- -	19 33.3	1 1.8	- -
	20歳代	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -
	30歳代	21 100.0	14 66.7	- -	1 4.8	1 4.8	- -	5 23.8	- -	- -
	40歳代	14 100.0	7 50.0	- -	2 14.3	- -	- -	5 35.7	- -	- -
	50歳代	7 100.0	3 42.9	- -	- -	- -	- -	4 57.1	- -	- -
	60歳代	10 100.0	2 20.0	- -	4 40.0	1 10.0	- -	2 20.0	1 10.0	- -
	70歳以上	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -	- -
	女性計	80 100.0	41 51.3	- -	5 6.3	- -	- -	33 41.3	- -	1 1.3
	20歳代	10 100.0	6 60.0	- -	- -	- -	- -	4 40.0	- -	- -
	30歳代	28 100.0	13 46.4	- -	1 3.6	- -	- -	13 46.4	- -	1 3.6
	40歳代	9 100.0	4 44.4	- -	- -	- -	- -	5 55.6	- -	- -
	50歳代	10 100.0	8 80.0	- -	- -	- -	- -	2 20.0	- -	- -
	60歳代	21 100.0	9 42.9	- -	3 14.3	- -	- -	9 42.9	- -	- -
	70歳以上	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -

(4) 手助けが必要な高齢者の有無

問6. あなたの身近な身内に日常的に手助けが必要な高齢者等がいますか。

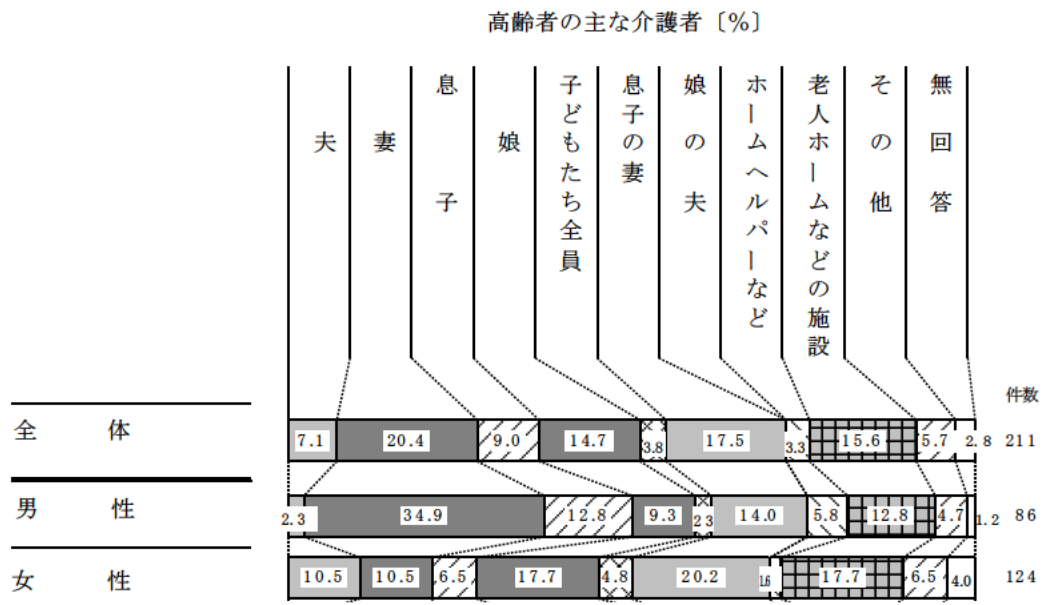
- 「いない」が71.2%と大多数を占め、「いる」は25.8%となっている。
- 年齢別では、50歳代は「いる」が39.5%と高い。
- 世帯別では、2世代世帯、3世代世帯は「いる」割合が30%弱となっている。



※前問で「いる」と回答した方を対象

問6-1. その高齢者等の世話は、主に誰がしていますか。

- 「妻」が20.4%と最も多く、以下「息子の妻」(17.5%)、「老人ホームなどの施設」(15.6%)、「娘」(14.7%)である。



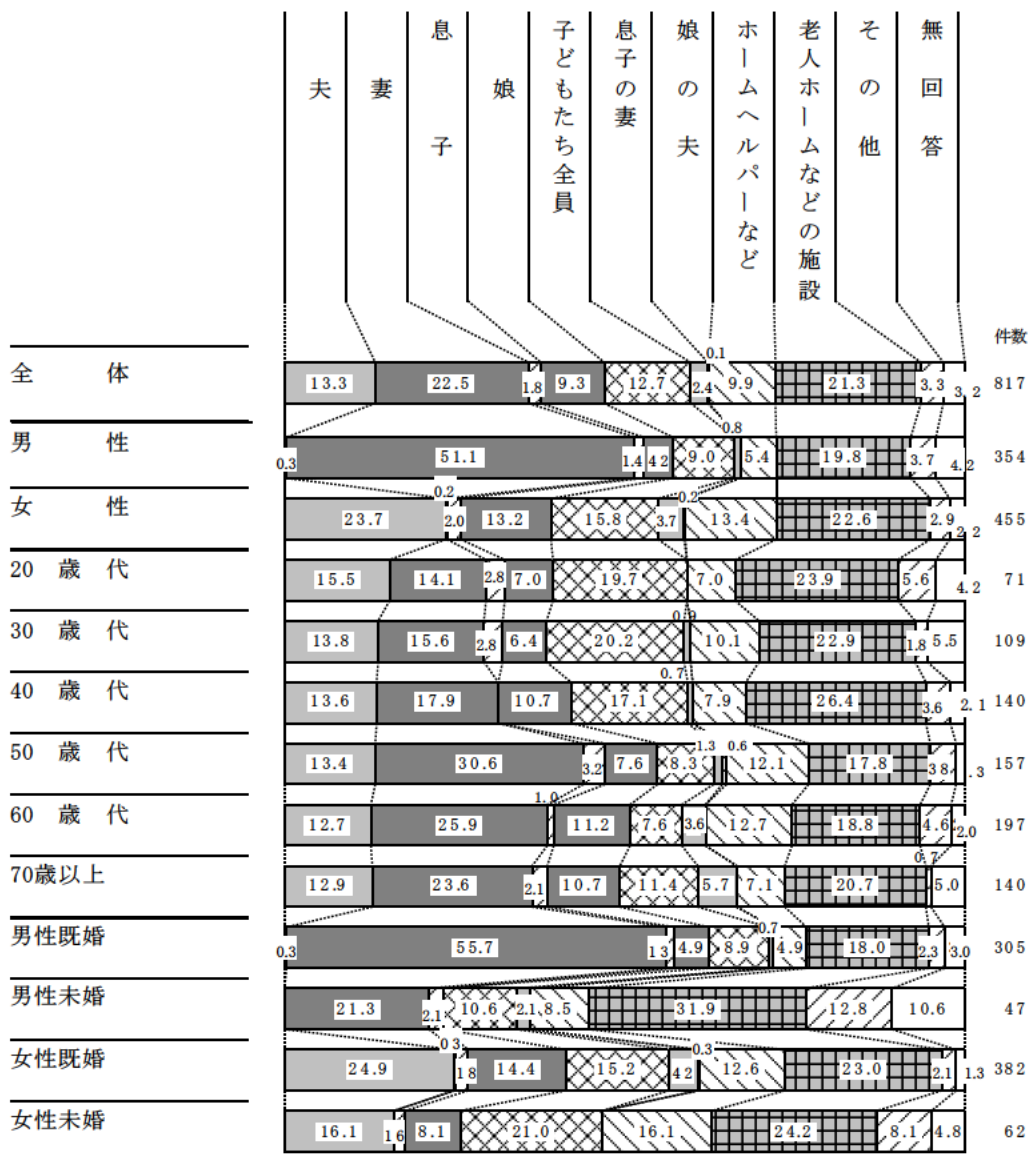
		高齢者の主な介護者(%)											
		全体	夫	妻	息子	娘	子どもたち 全員	息子の妻	娘の夫	ホームヘル パーなど	老人ホーム などの施設	その他	無回答
性年齢別	全体	211 100.0	15 7.1	43 20.4	19 9.0	31 14.7	8 3.8	37 17.5	-	7 3.3	33 15.6	12 5.7	6 2.8
	男性計	86 100.0	2 2.3	30 34.9	11 12.8	8 9.3	2 2.3	12 14.0	-	5 5.8	11 12.8	4 4.7	1 1.2
	20歳代	5 100.0	-	1 20.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-	1 20.0	-	-	1 20.0
	30歳代	6 100.0	-	2 33.3	2 33.3	-	-	-	-	1 16.7	-	1 16.7	-
	40歳代	15 100.0	-	6 40.0	1 6.7	-	1 6.7	2 13.3	-	-	4 26.7	1 6.7	-
	50歳代	31 100.0	2 6.5	11 35.5	2 6.5	6 19.4	-	5 16.1	-	1 3.2	4 12.9	-	-
	60歳代	19 100.0	-	5 26.3	5 26.3	1 5.3	1 5.3	3 15.8	-	2 10.5	2 10.5	-	-
	70歳以上	10 100.0	-	5 50.0	-	1 10.0	-	1 10.0	-	-	1 10.0	2 20.0	-
	女性計	124 100.0	13 10.5	13 10.5	8 6.5	22 17.7	6 4.8	25 20.2	-	2 1.6	22 17.7	8 6.5	5 4.0
	20歳代	9 100.0	-	2 22.2	1 11.1	3 33.3	-	1 11.1	-	-	1 11.1	1 11.1	-
	30歳代	14 100.0	-	-	1 7.1	3 21.4	1 7.1	5 35.7	-	-	2 14.3	2 14.3	-
	40歳代	20 100.0	1 5.0	3 15.0	3 15.0	3 15.0	2 10.0	5 25.0	-	-	1 5.0	2 10.0	-
	50歳代	31 100.0	-	3 9.7	-	7 22.6	-	7 22.6	-	1 3.2	8 25.8	3 9.7	2 6.5
	60歳代	29 100.0	4 13.8	3 10.3	-	6 20.7	2 6.9	7 24.1	-	1 3.4	5 17.2	-	1 3.4
	70歳以上	21 100.0	8 38.1	2 9.5	3 14.3	-	1 4.8	-	-	-	5 23.8	-	2 9.5

(5) 介護が必要になった場合の介護者

問7. あなたは将来、主に誰に介護をしてほしいと思いますか。

- 「妻」(22.5%)と「老人ホームなどの施設」(21.3%)が僅差で、以下「夫」(13.3%)、「子どもたち全員」(12.7%)、「ホームヘルパーなど」(9.9%)、「娘」(9.3%)の順である。
- 性別で見ると、男性は「妻」が51.1%と半数程度を占めているのに対して、女性は「夫」(23.7%)と「老人ホームなどの施設」(22.6%)が同程度である。
- 年齢別では、50歳代以上で「妻」の比率が高い。また、「子どもたち全員」は40歳代以下で高い比率となっている。
- 婚姻状況別では、男性既婚者は「妻」が半数程度を占めるが、男性未婚者は「老人ホームなどの施設」が高く3割台となっている。

介護が必要になった場合の介護者 [%]



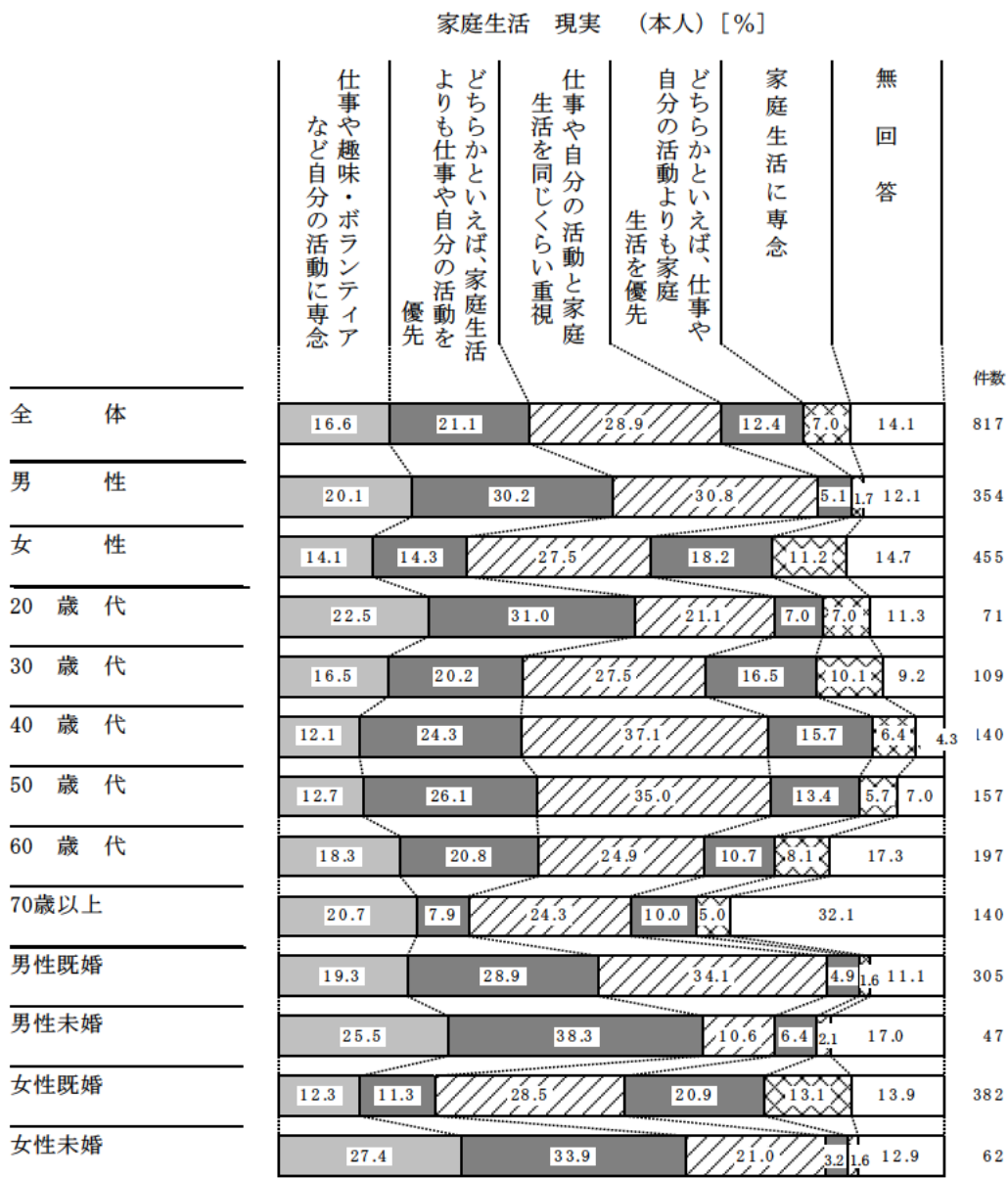
		介護が必要になった場合の介護者[%]											
		全体	夫	妻	息子	娘	子どもたち 全員	息子の妻	娘の夫	ホームヘル パーなど	老人ホーム などの施設	その他	無回答
性年齢別	全体	817 100.0	109 133	184 225	15 18	76 93	104 12.7	20 2.4	1 0.1	81 9.9	174 21.3	27 3.3	26 3.2
	男性計	354 100.0	1 0.3	181 51.1	5 1.4	15 4.2	32 9.0	3 0.8	-	19 5.4	70 19.8	13 3.7	15 4.2
	20歳代	26 100.0	-	10 38.5	1 3.8	-	2 7.7	-	-	2 7.7	8 30.8	1 3.8	2 7.7
	30歳代	48 100.0	-	17 35.4	2 4.2	2 4.2	9 18.8	1 2.1	-	2 4.2	8 16.7	2 4.2	5 10.4
	40歳代	60 100.0	-	25 41.7	-	3 5.0	11 18.3	-	-	1 1.7	14 23.3	3 5.0	3 5.0
	50歳代	79 100.0	-	47 59.5	1 1.3	2 2.5	5 6.3	-	-	5 6.3	16 20.3	2 2.5	1 1.3
	60歳代	85 100.0	1 1.2	50 58.8	1 1.2	3 3.5	1 1.2	1 1.2	-	7 8.2	16 18.8	4 4.7	1 1.2
	70歳以上	56 100.0	-	32 57.1	-	5 8.9	4 7.1	1 1.8	-	2 3.6	8 14.3	1 1.8	3 5.4
	女性計	453 100.0	108 23.8	1 0.2	9 2.0	60 13.2	72 15.9	16 3.5	1 0.2	61 13.5	103 22.7	13 2.9	9 2.0
	20歳代	44 100.0	11 25.0	-	1 2.3	5 11.4	12 27.3	-	-	3 6.8	9 20.5	2 4.5	1 2.3
	30歳代	61 100.0	15 24.6	-	1 1.6	5 8.2	13 21.3	-	-	9 14.8	17 27.9	-	1 1.6
	40歳代	80 100.0	19 23.8	-	-	12 15.0	13 16.3	1 1.3	-	10 12.5	23 28.8	2 2.5	-
	50歳代	75 100.0	21 28.0	-	3 4.0	10 13.3	8 10.7	2 2.7	1 1.3	13 17.3	12 16.0	4 5.3	1 1.3
	60歳代	111 100.0	24 21.6	1 0.9	1 0.9	19 17.1	14 12.6	6 5.4	-	18 16.2	21 18.9	5 4.5	2 1.8
	70歳以上	82 100.0	18 22.0	-	3 3.7	9 11.0	12 14.6	7 8.5	-	8 9.8	21 25.6	-	4 4.9

(6) 家庭生活の現実と希望

問8. 家庭生活と自分の活動について未婚・既婚にかかわらずお答えください。①～⑤で「現実」に最も近いもの、「希望」として最も近いものを選んでください。また、配偶者・パートナーにどのような家庭生活を望みますか。

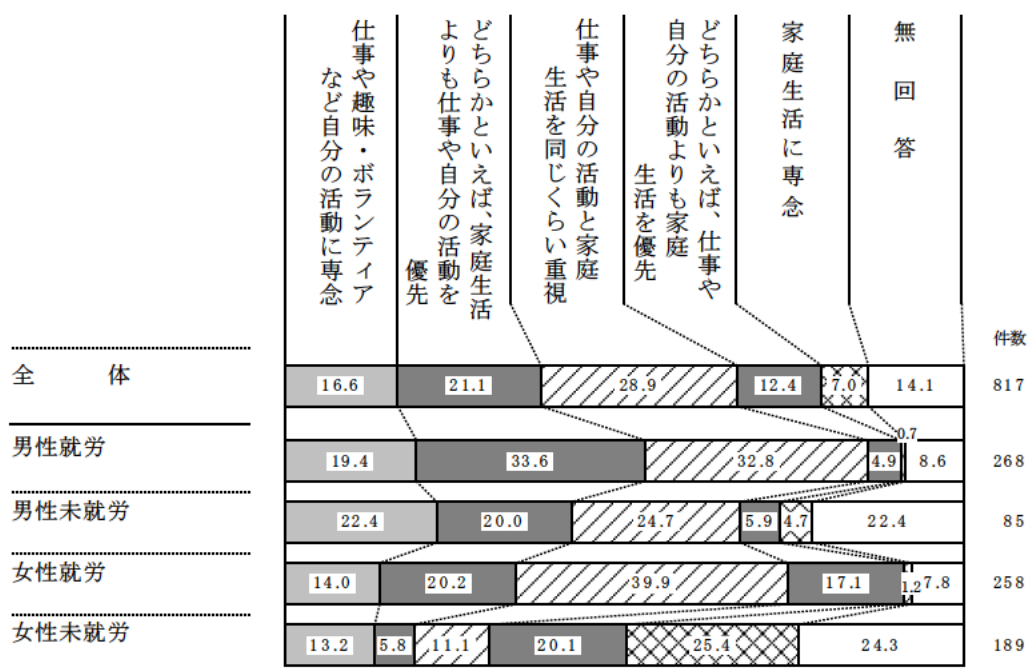
【家庭生活：現実（本人）】

- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が28.9%と最も多く、以下「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」(21.1%)、「仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念」(16.6%)である。
- 性別で見ると、男性は「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」(30.2%)と「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」(30.8%)が同程度である。
- 年齢別では、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」は、40歳代は37.1%、50歳代は35.0%と高い。
- 婚姻状況別では、未婚者は男女とも「どちらかといえば、家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先」が3割台と高い。
- 性別・就労別では、女性未就労者は「家庭生活に専念」が25.4%と高い。



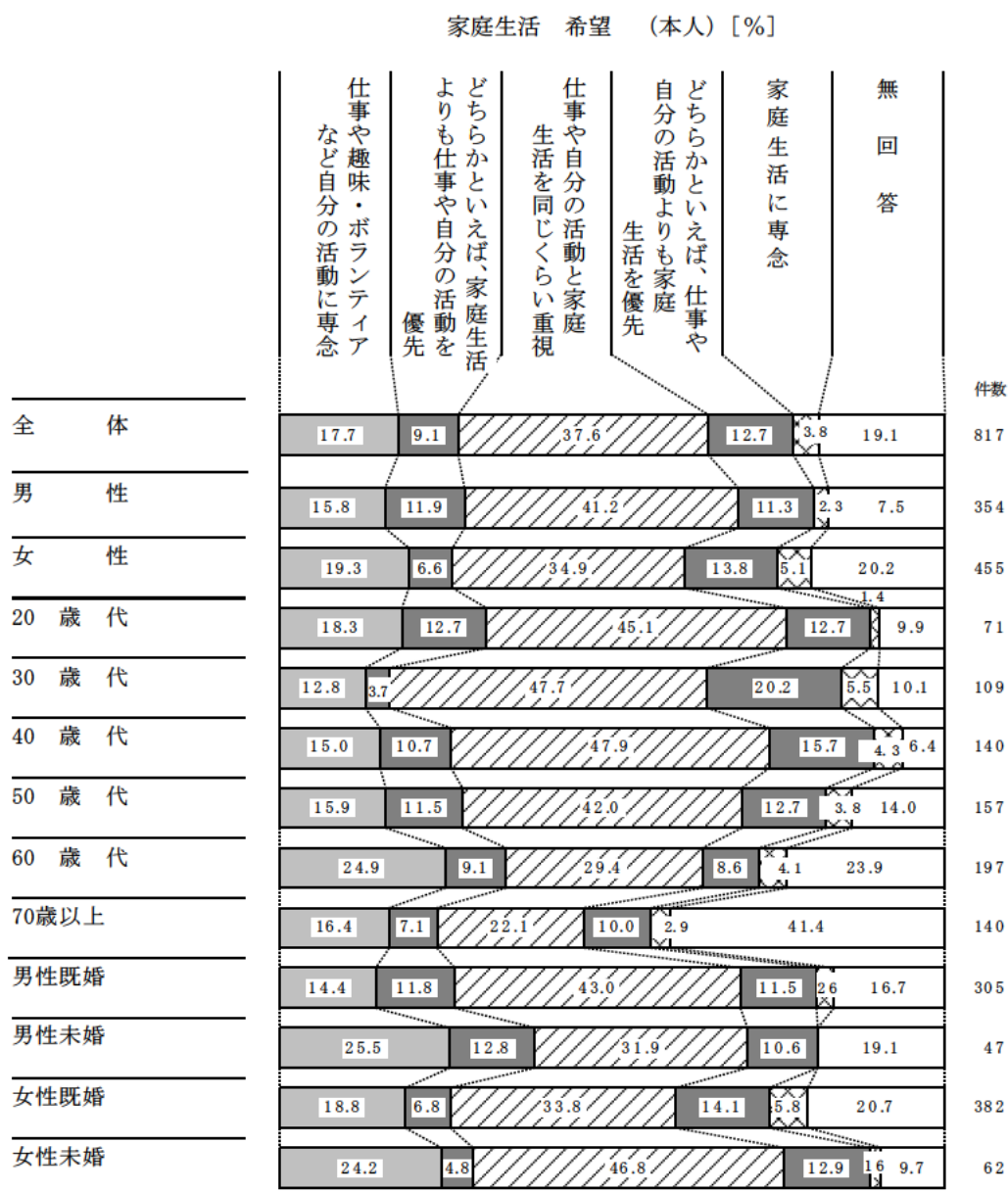
		家庭生活 現実 (本人) (%)						
		全 体	仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念	どちらかといえば 家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば 仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	136 16.6	172 21.1	236 28.9	101 12.4	57 7.0	115 14.1
	男性計	354 100.0	71 20.1	107 30.2	109 30.8	18 5.1	6 1.7	43 12.1
	20歳代	26 100.0	11 42.3	6 23.1	4 15.4	2 7.7	1 3.8	2 7.7
	30歳代	48 100.0	8 16.7	16 33.3	15 31.3	3 6.3	-	6 12.5
	40歳代	60 100.0	10 16.7	21 35.0	22 36.7	4 6.7	-	3 5.0
	50歳代	79 100.0	10 12.7	31 39.2	26 32.9	5 6.3	-	7 8.9
	60歳代	85 100.0	19 22.4	25 29.4	25 29.4	2 2.4	3 3.5	11 12.9
	70歳以上	56 100.0	13 23.2	8 14.3	17 30.4	2 3.6	2 3.6	14 25.0
	女性計	453 100.0	64 14.1	64 14.1	125 27.6	83 18.3	51 11.3	66 14.6
	20歳代	44 100.0	5 11.4	16 36.4	11 25.0	3 6.8	4 9.1	5 11.4
	30歳代	61 100.0	10 16.4	6 9.8	15 24.6	15 24.6	11 18.0	4 6.6
	40歳代	80 100.0	7 8.8	13 16.3	30 37.5	18 22.5	9 11.3	3 3.8
	50歳代	75 100.0	9 12.0	10 13.3	28 37.3	16 21.3	9 12.0	3 4.0
	60歳代	111 100.0	17 15.3	16 14.4	24 21.6	19 17.1	13 11.7	22 19.8
	70歳以上	82 100.0	16 19.5	3 3.7	17 20.7	12 14.6	5 6.1	29 35.4

家庭生活 現実 (本人) [%]



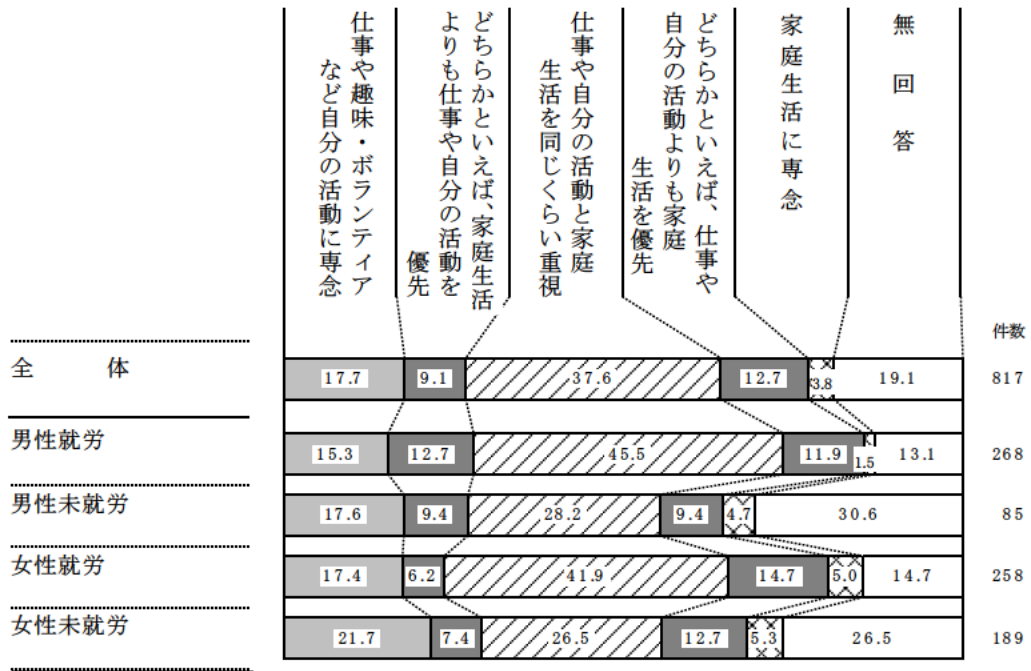
【家庭生活：希望（本人）】

- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が37.6%と最も多く、前述の【家庭生活：現実（本人）】と比べると、8.7ポイント高い。以下「仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念」（17.7%）、「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」（12.7%）の順である。
- 年齢別では、20歳～40歳代は現実と大きく異なり、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が多くなっている。
- 婚姻状況別では、未婚者は男女ともに現実と異なり、「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が最も多い。
- 性別・就労別では、男女ともに未就労者は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」の割合が比較的低い。



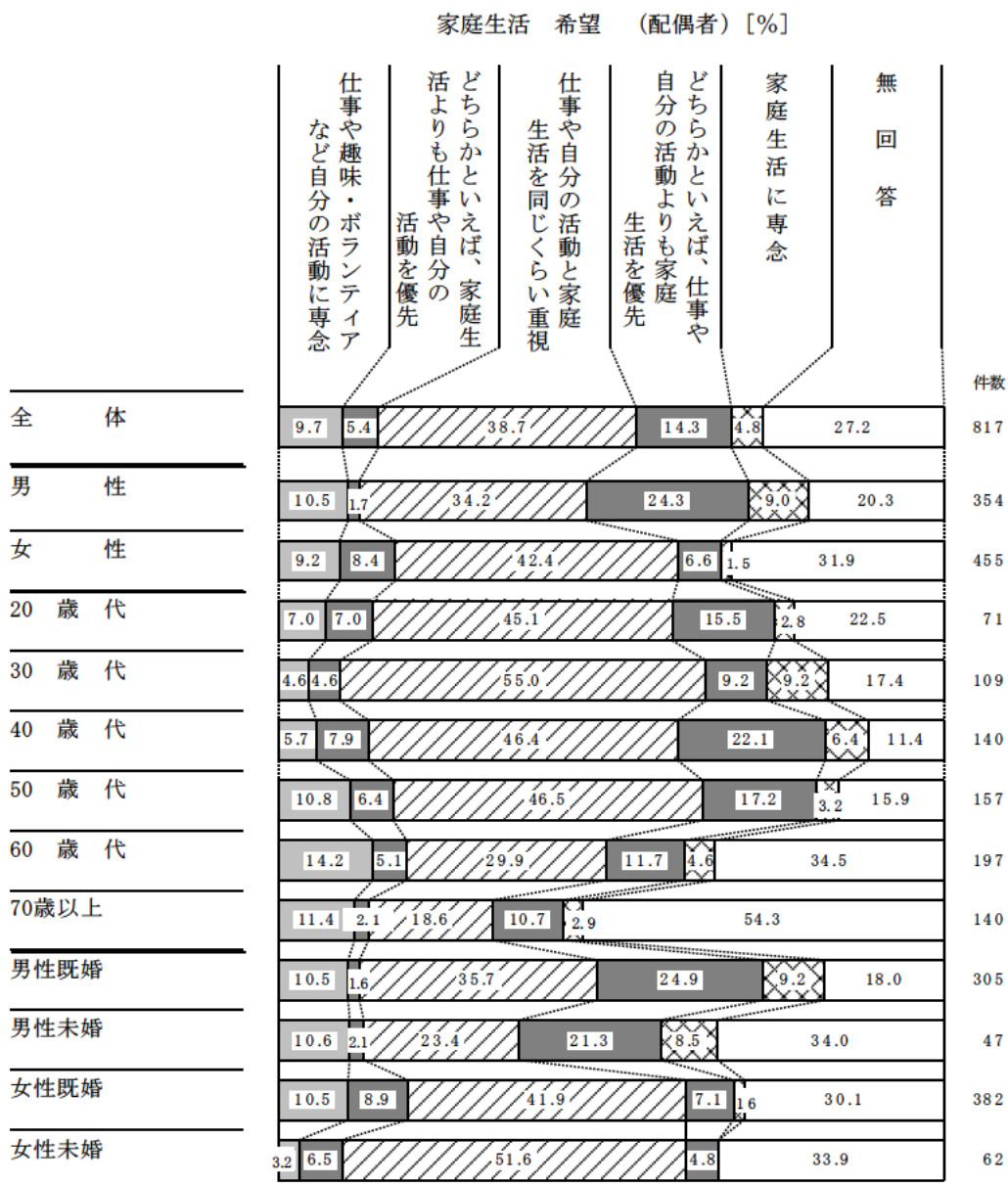
		家庭生活 希望 (本人) (%)						
		全 体	仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念	どちらかといえば 家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば 仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	145 17.7	74 9.1	307 37.6	104 12.7	31 3.8	156 19.1
	男性計	354 100.0	56 15.8	42 11.9	146 41.2	40 11.3	8 2.3	62 17.5
	20歳代	26 100.0	4 15.4	6 23.1	11 42.3	2 7.7	- -	3 11.5
	30歳代	48 100.0	7 14.6	2 4.2	25 52.1	9 18.8	1 2.1	4 8.3
	40歳代	60 100.0	8 13.3	11 18.3	29 48.3	8 13.3	- -	4 6.7
	50歳代	79 100.0	9 11.4	10 12.7	39 49.4	9 11.4	2 2.5	10 12.7
	60歳代	85 100.0	19 22.4	8 9.4	25 29.4	9 10.6	3 3.5	21 24.7
	70歳以上	56 100.0	9 16.1	5 8.9	17 30.4	3 5.4	2 3.6	20 35.7
	女性計	453 100.0	88 19.4	30 6.6	159 35.1	63 13.9	23 5.1	90 19.9
	20歳代	44 100.0	9 20.5	3 6.8	21 47.7	7 15.9	1 2.3	3 6.8
	30歳代	61 100.0	7 11.5	2 3.3	27 44.3	13 21.3	5 8.2	7 11.5
	40歳代	80 100.0	13 16.3	4 5.0	38 47.5	14 17.5	6 7.5	5 6.3
	50歳代	75 100.0	16 21.3	6 8.0	26 34.7	11 14.7	4 5.3	12 16.0
	60歳代	111 100.0	29 26.1	10 9.0	33 29.7	8 7.2	5 4.5	26 23.4
	70歳以上	82 100.0	14 17.1	5 6.1	14 17.1	10 12.2	2 2.4	37 45.1

家庭生活 希望 (本人) [%]



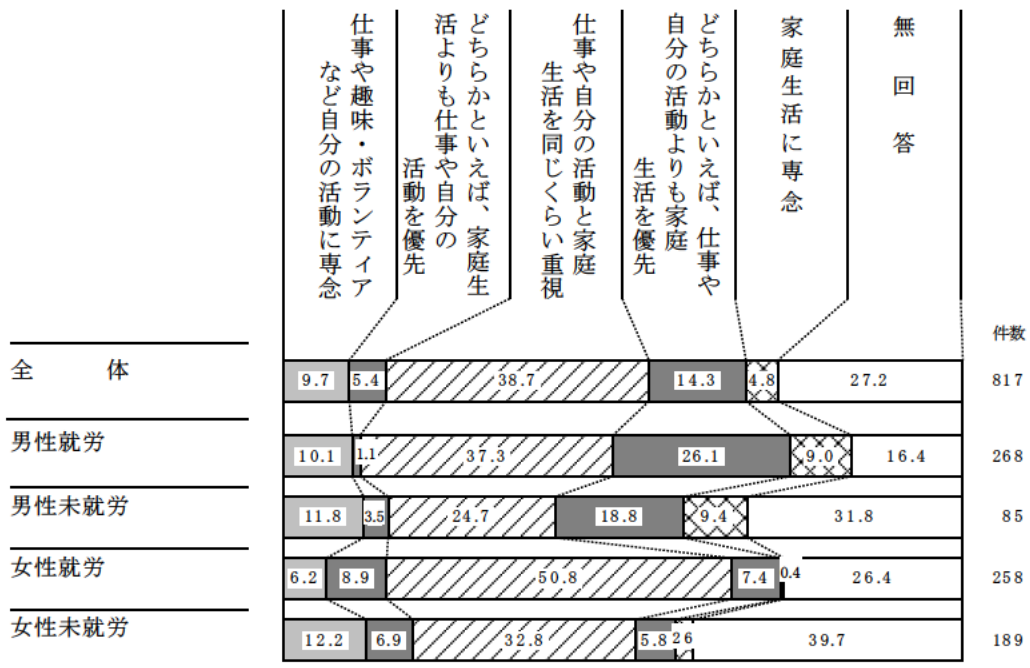
【家庭生活：希望（配偶者）】

- 「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が38.7%と最も多く、以下「どちらかといえば、仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」（14.3%）、「仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念」（9.7%）である。
- 性別で見ると、男性は「どちらかといえば仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先」が24.3%と女性（6.6%）よりも17.7ポイント上回る。
- 年齢別では、30歳代以上は年齢が上がるごとに「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が低下する傾向がみられる。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が51.6%と高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は、「仕事と自分の活動と家庭生活を同じくらい重視」が50.8%と特に高い。



		家庭生活 希望 (配偶者) (%)						
		全 体	仕事や趣味・ボランティアなど自分の活動に専念	どちらかといえば 家庭生活よりも仕事や自分の活動を優先	仕事や自分の活動と家庭生活を同じくらい重視	どちらかといえば 仕事や自分の活動よりも家庭生活を優先	家庭生活に専念	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	79 9.7	44 5.4	316 38.7	117 14.3	39 4.8	222 27.2
	男性計	354 100.0	37 10.5	6 1.7	121 34.2	86 24.3	32 9.0	72 20.3
	20歳代	26 100.0	4 15.4	1 3.8	9 34.6	5 19.2	2 7.7	5 19.2
	30歳代	48 100.0	1 2.1	- -	18 37.5	10 20.8	10 20.8	9 18.8
	40歳代	60 100.0	3 5.0	1 1.7	20 33.3	23 38.3	8 13.3	5 8.3
	50歳代	79 100.0	7 8.9	1 1.3	34 43.0	22 27.8	4 5.1	11 13.9
	60歳代	85 100.0	15 17.6	2 2.4	27 31.8	18 21.2	6 7.1	17 20.0
	70歳以上	56 100.0	7 12.5	1 1.8	13 23.2	8 14.3	2 3.6	25 44.6
	女性計	453 100.0	42 9.3	38 8.4	193 42.6	30 6.6	7 1.5	143 31.6
	20歳代	44 100.0	1 2.3	4 9.1	23 52.3	6 13.6	- -	10 22.7
	30歳代	61 100.0	4 6.6	5 8.2	42 68.9	- -	- -	10 16.4
	40歳代	80 100.0	5 6.3	10 12.5	45 56.3	8 10.0	1 1.3	11 13.8
	50歳代	75 100.0	10 13.3	9 12.0	38 50.7	4 5.3	1 1.3	13 17.3
	60歳代	111 100.0	13 11.7	8 7.2	32 28.8	5 4.5	3 2.7	50 45.0
	70歳以上	82 100.0	9 11.0	2 2.4	13 15.9	7 8.5	2 2.4	49 59.8

家庭生活 希望 (配偶者) [%]



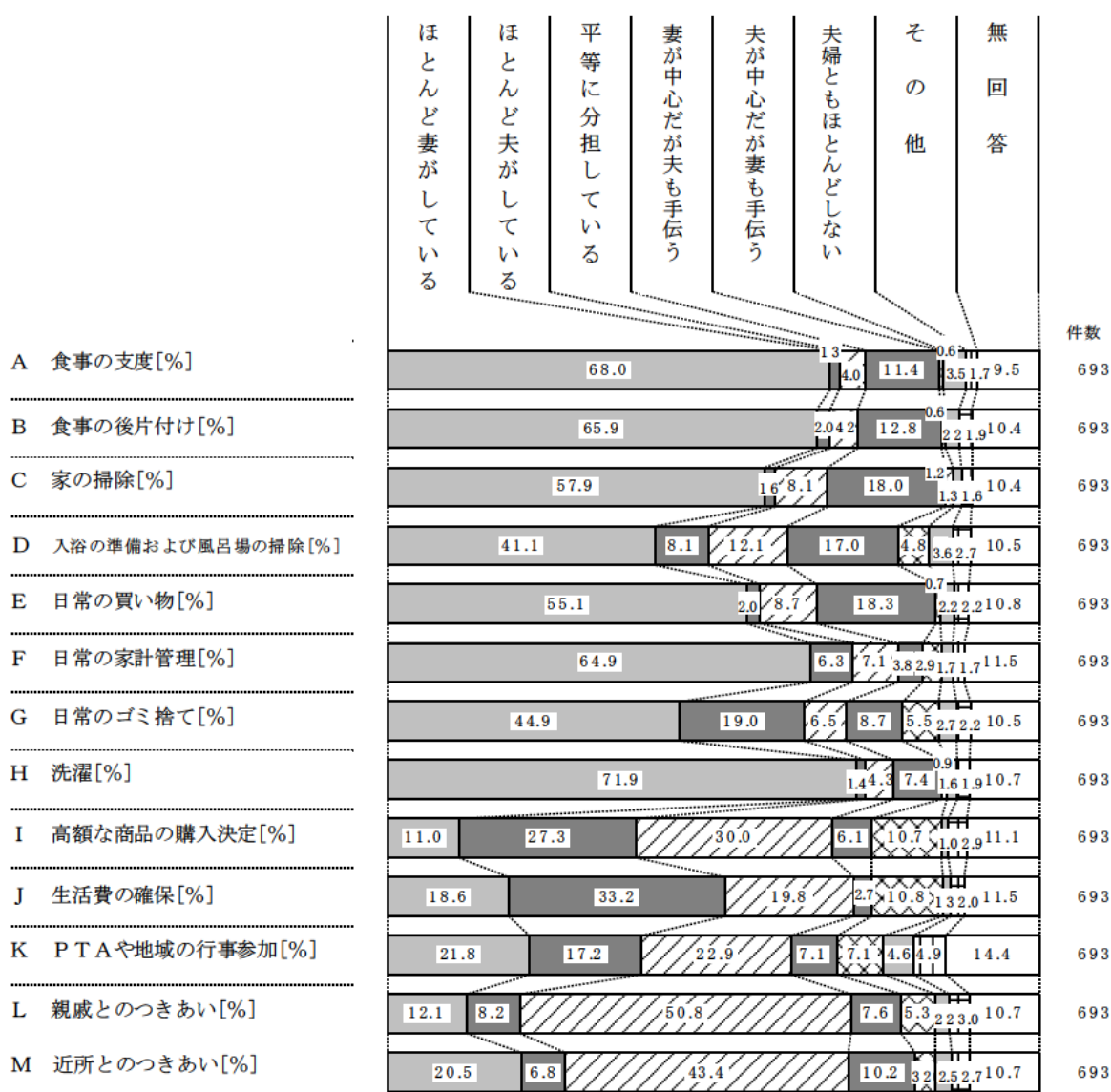
(7) 家庭内の仕事の分担

※現在、結婚している方を対象

問9. あなたの家庭では、A～Mのそれぞれについて、夫婦の間でどのように行っていますか。

【全体】(A～M)

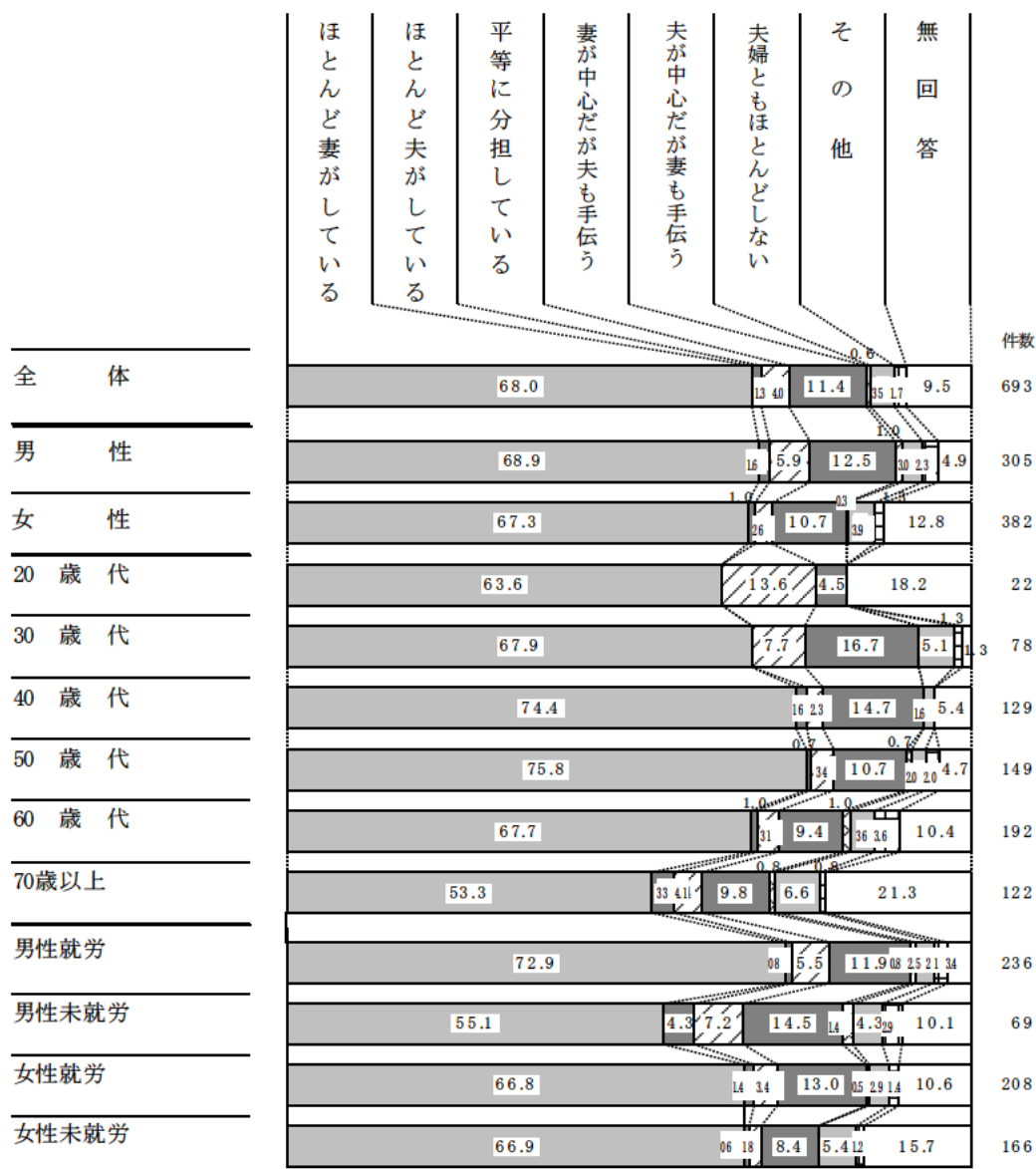
- A～Hの日常的な家事等の項目は「ほとんど妻がしている」割合が高く、「H 洗濯」は71.9%、「A 食事の支度」が68.0%、「B 食事の後片付け」が65.9%、「E 日常の家計管理」が64.9%と高い。一方、「L 親戚とのつきあい」と「M 近所とのつきあい」は「平等に分担している」が多く回答されている。また、「J 生活費の確保」では、13分野の中で唯一「ほとんど夫がしている」が最も多い。



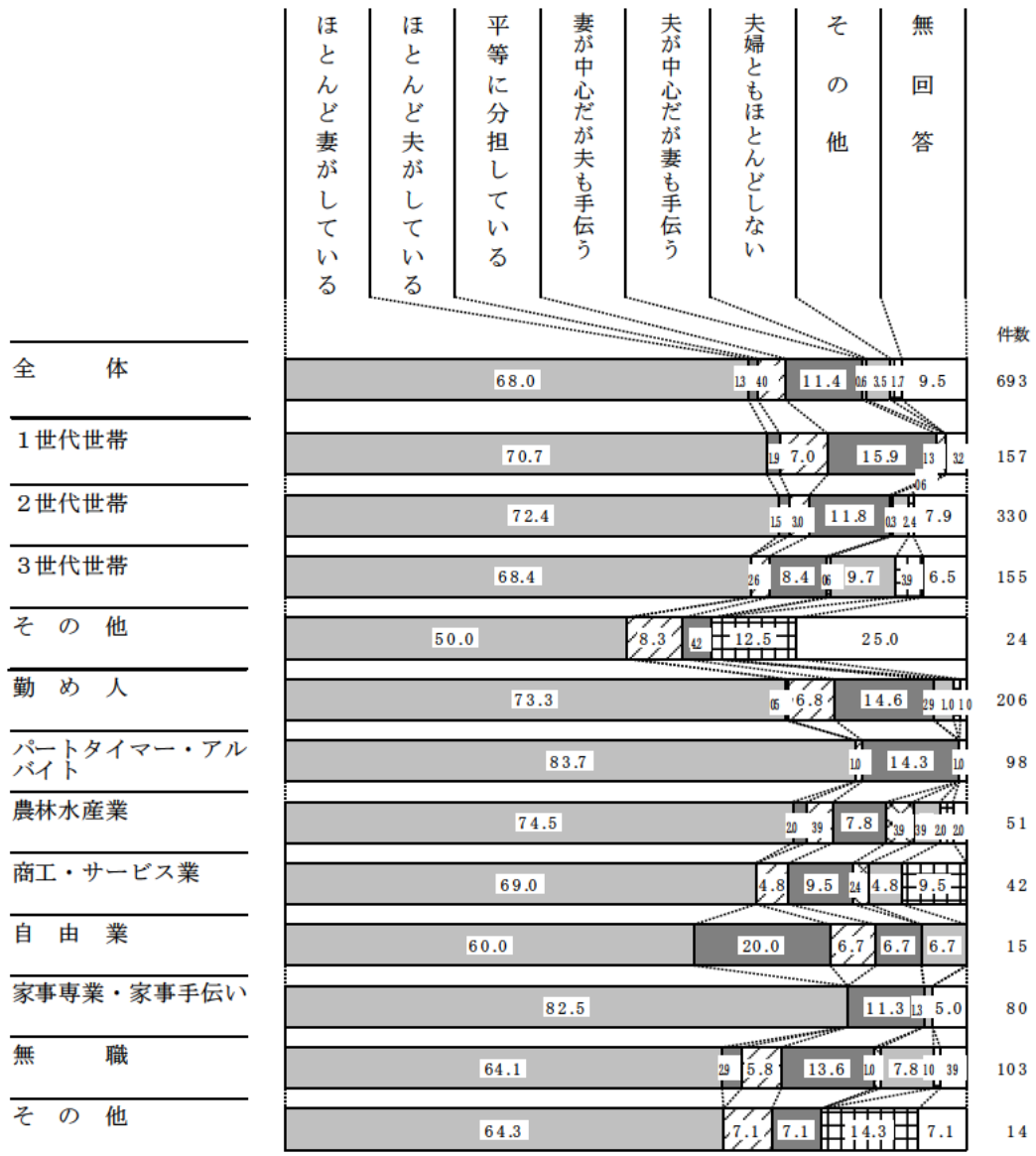
【A 食事の支度】

- 「ほとんど妻がしている」が68.0%と最も多く、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」(11.4%)となっている。
- 年齢別では「ほとんど妻がしている」は40歳代で74.4%、50歳代で75.8%とやや高く、70歳以上では53.3%となっている。
- 性別・就労別では、男性就労者は「ほとんど妻がしている」が72.9%と高い。
- 職業別では、パートタイマー・アルバイトは、「ほとんど妻がしている」が83.7%と特に高い。

A 食事の支度[%]



A 食事の支度[%]

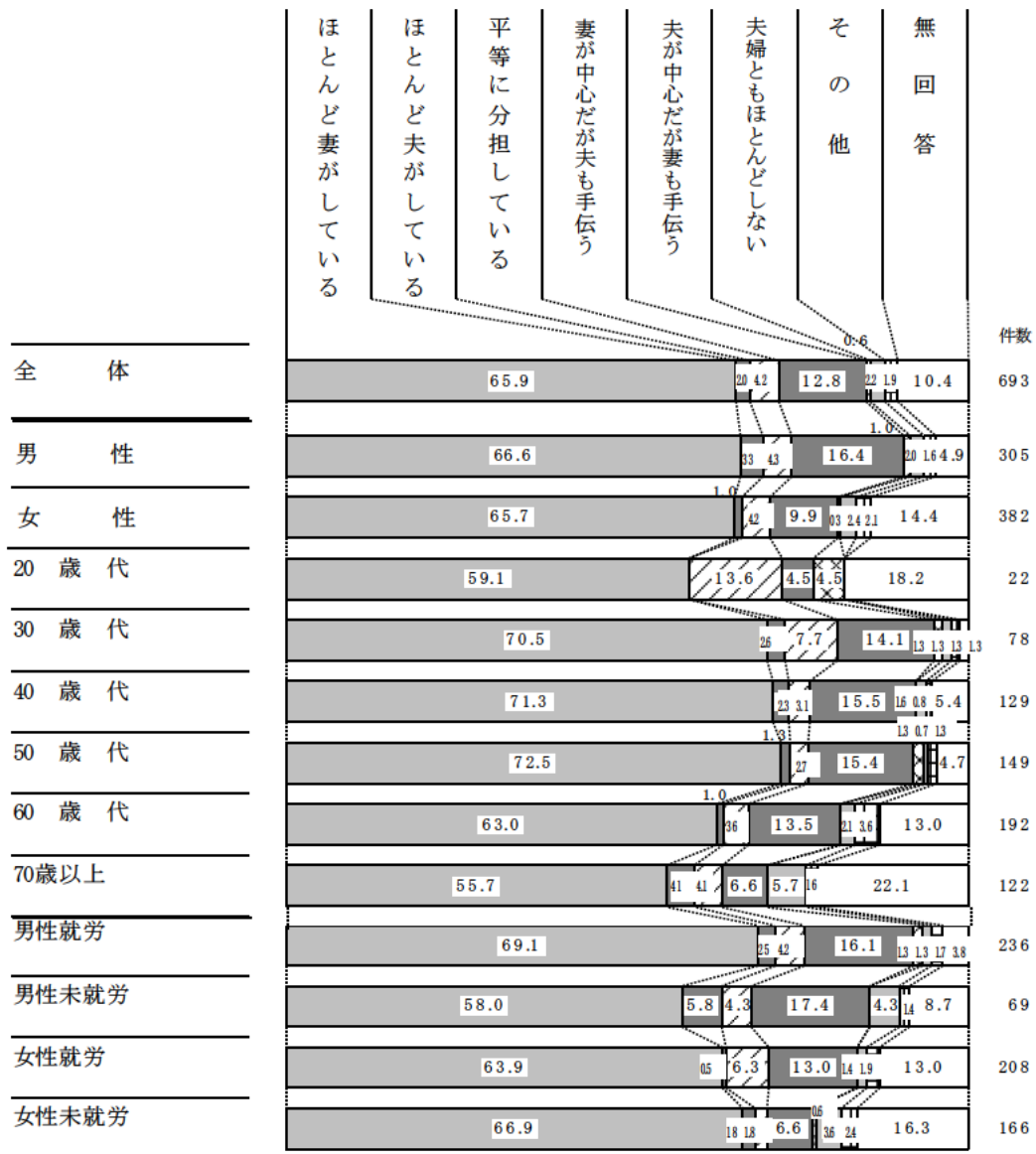


※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

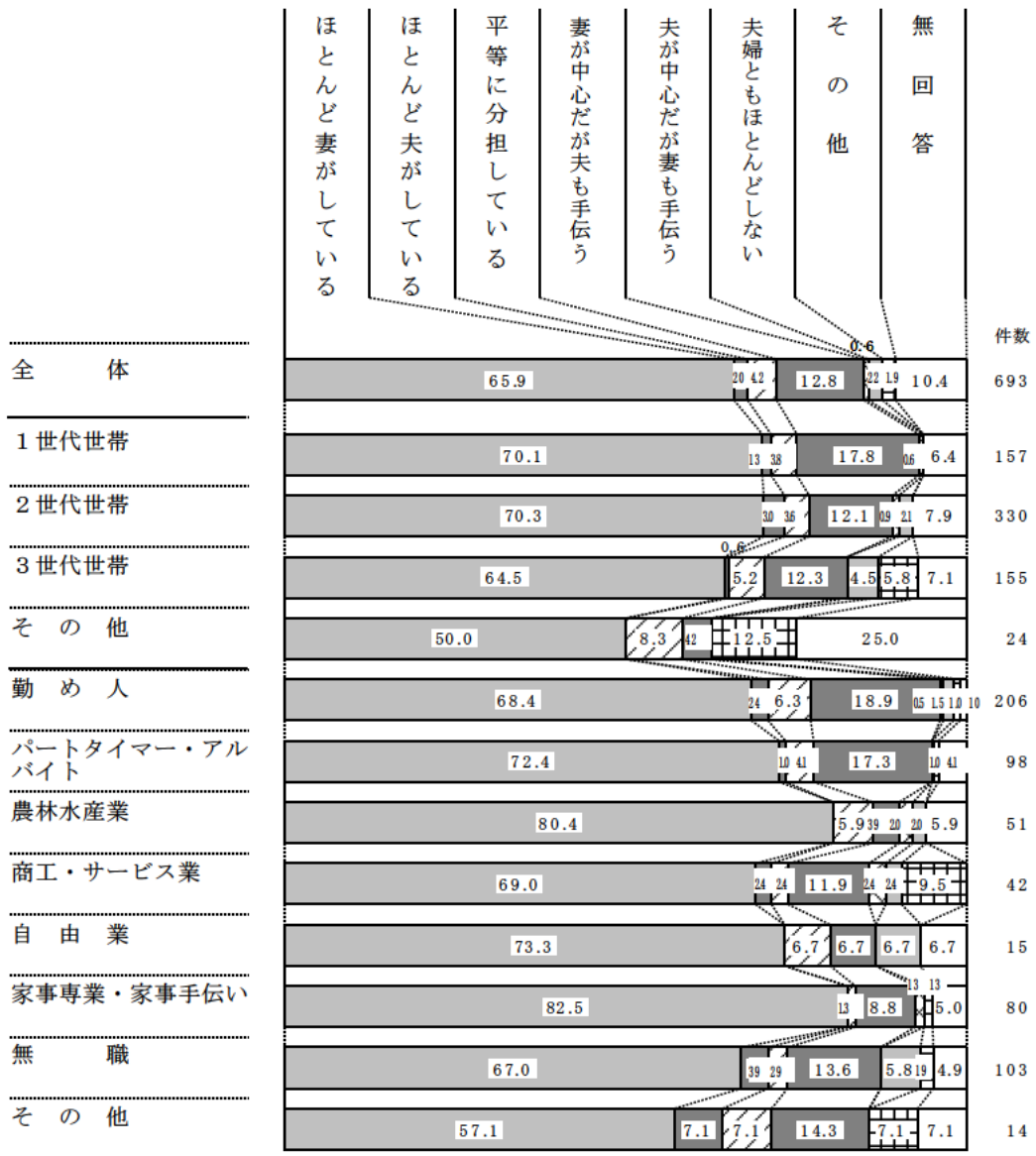
【B 食事の後片付け】

- 「ほとんど妻がしている」が65.9%と最も多く、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」(12.8%)となっている。
- 性別で見ると、「妻が中心だが夫も手伝う」は、男性が16.4%とやや高く、女性は9.9%である。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」が55.7%と低い。
- 性別・就労では、男性就労者は「ほとんど妻がしている」が69.1%と高い。

B 食事の後片付け[%]



B 食事の後片付け[%]

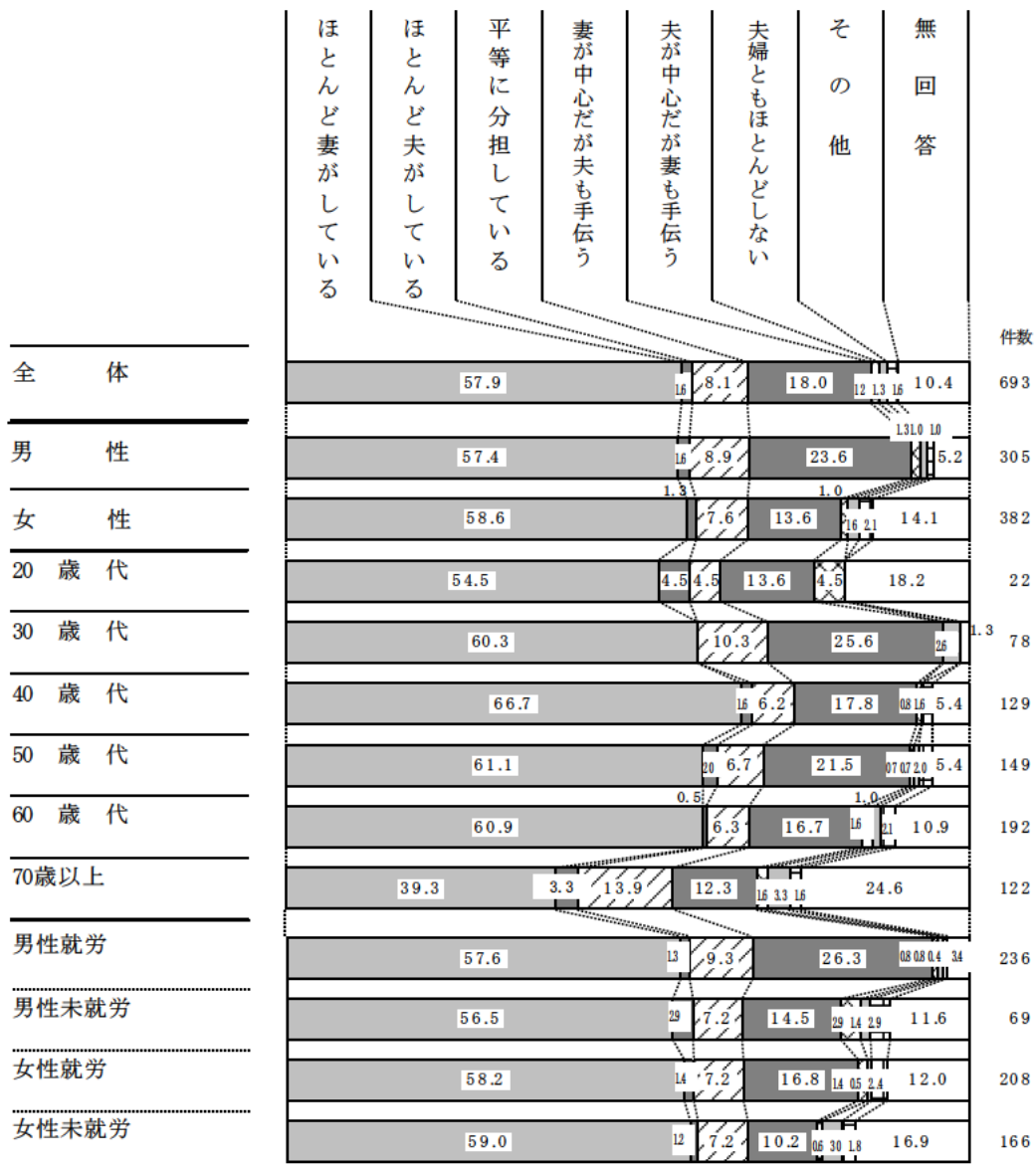


※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

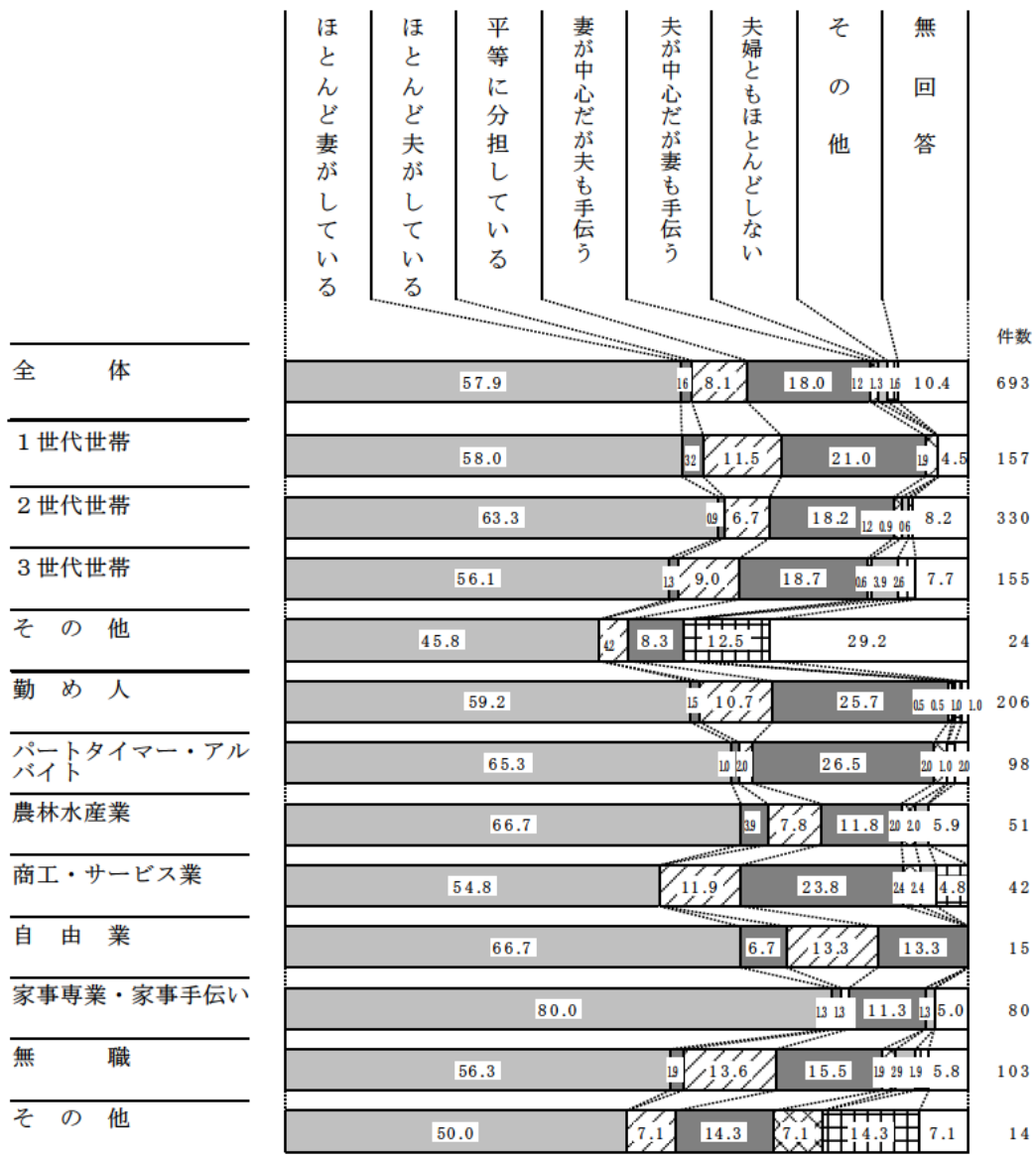
【C 家の掃除】

- 「ほとんど妻がしている」が57.9%と最も多く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(18.0%)、「平等に分担している」(8.1%)である。
- 性別で見ると、「妻が中心だが夫も手伝う」は、男性が23.6%と高く、女性は13.6%である。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」が39.3%と低い。
- 性別・就労では、男性就労者は「妻が中心だが夫も手伝う」が26.3%と高い。
- 職業別では、「ほとんど妻がしている」は、家事専業・家事手伝い(80.0%)、農林水産業(66.7%)、パートタイマー・アルバイト(65.3%)で高い。

C 家の掃除[%]



C 家の掃除[%]

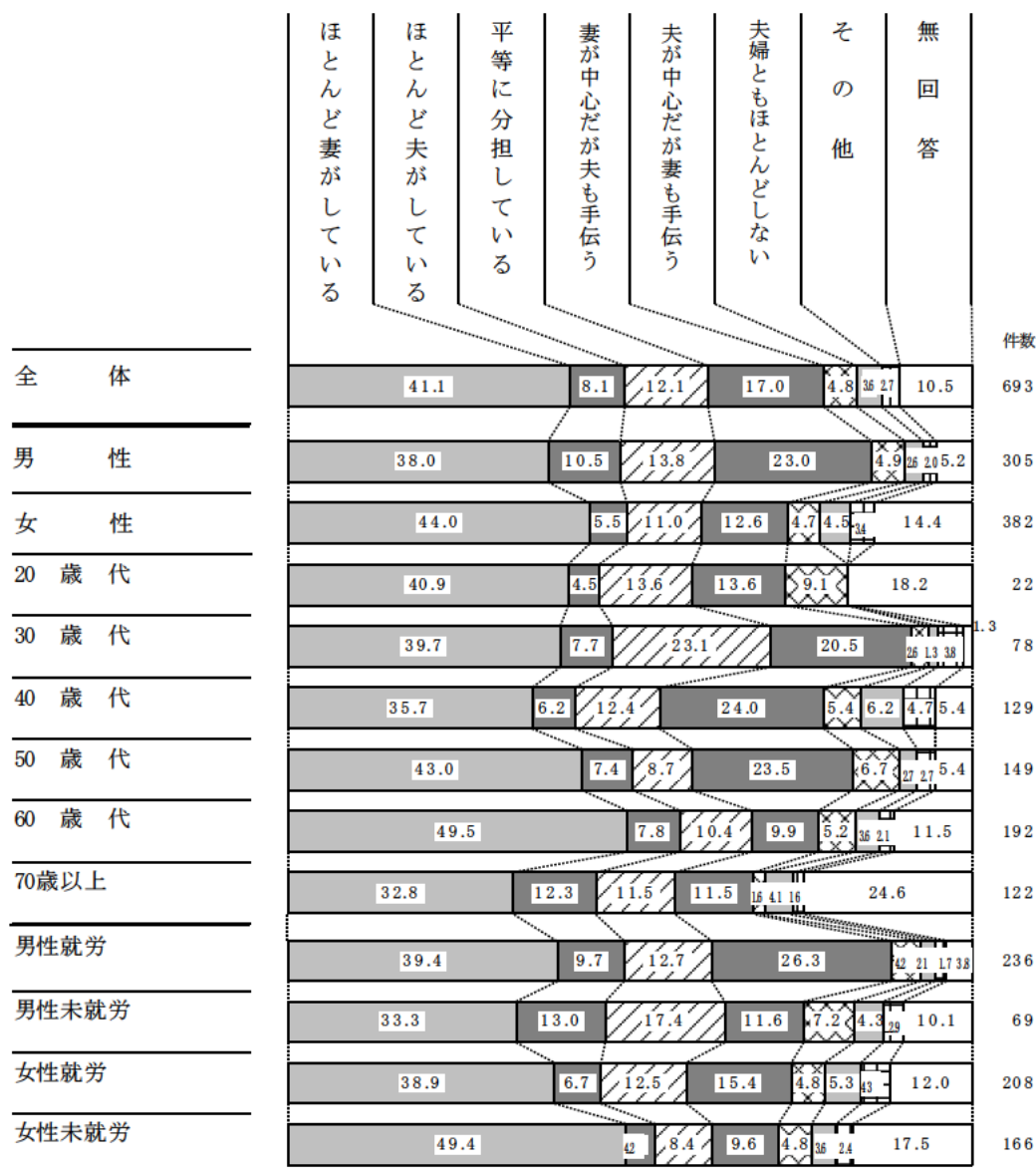


※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

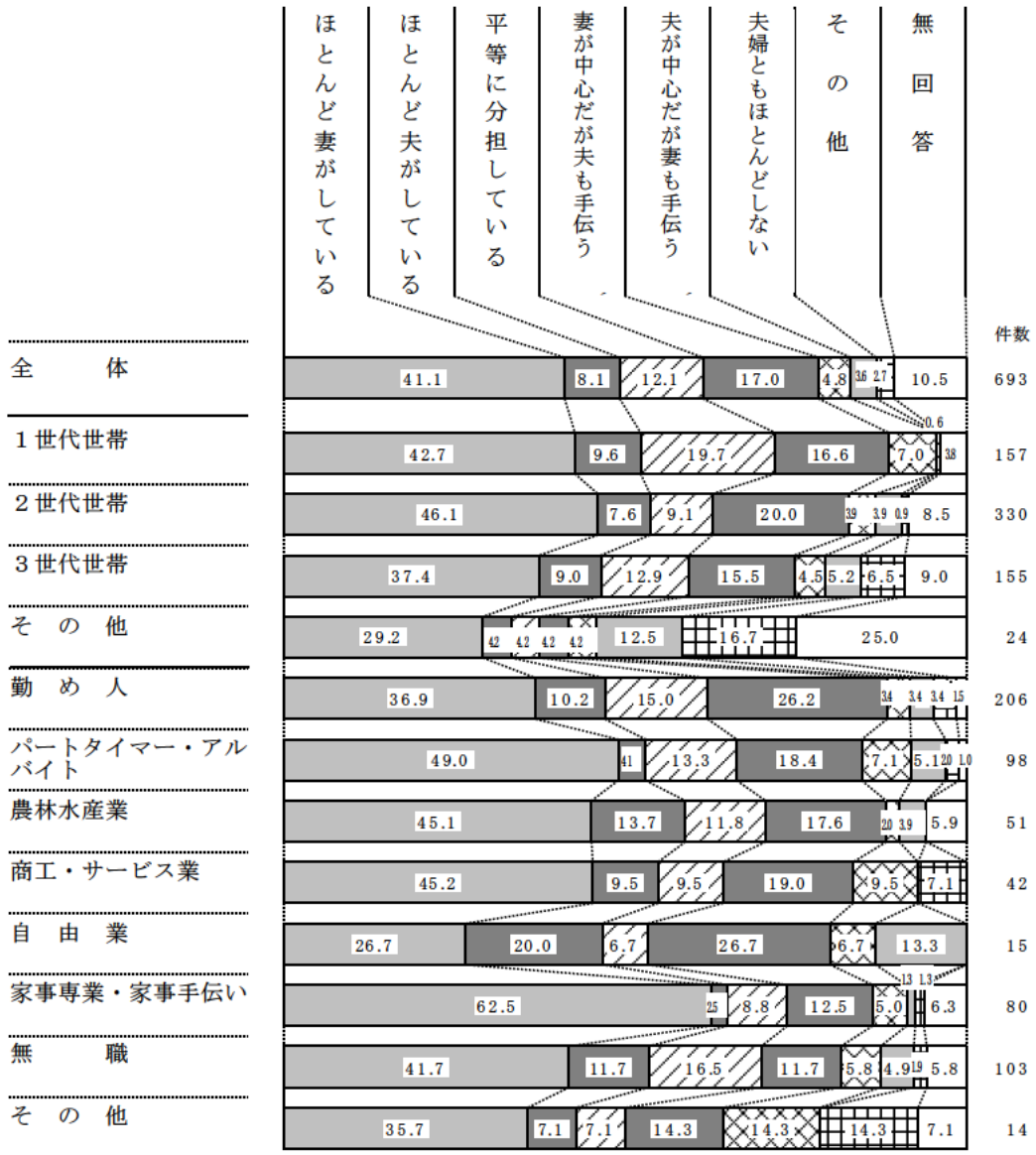
【D 入浴の準備および風呂場の掃除】

- 「ほとんど妻がしている」が41.1%と最も多く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(17.0%)、「平等に分担している」(12.1%)となっている。
- 性別でみると、男性は「妻が中心だが夫も手伝う」が23.0%と女性(12.6%)よりも10.4ポイント上回る。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」が32.8%と低い。
- 性別・就労別では、女性未就労者は「ほとんど妻がしている」が49.4%と高い。
- 世帯別では、3世代世帯は「ほとんど妻がしている」が37.4%とやや低い。

D 入浴の準備および風呂場の掃除[%]



D 入浴の準備および風呂場の掃除[%]

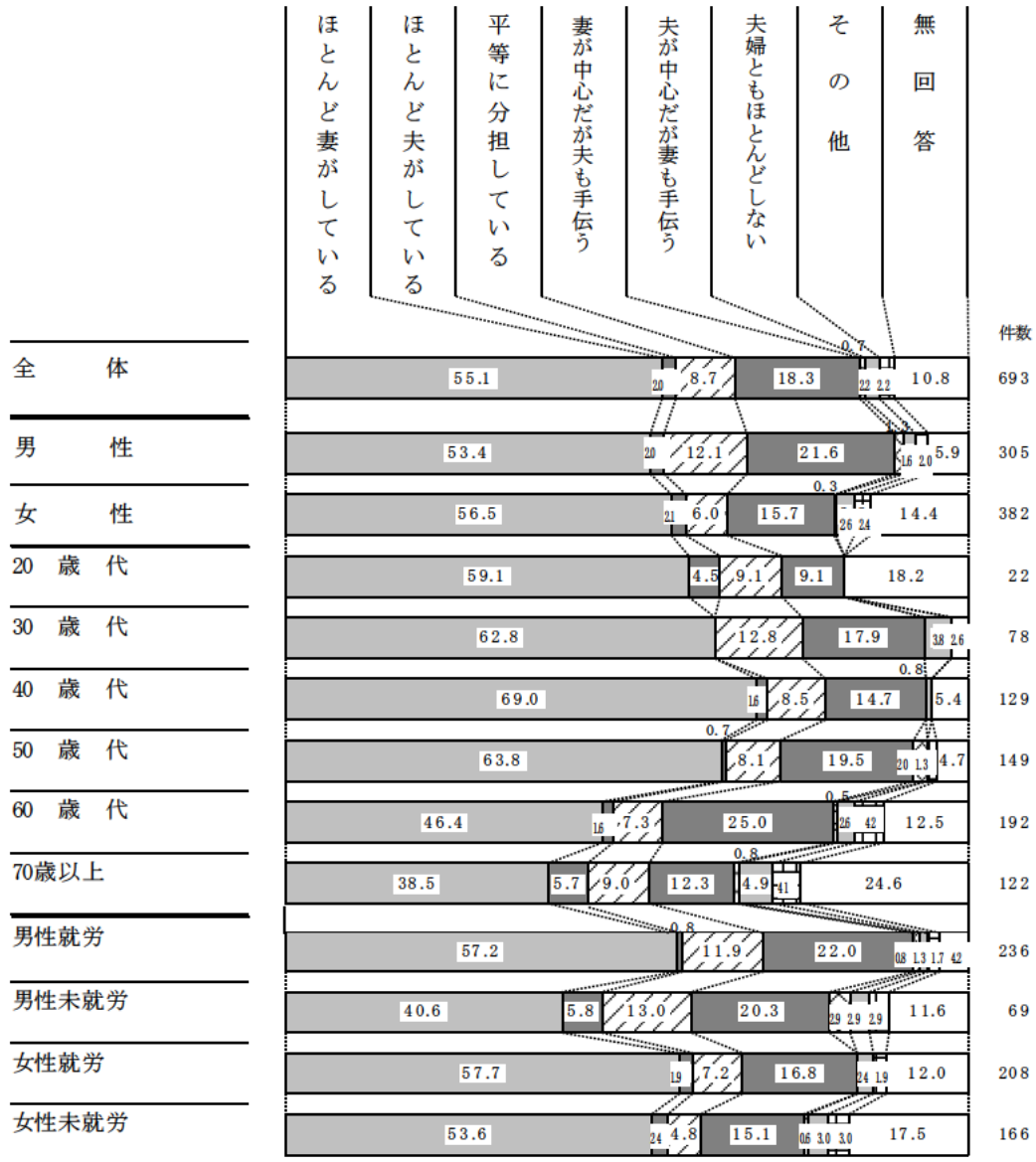


※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

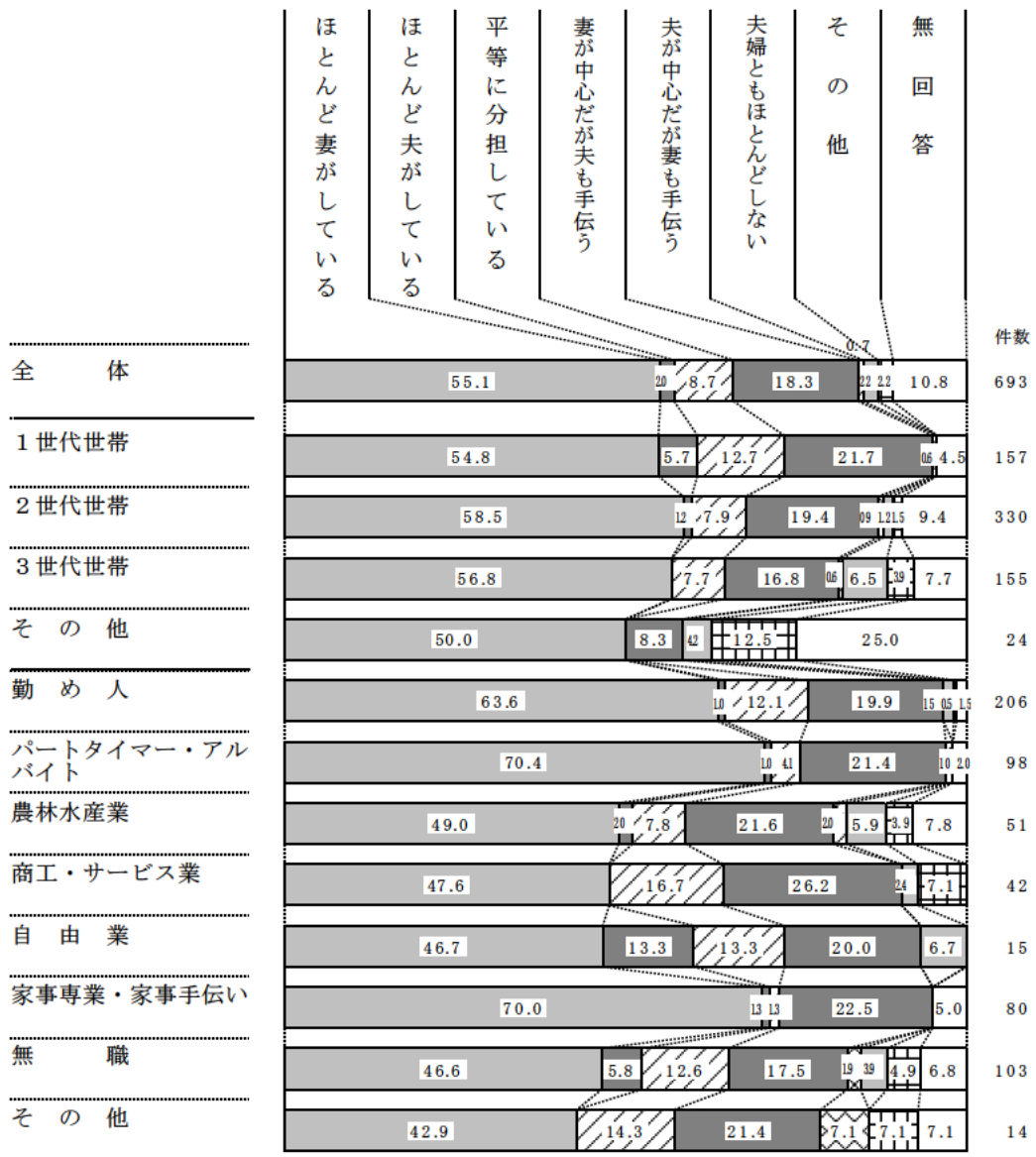
【E 日常の買い物】

- 「ほとんど妻がしている」が55.1%と最も多く、以下「妻が中心だが夫も手伝う」(18.3%)、「平等に分担している」(8.7%)である。
- 年齢別では、60歳代、70歳以上は「ほとんど妻がしている」が46.4%、38.5%と低い。
- 性別・就労別では、男性未就労者は「ほとんど妻がしている」が40.6%と低い。
- 職業別では、「ほとんど妻がしている」がパートタイマー・アルバイトと家事専業・家事手伝いで70.4%、70.0%と高い。

E 日常の買い物[%]



E 日常の買い物[%]

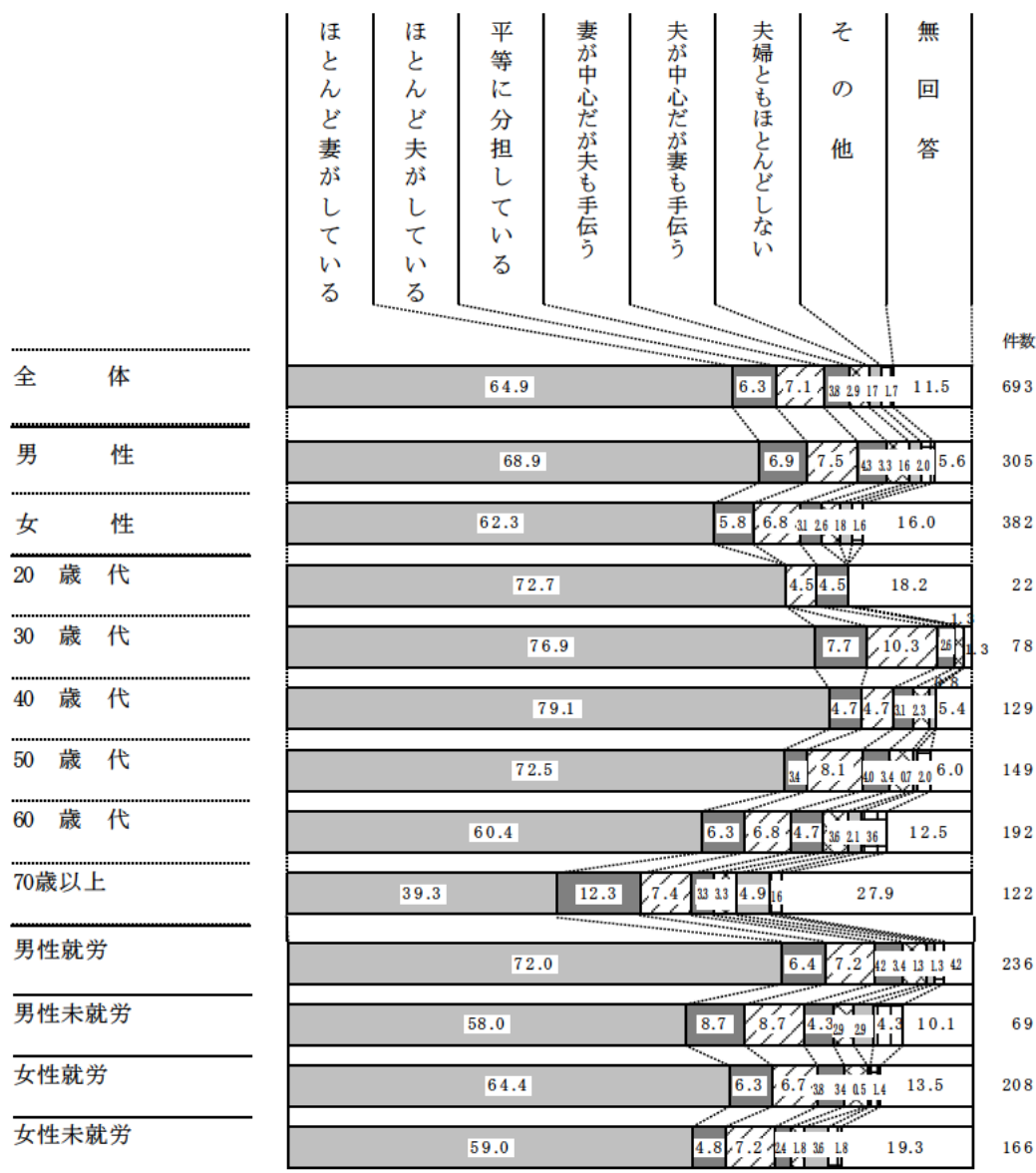


※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

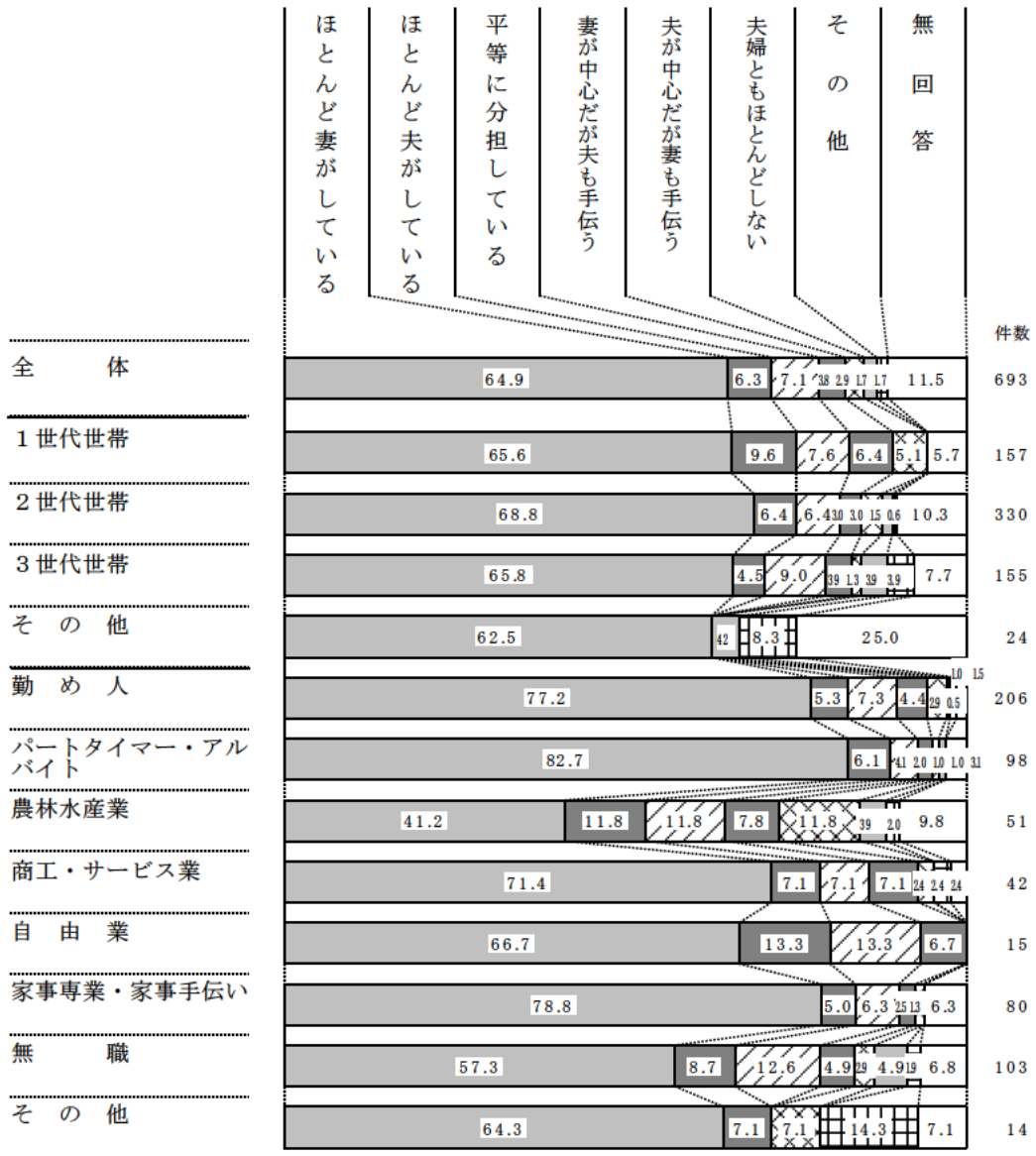
【F 日常の家計管理】

- 「ほとんど妻がしている」が64.9%と最も多く、以下「平等に分担している」(7.1%)、「ほとんど夫がしている」(6.3%)である。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」が39.3%と低い。
- 性別・就労別では、男女ともに未就労者は「ほとんど妻がしている」がやや低く、60%に満たない。
- 職業別では、「ほとんど妻がしている」はパートタイマー・アルバイトで82.7%、勤め人で77.2%と高い。

F 日常の家計管理[%]



F 日常の家計管理[%]

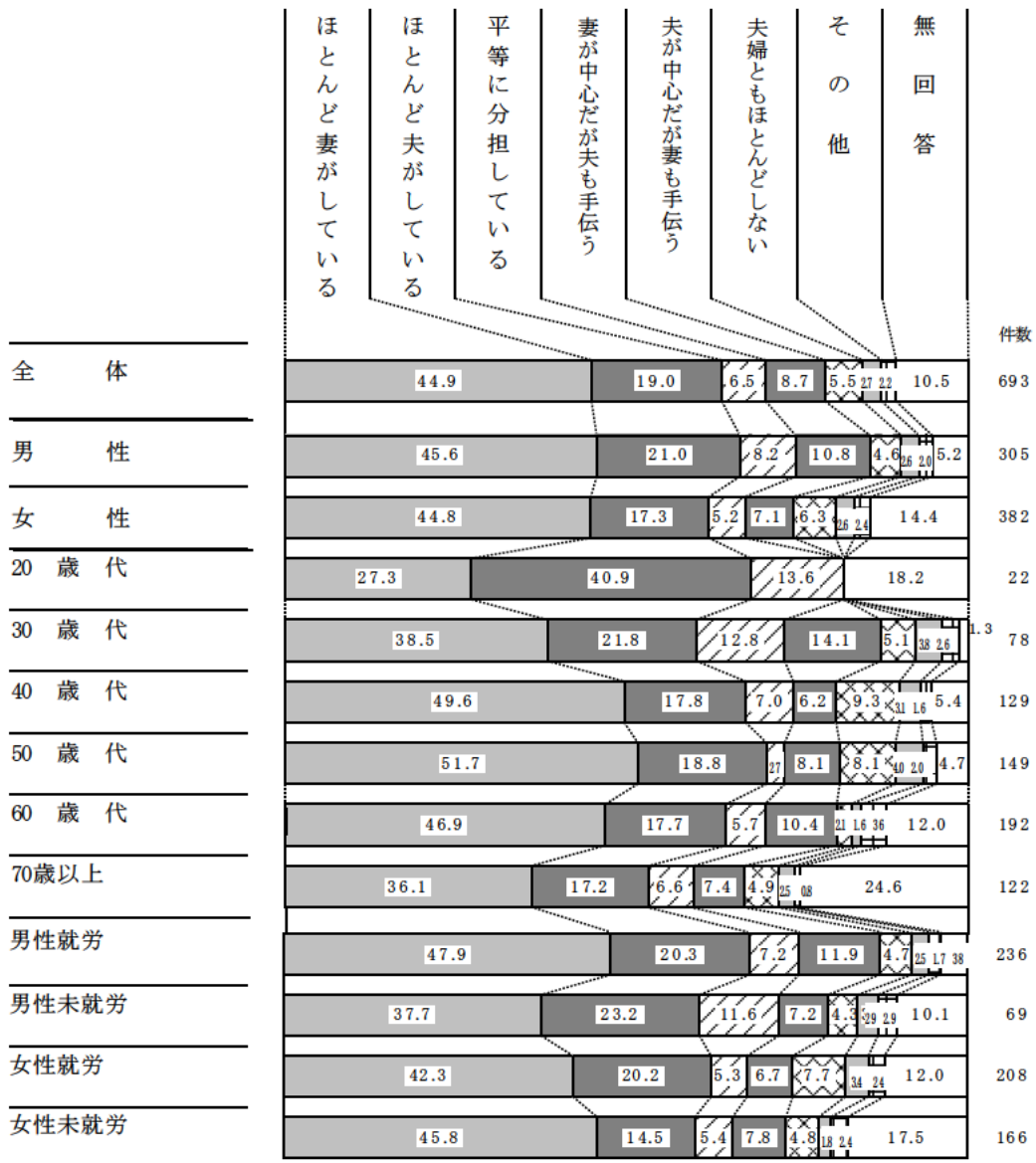


※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

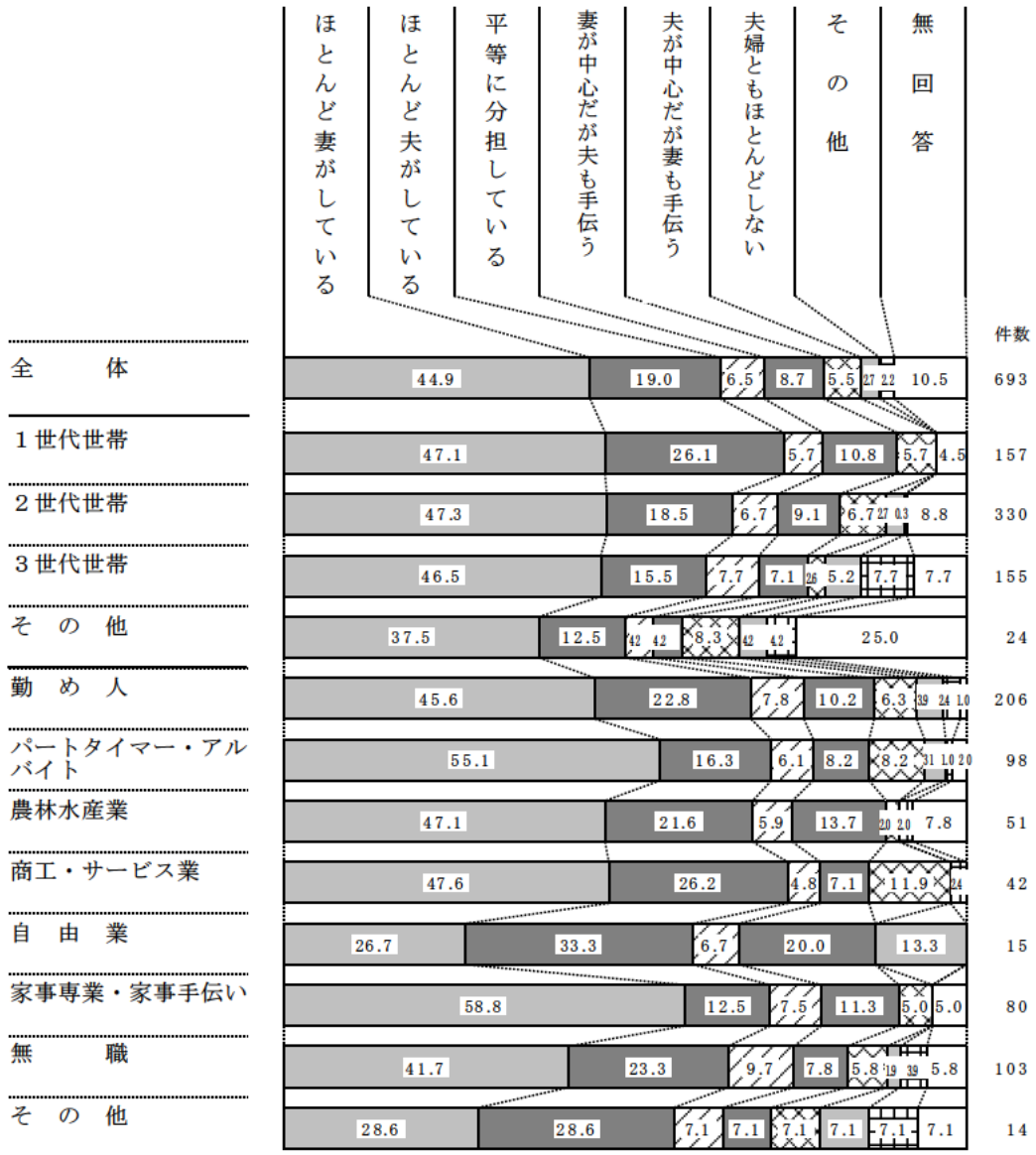
【G 日常のゴミ捨て】

- 「ほとんど妻がしている」が44.9%と最も多く、以下「ほとんど夫がしている」(19.0%)、「妻が中心だが夫も手伝う」(8.7%)、「平等に分担している」(6.5%)である。
- 性別・就労別では、男性未就労者は「ほとんど妻がしている」が37.7%とやや低い。
- 職業別では、「ほとんど妻がしている」は家事専業・家事手伝いが58.8%、パートタイマー・アルバイトは55.1%と高い。

G 日常のゴミ捨て[%]



G 日常のゴミ捨て[%]

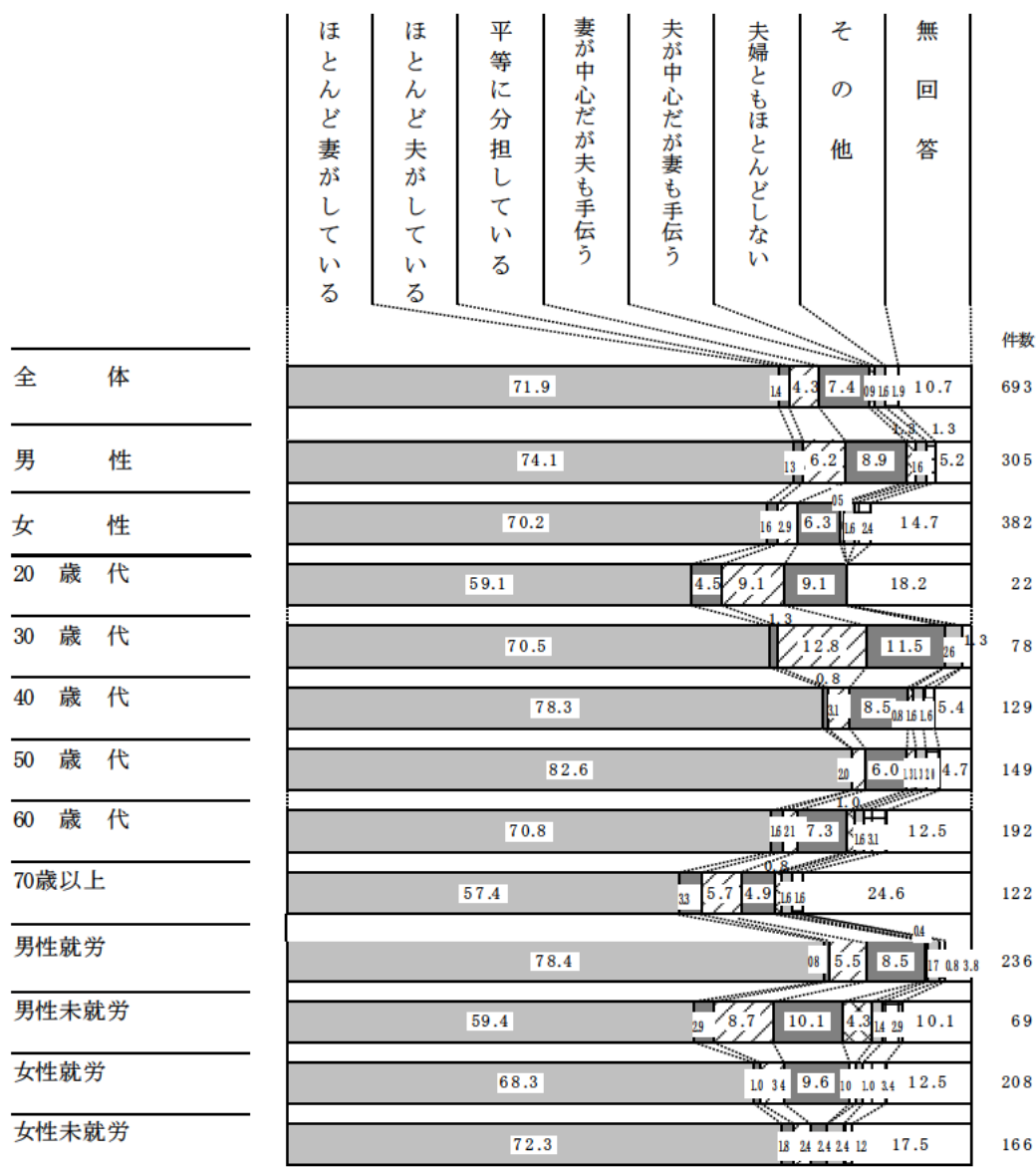


※単身世帯、自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

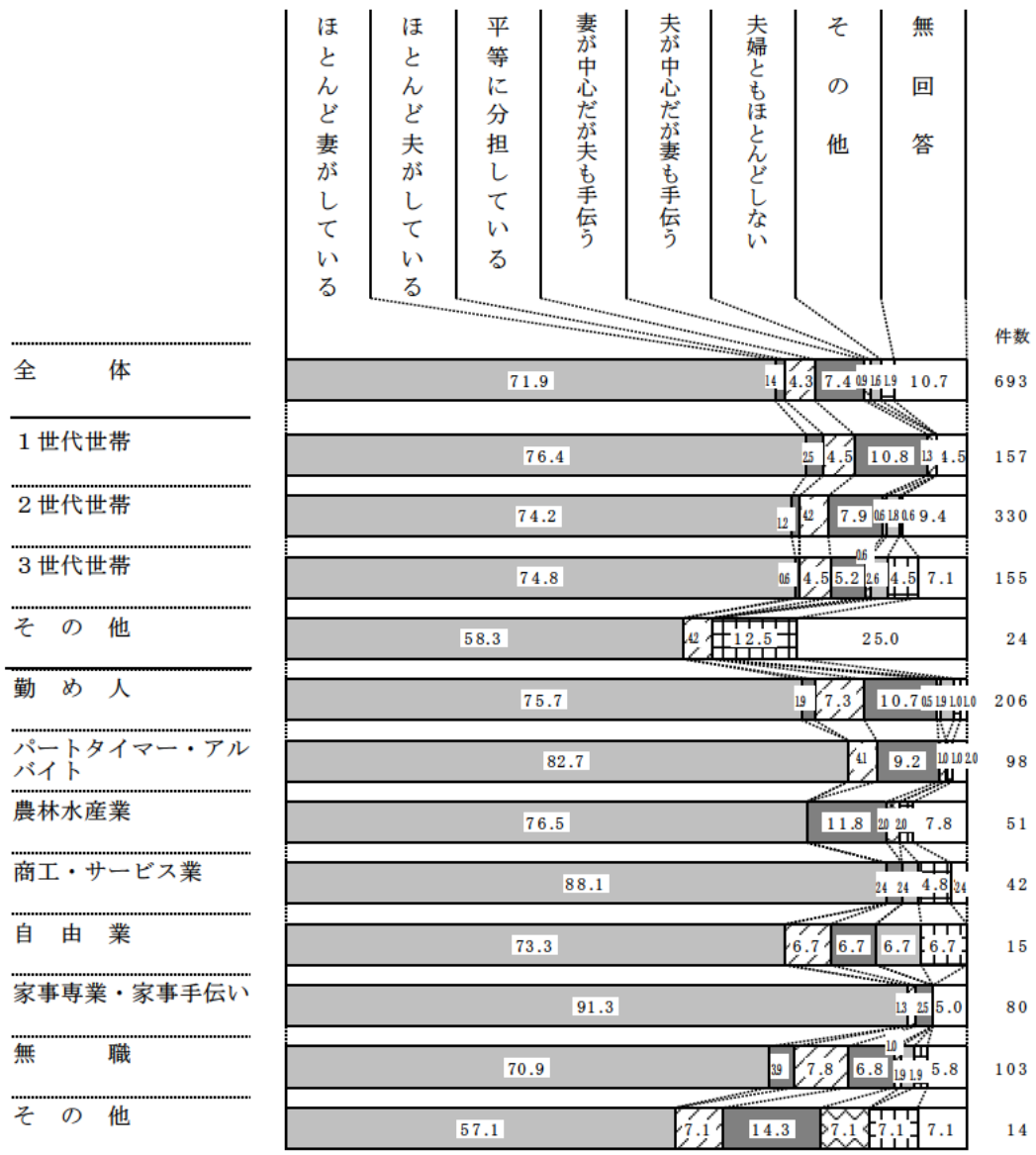
【H 洗濯】

- 「ほとんど妻がしている」が71.9%と最も高い。以下「妻が中心だが夫も手伝う」(7.4%)、「平等に分担している」(4.3%)である。
- 性別で見ると、「ほとんど妻がしている」は男性が74.1%、女性が70.2%である。
- 年齢別では、70歳以上は「ほとんど妻がしている」が57.4%と低い。
- 性別・就労別では、男性未就労者は「ほとんど妻がしている」が59.4%と低い。
- 職業別では、「ほとんど妻がしている」は家事専業・家事手伝いは91.3%、商工・サービス業で88.1%、パートタイマー・アルバイトは82.7%と特に高い。

H 洗濯[%]



H 洗濯[%]

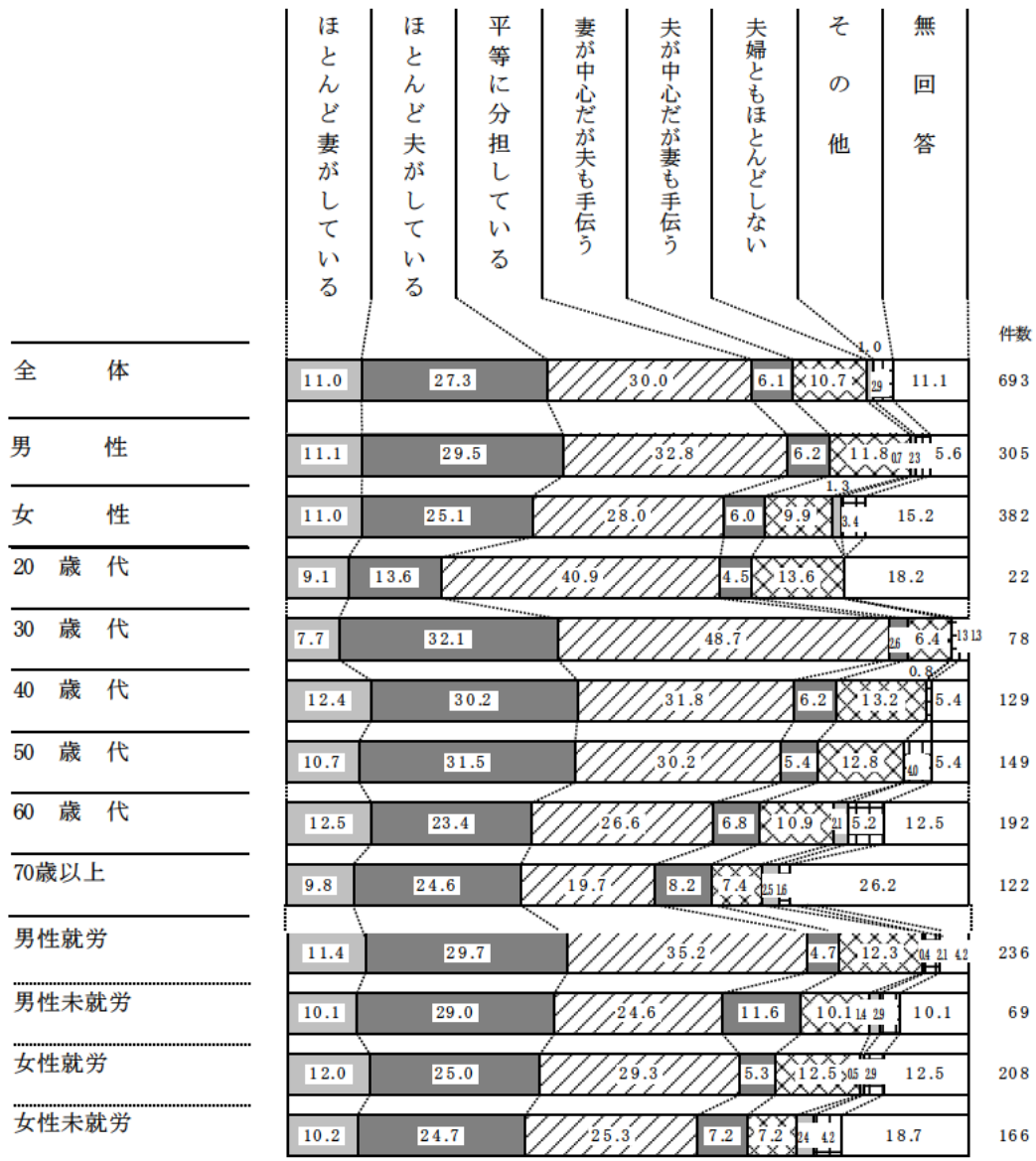


※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

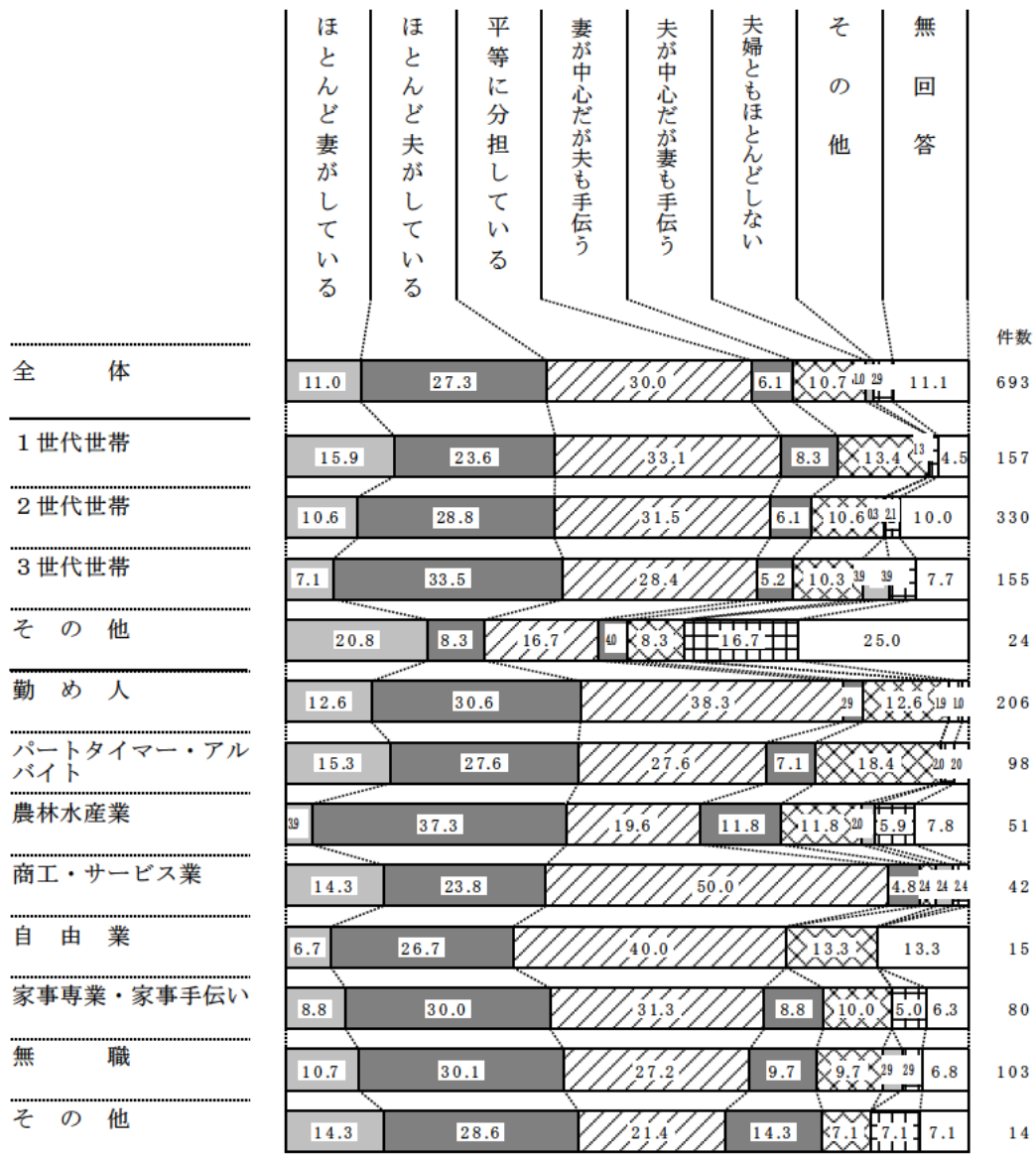
【 I 高額な商品の購入決定】

- 「平等に分担している」(30.0%)と「ほとんど夫がしている」(27.3%)が多く、以下「ほとんど妻がしている」(11.0%)、「夫が中心だが妻も手伝う」(10.7%)である。
- 年齢別では、30歳代は「平等に分担している」が特に多く、48.7%を占める。
- 職業別では、農林水産業は「ほとんど夫がしている」が特に多く、37.3%を占める。

I 高額な商品の購入決定[%]



I 高額な商品の購入決定[%]

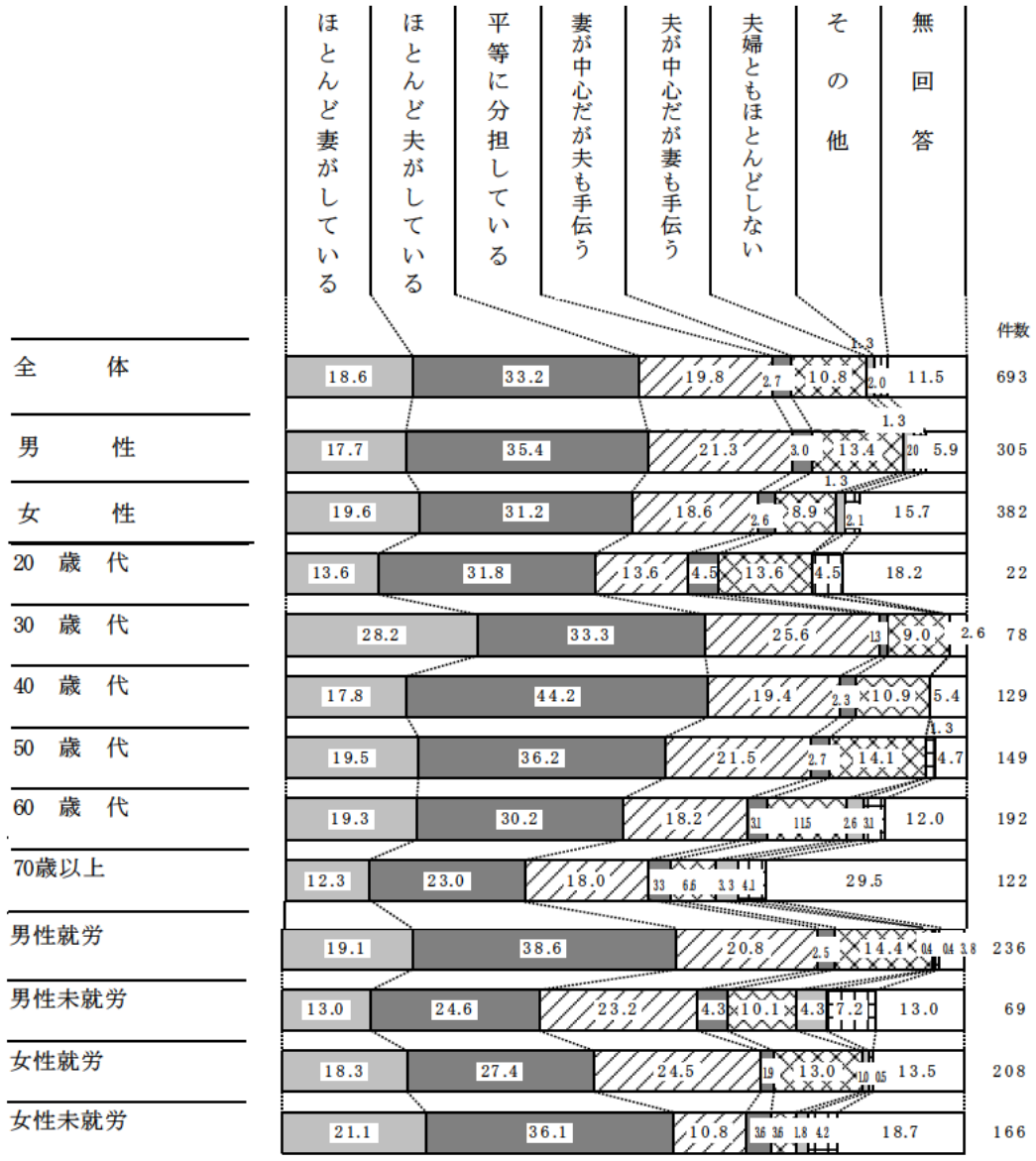


※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

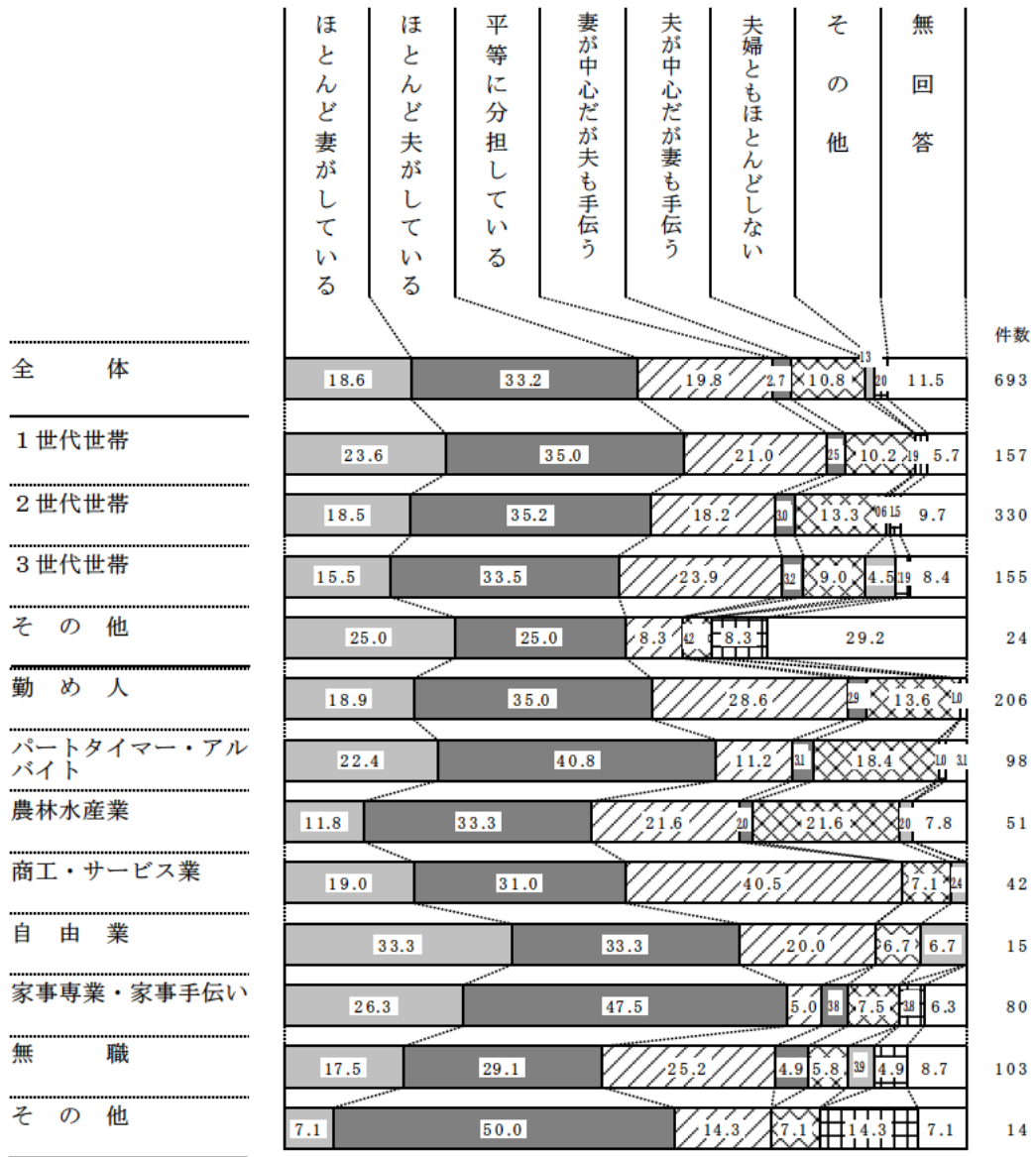
【 J 生活費の確保】

- 「ほとんど夫がしている」が最も多く、33.2%となっている。以下「平等に分担している」(19.8%)、「ほとんど妻がしている」(18.6%)、「夫が中心だが妻も手伝う」(10.8%)である。
- 年齢別では、30歳代は「ほとんど妻がしている」が28.2%、「平等に分担している」も25.6%と他の年代に比べやや高い。
- 職業別では、家事専業・家事手伝いの回答者は「ほとんど夫がしている」が47.5%と高い。

J 生活費の確保[%]



J 生活費の確保[%]

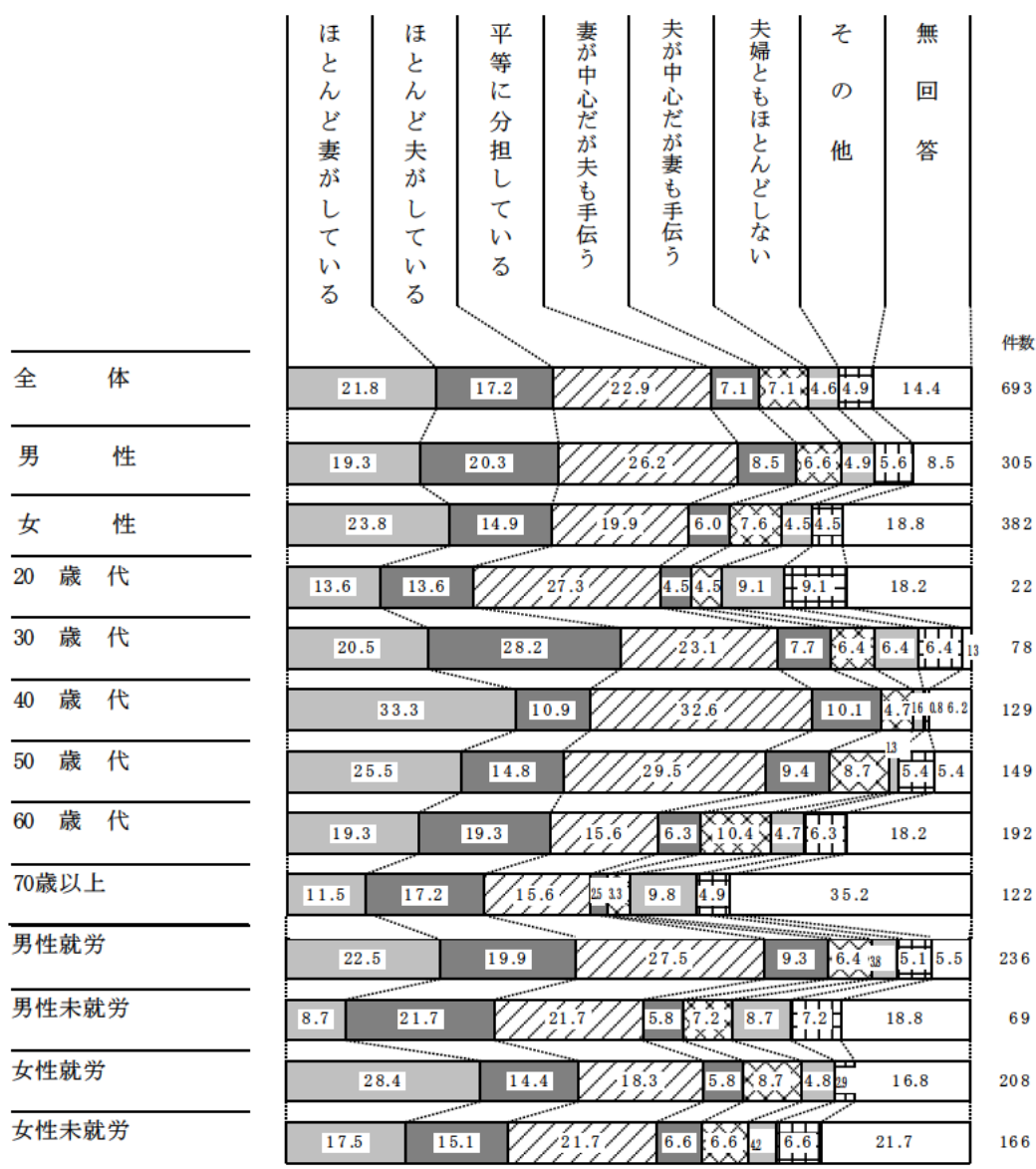


※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

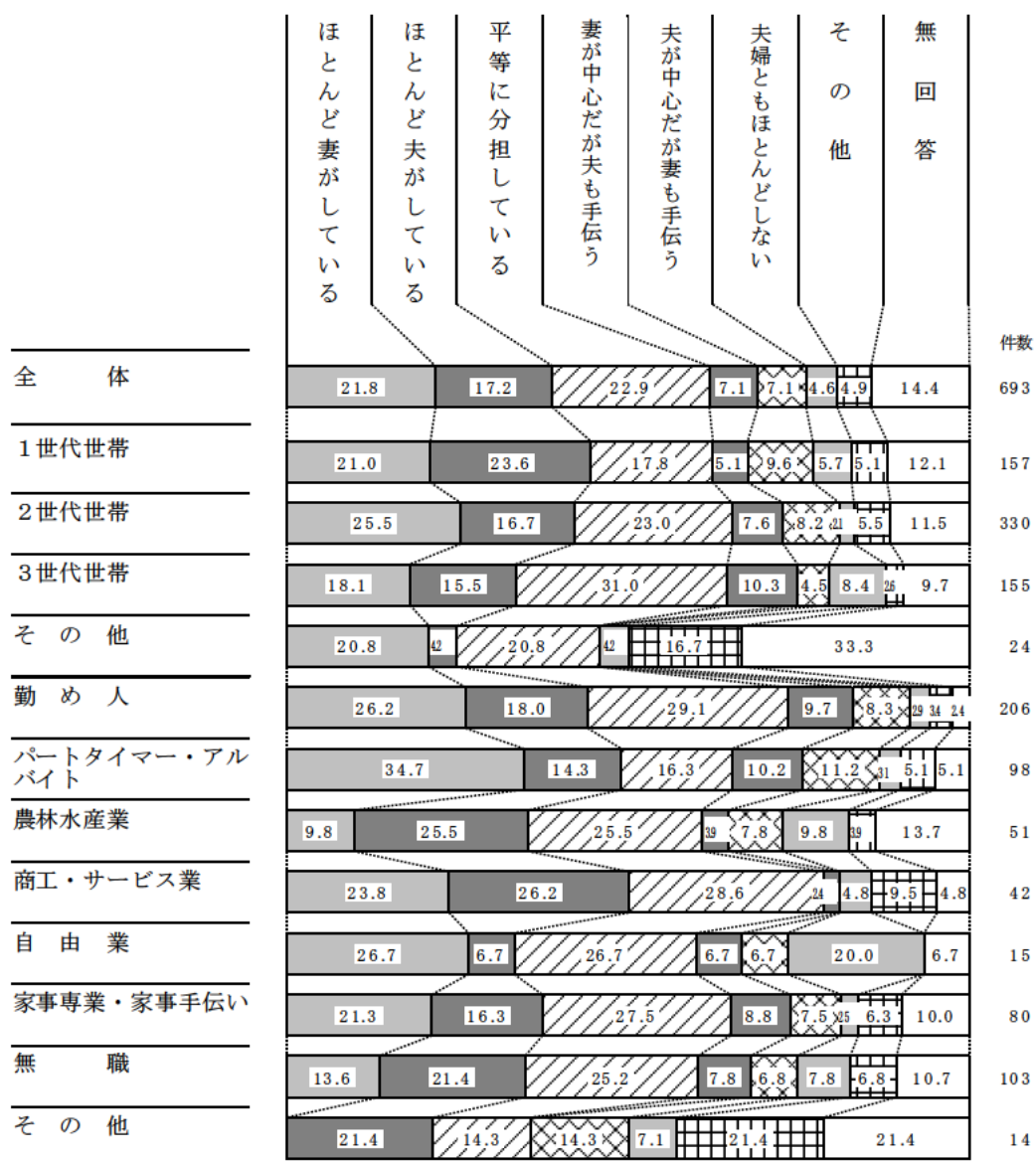
【K PTAや地域の行事参加】

- 「平等に分担している」(22.9%)と「ほとんど妻がしている」(21.8%)が多く、以下「ほとんど夫がしている」(17.2%)、「妻が中心だが夫も手伝う」及び「夫が中心だが妻も手伝う」(同率7.1%)である。
- 年齢別では、40歳代は「平等に分担している」が32.6%と最も多いが、「ほとんど妻がしている」も33.3%と高い。
- 性別・就労別では、女性就労者は「ほとんど妻がしている」が28.4%と高い。
- 職業別では、パートタイマー・アルバイトは「ほとんど妻がしている」が34.7%と高い。

K PTAや地域の行事参加[%]



K PTAや地域の行事参加[%]

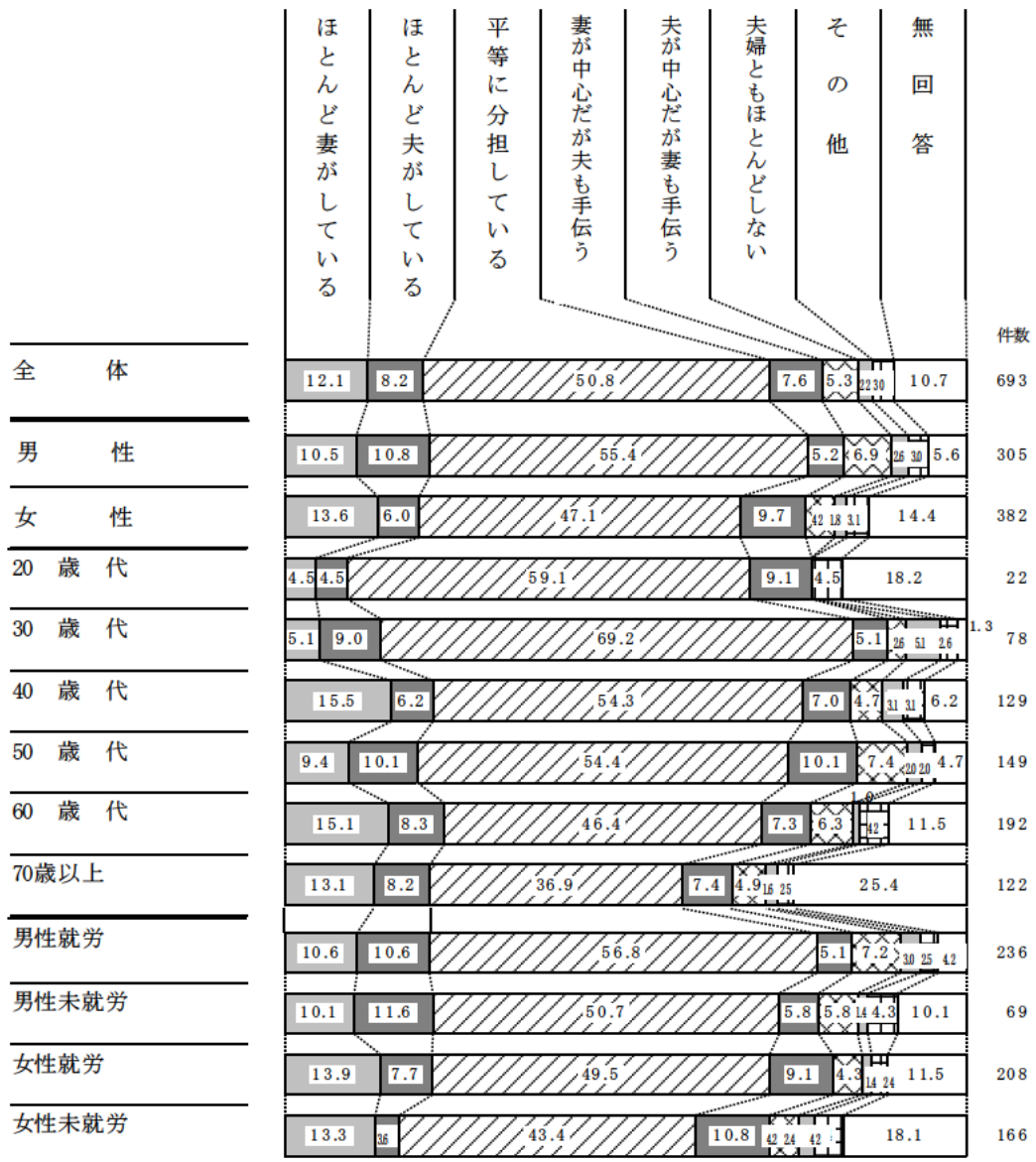


※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

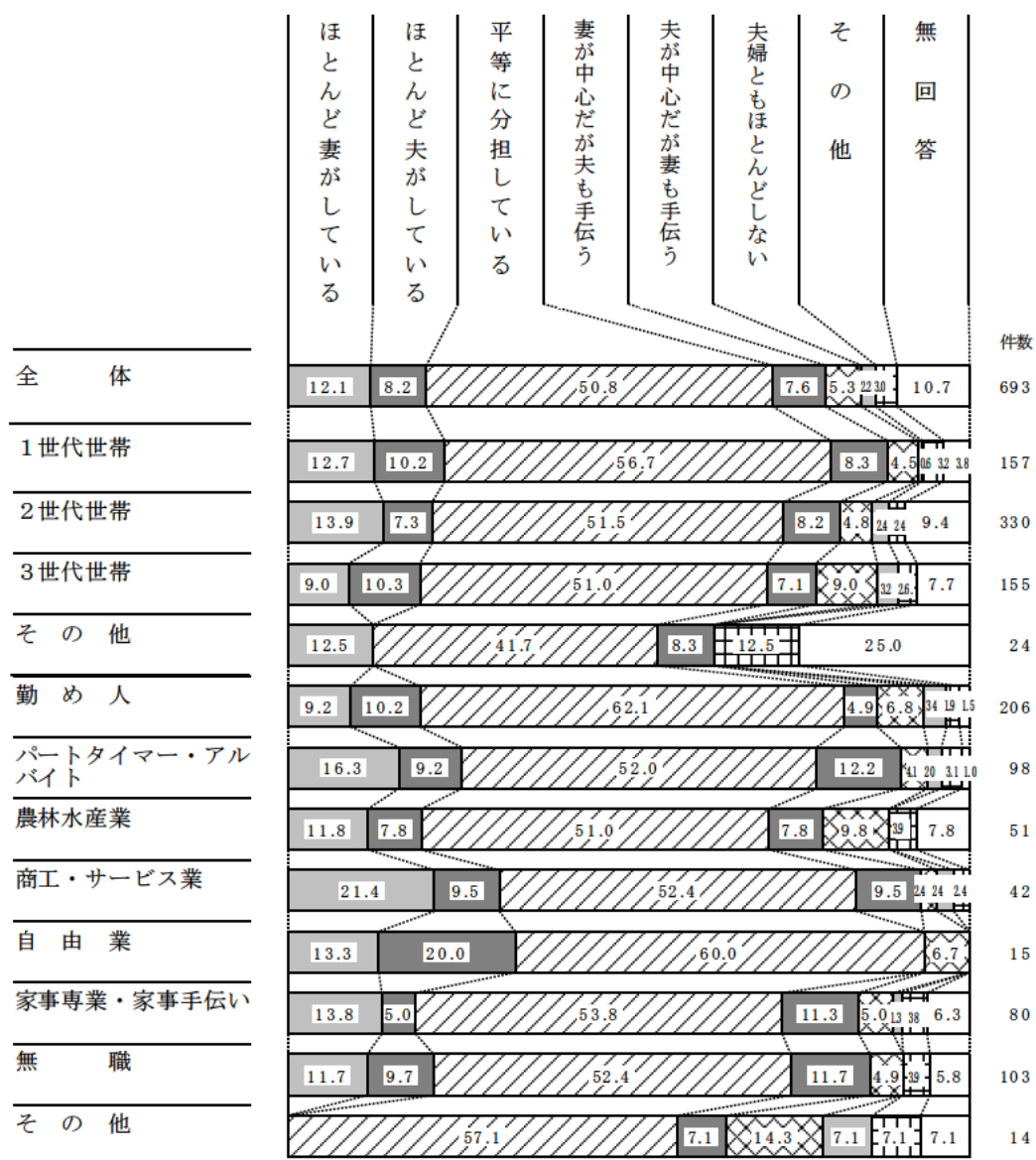
【L 親戚とのつきあい】

- 「平等に分担している」が50.8%と最も多い。以下「ほとんど妻がしている」(12.1%)、「ほとんど夫がしている」(8.2%)、「妻が中心だが夫も手伝う」(7.6%)である。
- 年齢別では、30歳代が「平等に分担している」が69.2%と最も高く、20歳代が59.1%で続いている。
- 職業別では、勤め人は「平等に分担している」が62.1%と高い。

L 親せきとのつきあい[%]



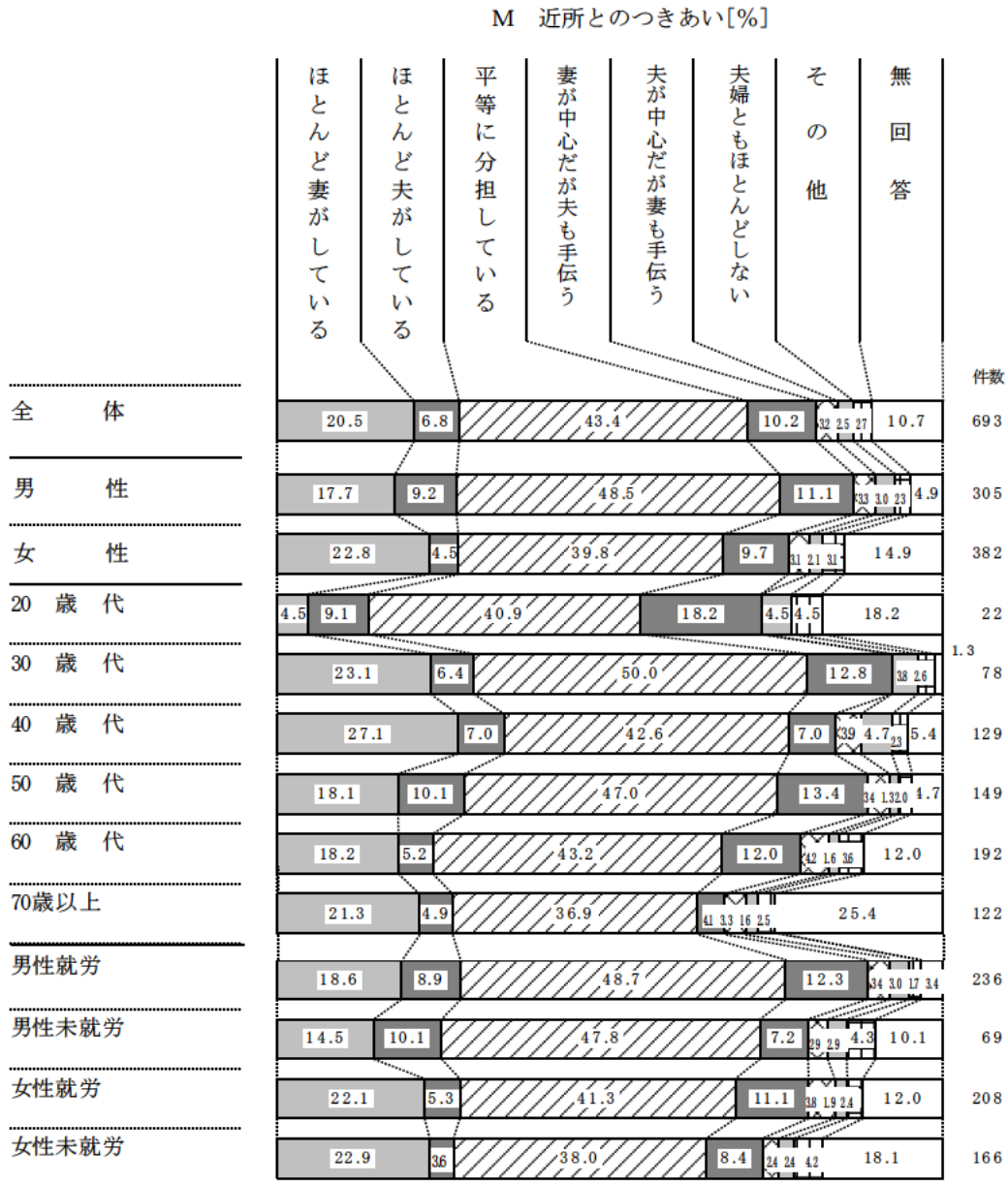
L 親せきとのつきあい[%]



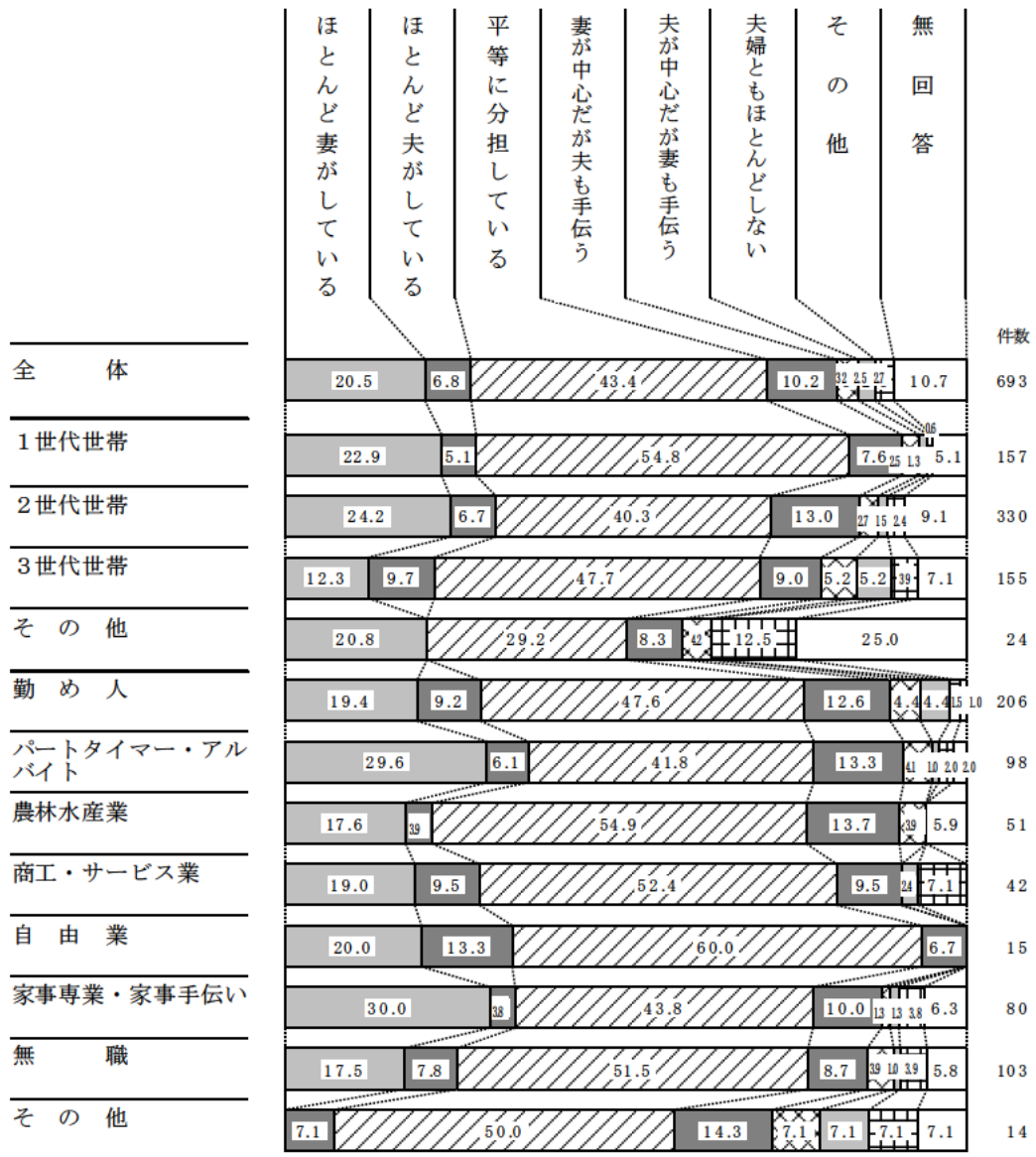
※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

【M 近所とのつきあい】

- 「平等に分担している」が43.4%と最も多く、以下「ほとんど妻がしている」(20.5%)、「妻が中心だが夫も手伝う」(10.2%)、「ほとんど夫がしている」(6.8%)である。
- 性別では、男性は「平等に分担している」が48.5%と女性(39.8%)よりも8.7ポイント上回る。
- 世帯別では、1世代世帯は「平等に分担している」が54.8%と高い。
- 職業別では、農林水産業と商工・サービス業、無職は「平等に分担している」が50%を超えている。



M 近所とのつきあい[%]



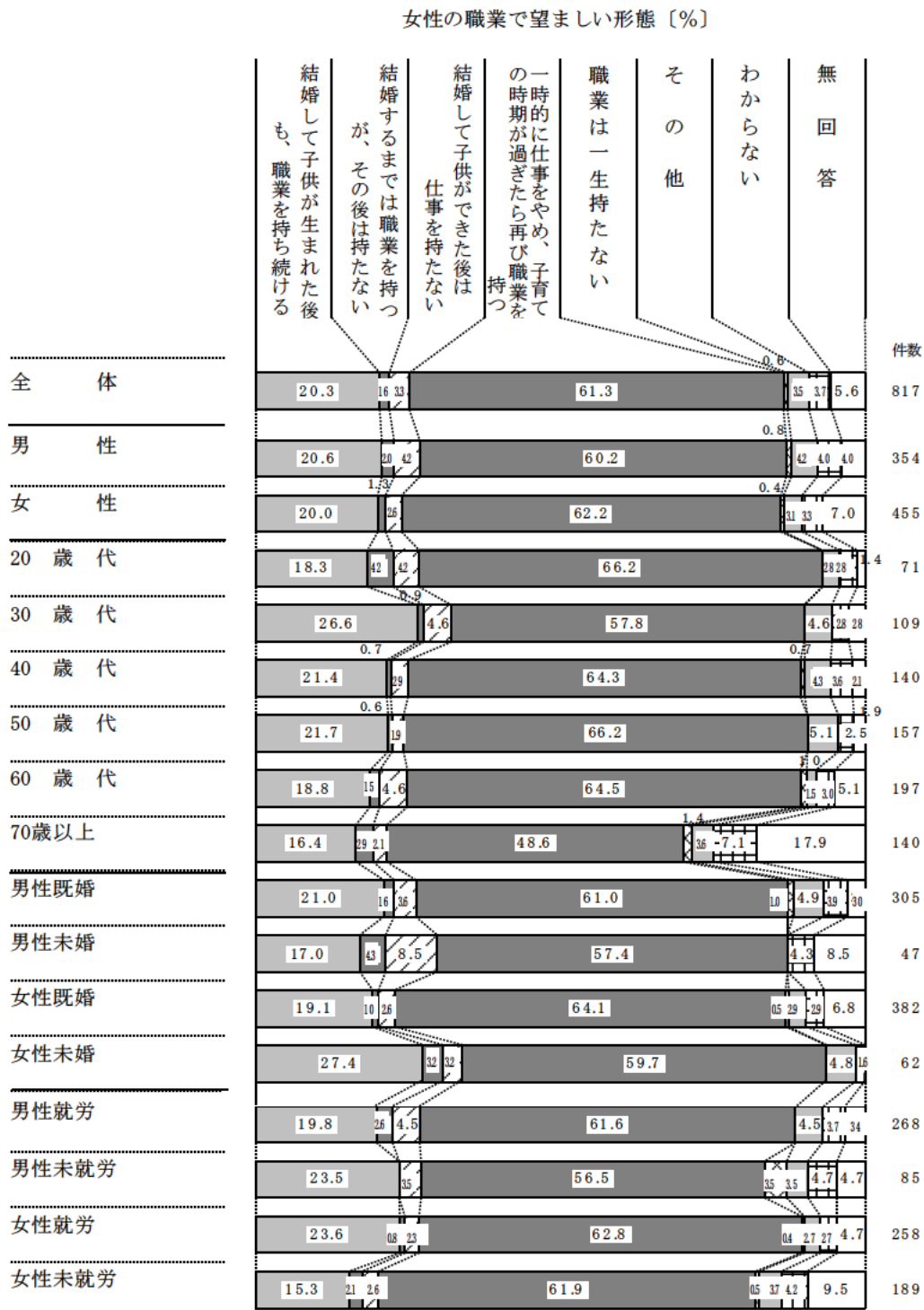
※自由業、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。また、学生は件数が0のため表記していない。

3 職業生活について

(1) 女性の職業で望ましい形態

問 10. 女性の職業へのかかわり方について、あなたはどのような形が最も望ましいと思いますか。

- 「一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が 61.3%と過半数を占め、次いで「結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける」(20.3%)となっている。
- 年齢別では、30 歳代は「結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける」が 26.6%とやや高い。「一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」は 70 歳以上が 48.6%と最も低い。
- 婚姻状況別では、女性未婚者は「結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける」が 27.4%と比較的高い。

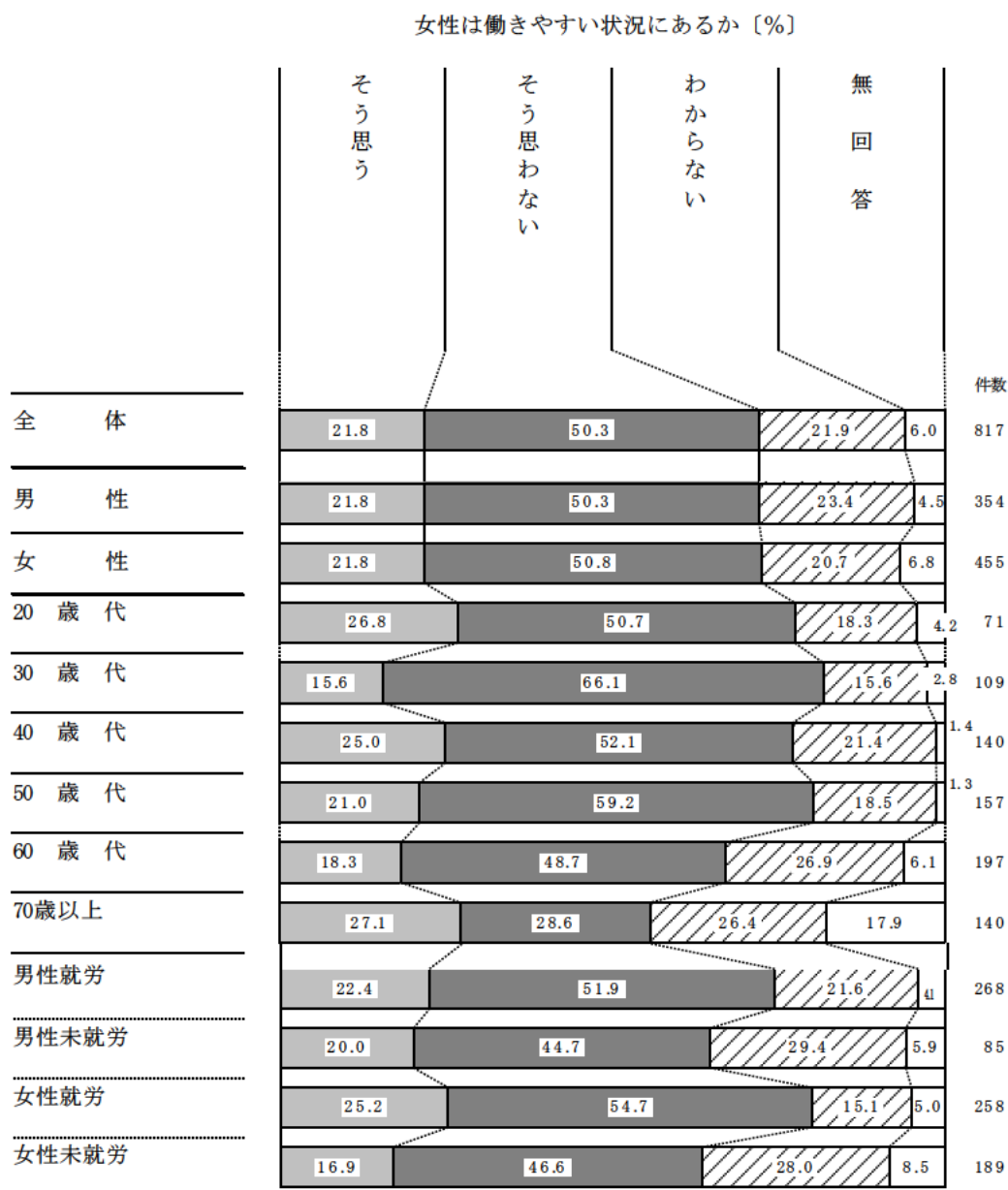


		女性の職業で望ましい形態〔%〕								
		全 体	結婚して子どもが生まれた後も、職業を持ち続ける	結婚するまでは職業を持つが、その後は持たない	結婚して子どもができた後は仕事を持たない	一時的に仕事をやめ、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ	職業は一生持たない	その他	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	166 20.3	13 1.6	27 3.3	501 61.3	5 0.6	29 3.5	30 3.7	46 5.6
	男性計	354 100.0	73 20.6	7 2.0	15 4.2	213 60.2	3 0.8	15 4.2	14 4.0	14 4.0
	20歳代	26 100.0	3 11.5	2 7.7	2 7.7	16 61.5	-	1 3.8	1 3.8	1 3.8
	30歳代	48 100.0	15 31.3	1 2.1	3 6.3	23 47.9	-	2 4.2	1 2.1	3 6.3
	40歳代	60 100.0	6 10.0	1 1.7	3 5.0	44 73.3	-	2 3.3	4 6.7	-
	50歳代	79 100.0	23 29.1	1 1.3	2 2.5	46 58.2	-	5 6.3	1 1.3	1 1.3
	60歳代	85 100.0	17 20.0	1 1.2	5 5.9	53 62.4	1 1.2	3 3.5	4 4.7	1 1.2
	70歳以上	56 100.0	9 16.1	1 1.8	-	31 55.4	2 3.6	2 3.6	3 5.4	8 14.3
	女性計	453 100.0	91 20.1	6 1.3	12 2.6	282 62.3	2 0.4	14 3.1	15 3.3	31 6.8
	20歳代	44 100.0	10 22.7	1 2.3	1 2.3	31 70.5	-	1 2.3	-	-
	30歳代	61 100.0	14 23.0	-	2 3.3	40 65.6	-	3 4.9	2 3.3	-
	40歳代	80 100.0	24 30.0	-	1 1.3	46 57.5	1 1.3	4 5.0	1 1.3	3 3.8
	50歳代	75 100.0	10 13.3	-	1 1.3	56 74.7	-	3 4.0	3 4.0	2 2.7
	60歳代	111 100.0	20 18.0	2 1.8	4 3.6	73 65.8	1 0.9	-	2 1.8	9 8.1
	70歳以上	82 100.0	13 15.9	3 3.7	3 3.7	36 43.9	-	3 3.7	7 8.5	17 20.7

(2) 女性は働きやすい状況にあるか

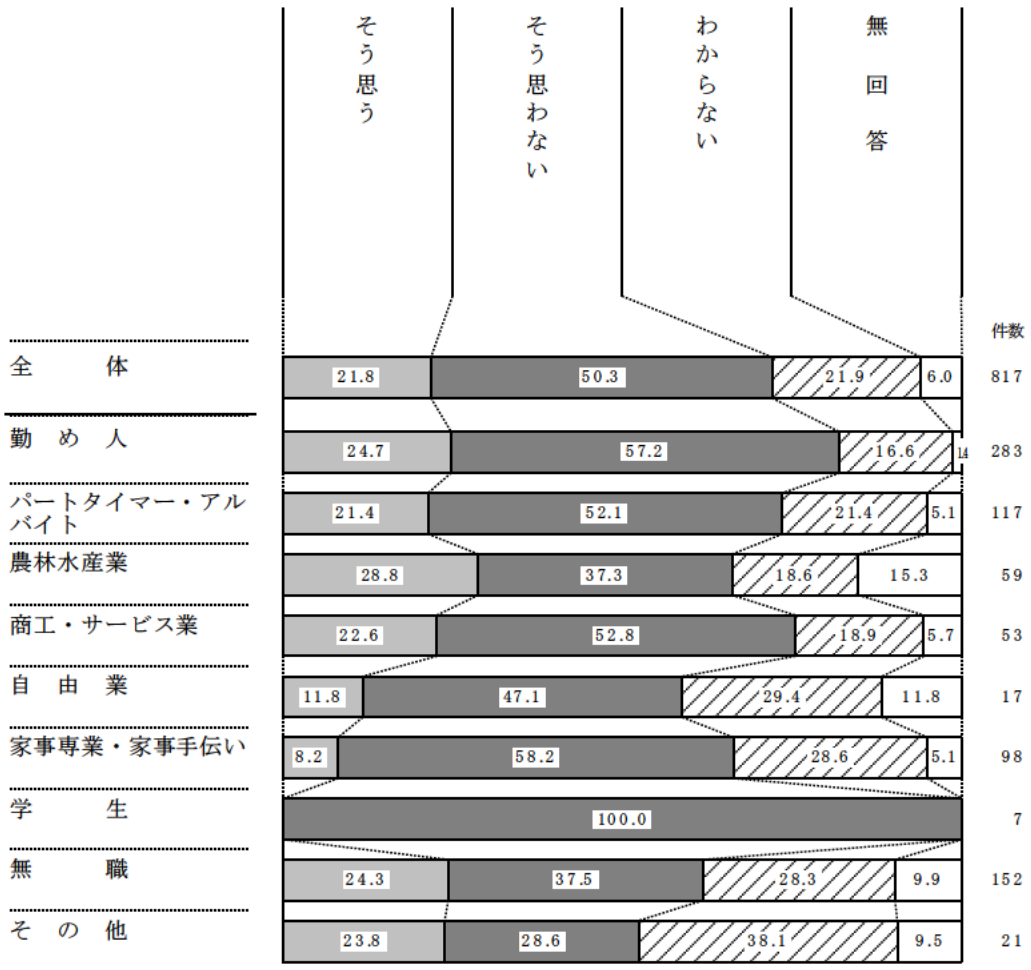
問 11. あなたは、現在の女性は働きやすい状況にあると思いますか。

- 「そう思う」が21.8%にとどまり、「そう思わない」が50.3%と半数を占める。
- 年齢別では、30歳代は「そう思わない」が66.1%と高い。
- 職業別では、農林水産業は「そう思う」が28.8%とやや高く、「そう思わない」が37.3%と比較的低い。



		女性は働きやすい状況にあるか(%)				
		全 体	そう思う	そう思わ ない	わからない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	178 21.8	411 50.3	179 21.9	49 6.0
	男性計	354 100.0	77 21.8	178 50.3	83 23.4	16 4.5
	20歳代	26 100.0	5 19.2	14 53.8	5 19.2	2 7.7
	30歳代	48 100.0	8 16.7	27 56.3	10 20.8	3 6.3
	40歳代	60 100.0	13 21.7	29 48.3	18 30.0	-
	50歳代	79 100.0	23 29.1	43 54.4	13 16.5	-
	60歳代	85 100.0	15 17.6	43 50.6	23 27.1	4 4.7
	70歳以上	56 100.0	13 23.2	22 39.3	14 25.0	7 12.5
	女性計	453 100.0	99 21.9	230 50.8	94 20.8	30 6.6
	20歳代	44 100.0	14 31.8	22 50.0	8 18.2	-
	30歳代	61 100.0	9 14.8	45 73.8	7 11.5	-
	40歳代	80 100.0	22 27.5	44 55.0	12 15.0	2 2.5
	50歳代	75 100.0	9 12.0	49 65.3	15 20.0	2 2.7
	60歳代	111 100.0	21 18.9	52 46.8	30 27.0	8 7.2
	70歳以上	82 100.0	24 29.3	18 22.0	22 26.8	18 22.0

女性は働きやすい状況にあるか [%]



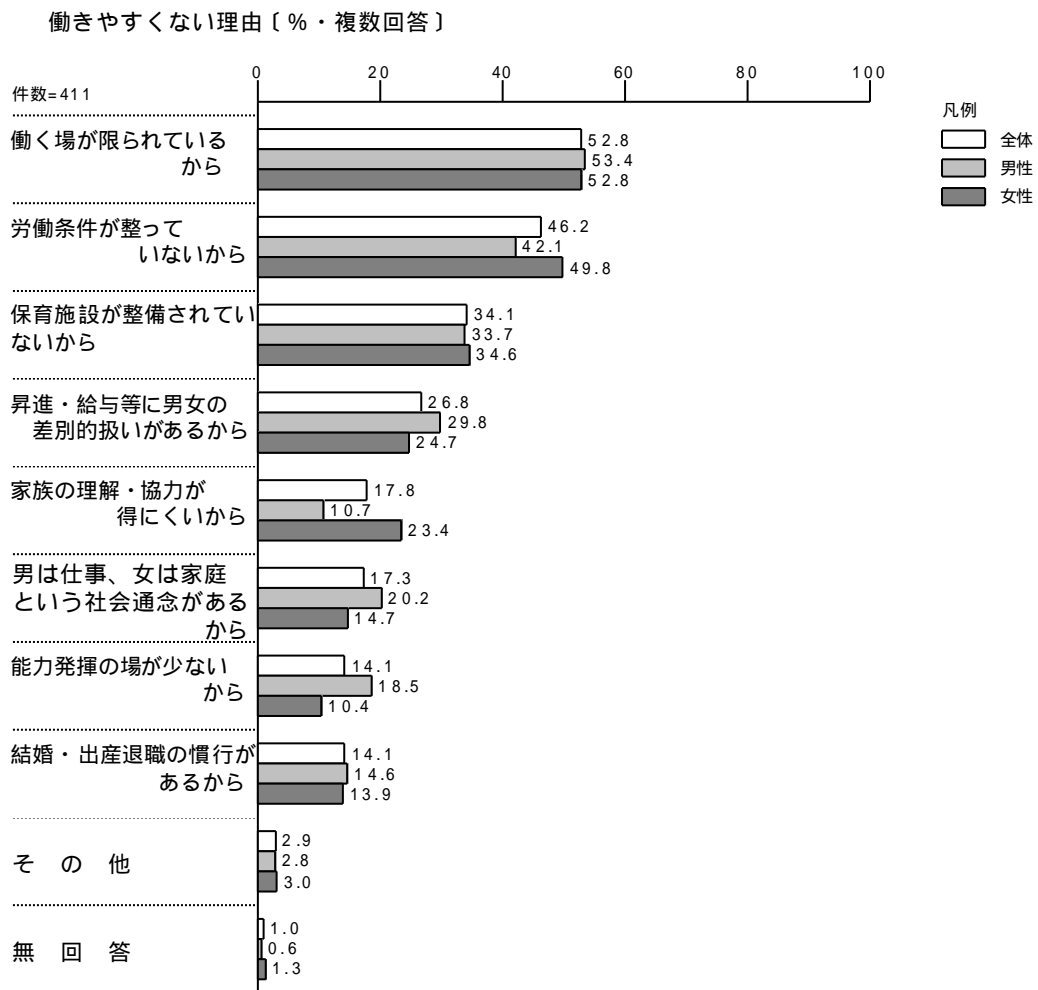
※自由業、学生、その他の回答者は少数のため、分析から除いている。

(3) 働きやすい理由

前問で「そう思わない」と回答した方を対象

問 11 - 1 . そう思わない理由は何ですか。

- 「働く場が限られているから」が 52.8%と最も高く、以下「労働条件が整っていないから」(46.2%)、「保育施設が整備されていないから」(34.1%)、「昇進・給与等に男女の差別的扱いがあるから」(26.8%)である。
- 性別でみると、「家族の理解、協力が得にくいから」は女性が 23.4%と男性(10.7%)よりも 12.7 ポイント上回る。

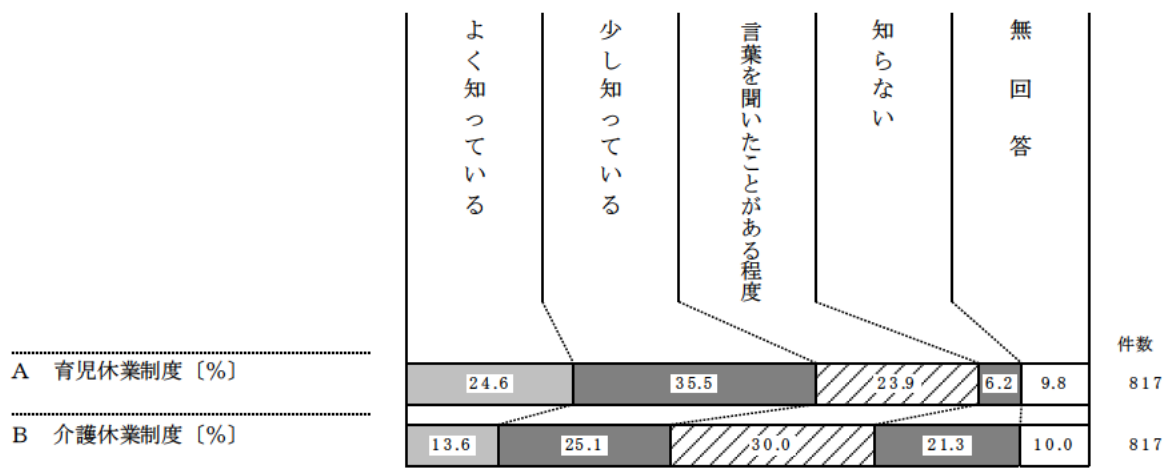


(4) 制度の認知状況及び取得状況

問 12. あなたは、次の制度の内容についてご存知ですか。

【全体】（A・B 『認知度』）

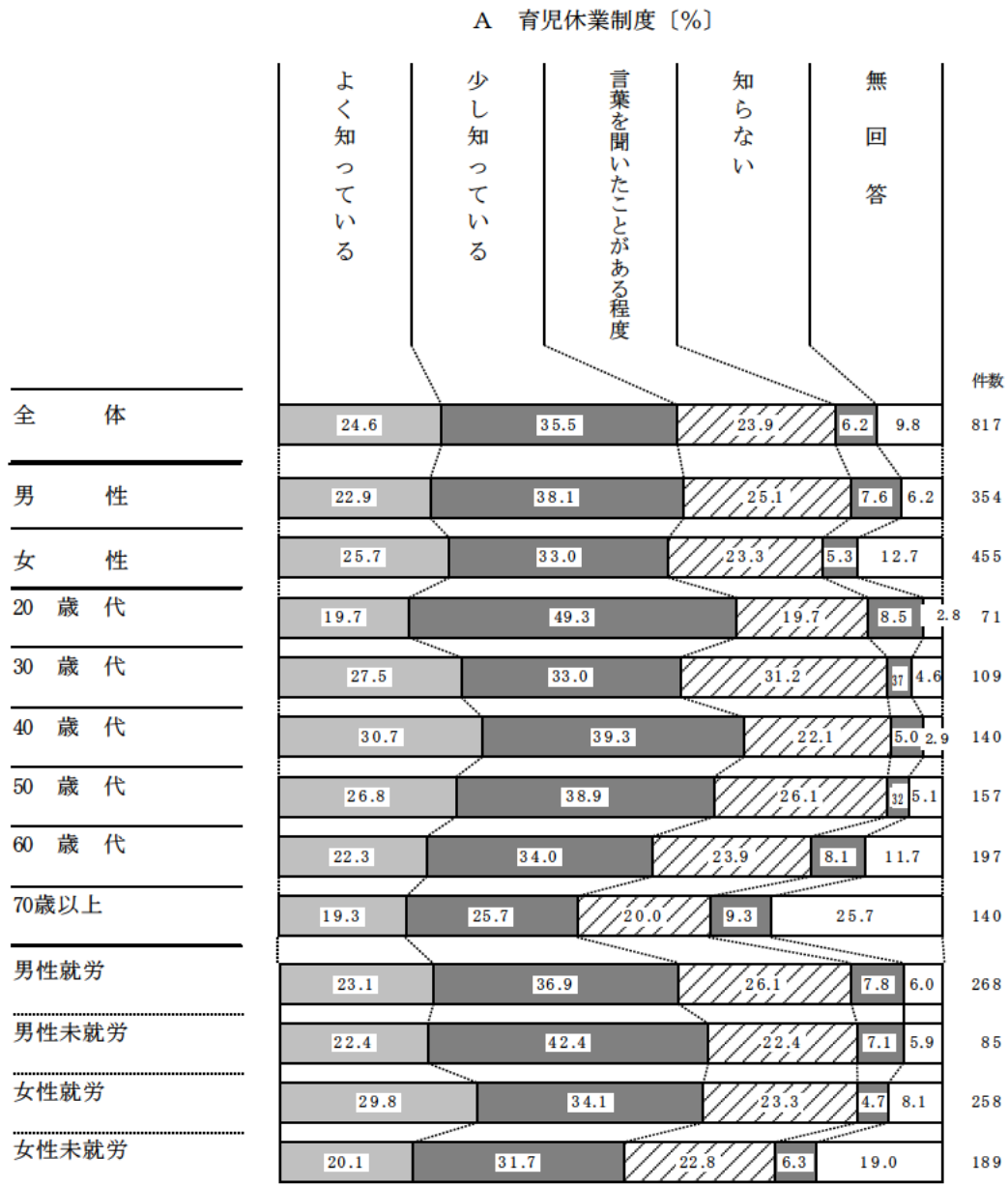
- 『知っている』は、「A 育児休業制度」が 60.1%、「B 介護休業制度」が 38.7%である。



※『知っている』は、本来の選択肢の「よく知っている」と「少し知っている」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

【A 育児休業制度 認知度】

- 「少し知っている」が35.5%と最も多く、次いで多い「よく知っている」(24.6%)と合わせると『知っている』は60.1%を占める。なお、「言葉を聞いたことがある程度」は23.9%、「知らない」は6.2%となっている。
- 年齢別では、40歳代が最も『知っている』が高く、50歳代以上は年齢が上ると『知っている』が低下している。
- 性別・就労別では、女性未就労者は『知っている』が51.8%と低い。

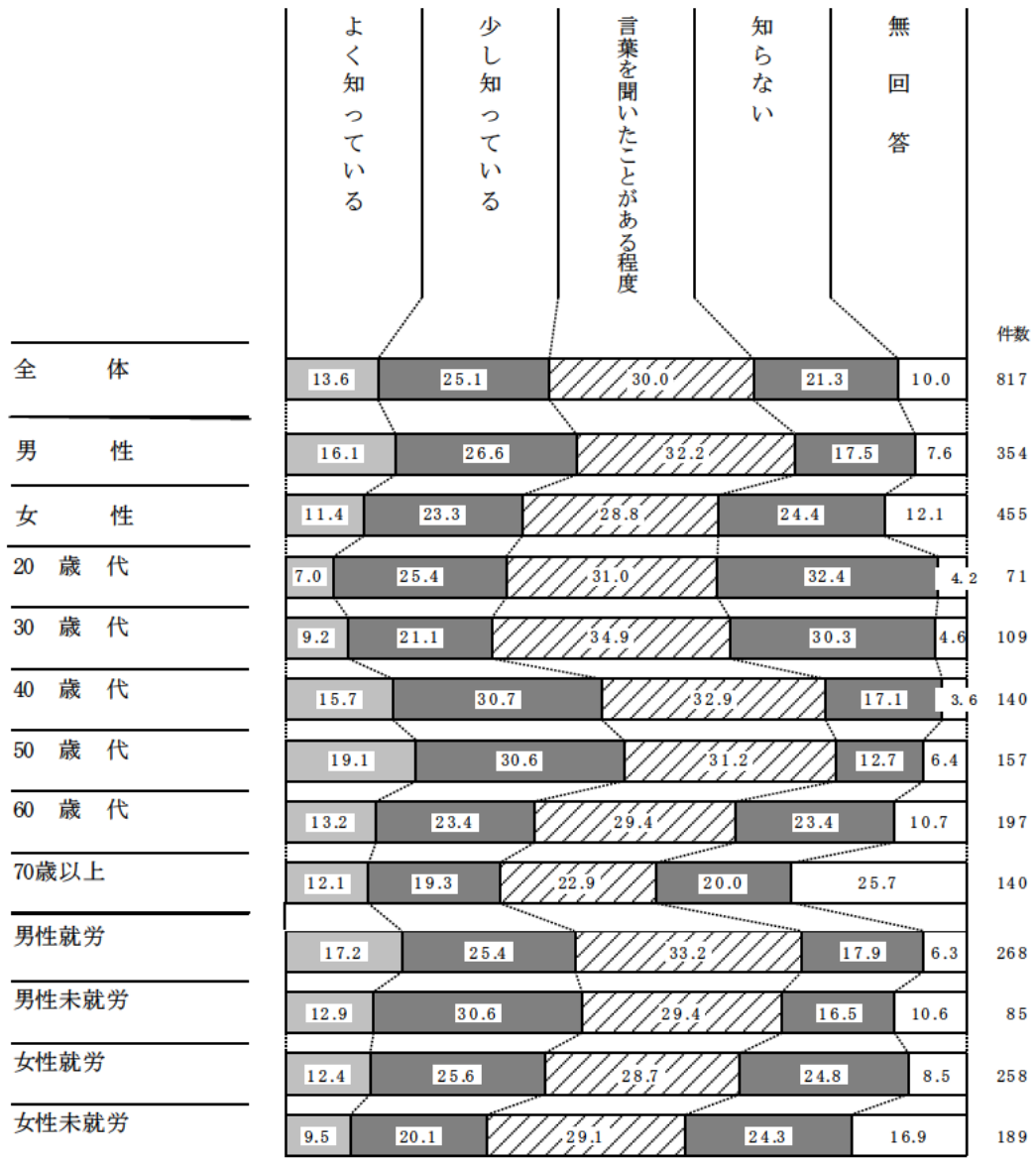


		A 育児休業制度〔%〕					
		全 体	よく知っている	少し知っている	言葉を聞いたことがある程度	知らない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	201 24.6	290 35.5	195 23.9	51 6.2	80 9.8
	男性計	354 100.0	81 22.9	135 38.1	89 25.1	27 7.6	22 6.2
	20歳代	26 100.0	2 7.7	15 57.7	4 15.4	3 11.5	2 7.7
	30歳代	48 100.0	10 20.8	17 35.4	17 35.4	3 6.3	1 2.1
	40歳代	60 100.0	13 21.7	26 43.3	15 25.0	5 8.3	1 1.7
	50歳代	79 100.0	23 29.1	33 41.8	17 21.5	3 3.8	3 3.8
	60歳代	85 100.0	19 22.4	29 34.1	24 28.2	10 11.8	3 3.5
	70歳以上	56 100.0	14 25.0	15 26.8	12 21.4	3 5.4	12 21.4
	女性計	453 100.0	117 25.8	150 33.1	106 23.4	24 5.3	56 12.4
	20歳代	44 100.0	12 27.3	19 43.2	10 22.7	3 6.8	- -
	30歳代	61 100.0	20 32.8	19 31.1	17 27.9	1 1.6	4 6.6
	40歳代	80 100.0	30 37.5	29 36.3	16 20.0	2 2.5	3 3.8
	50歳代	75 100.0	18 24.0	26 34.7	24 32.0	2 2.7	5 6.7
	60歳代	111 100.0	24 21.6	38 34.2	23 20.7	6 5.4	20 18.0
	70歳以上	82 100.0	13 15.9	19 23.2	16 19.5	10 12.2	24 29.3

【B 介護休業制度 認知度】

- 「よく知っている」(13.6%)と「少し知っている」(25.1%)を合わせた『知っている』は、38.7%となっている。なお、「言葉を聞いたことがある程度」は30.0%、「知らない」は21.3%となり、前述の育児休業制度よりも『知っている』が低い。
- 年齢別では、40歳代及び50歳代の『知っている』が高い。
- 性別・就労別では、女性未就労者は『知っている』が29.6%と低い。

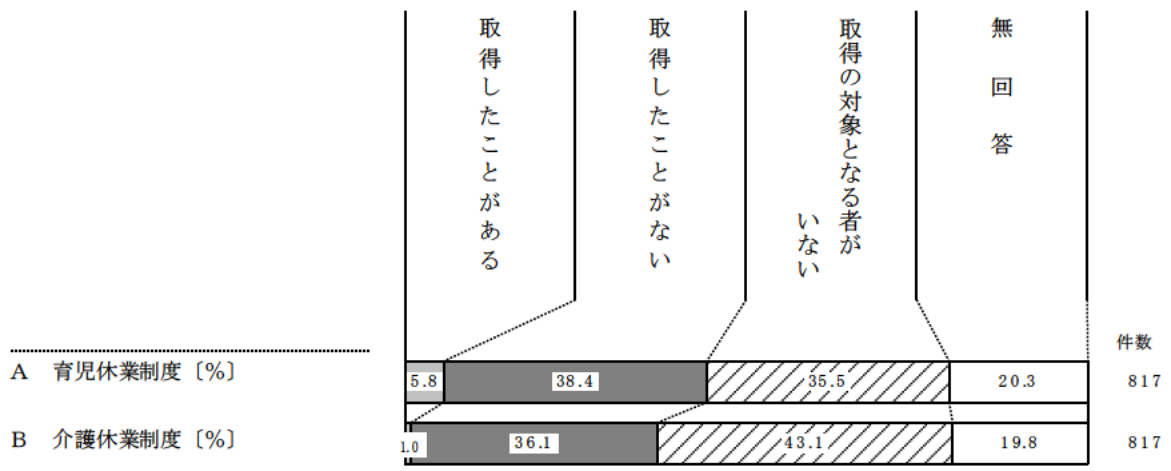
B 介護休業制度 [%]



		B 介護休業制度〔%〕					
		全 体	よく知っている	少し知っている	言葉を聞いたことがある程度	知らない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	111 13.6	205 25.1	245 30.0	174 21.3	82 10.0
	男性計	354 100.0	57 16.1	94 26.6	114 32.2	62 17.5	27 7.6
	20歳代	26 100.0	1 3.8	9 34.6	7 26.9	6 23.1	3 11.5
	30歳代	48 100.0	6 12.5	7 14.6	22 45.8	12 25.0	1 2.1
	40歳代	60 100.0	8 13.3	22 36.7	20 33.3	9 15.0	1 1.7
	50歳代	79 100.0	21 26.6	24 30.4	21 26.6	9 11.4	4 5.1
	60歳代	85 100.0	11 12.9	21 24.7	29 34.1	18 21.2	6 7.1
	70歳以上	56 100.0	10 17.9	11 19.6	15 26.8	8 14.3	12 21.4
	女性計	453 100.0	52 11.5	106 23.4	131 28.9	111 24.5	53 11.7
	20歳代	44 100.0	4 9.1	9 20.5	15 34.1	16 36.4	- -
	30歳代	61 100.0	4 6.6	16 26.2	16 26.2	21 34.4	4 6.6
	40歳代	80 100.0	14 17.5	21 26.3	26 32.5	15 18.8	4 5.0
	50歳代	75 100.0	9 12.0	21 28.0	28 37.3	11 14.7	6 8.0
	60歳代	111 100.0	14 12.6	25 22.5	29 26.1	28 25.2	15 13.5
	70歳以上	82 100.0	7 8.5	14 17.1	17 20.7	20 24.4	24 29.3

【全体】（A・B 取得状況）

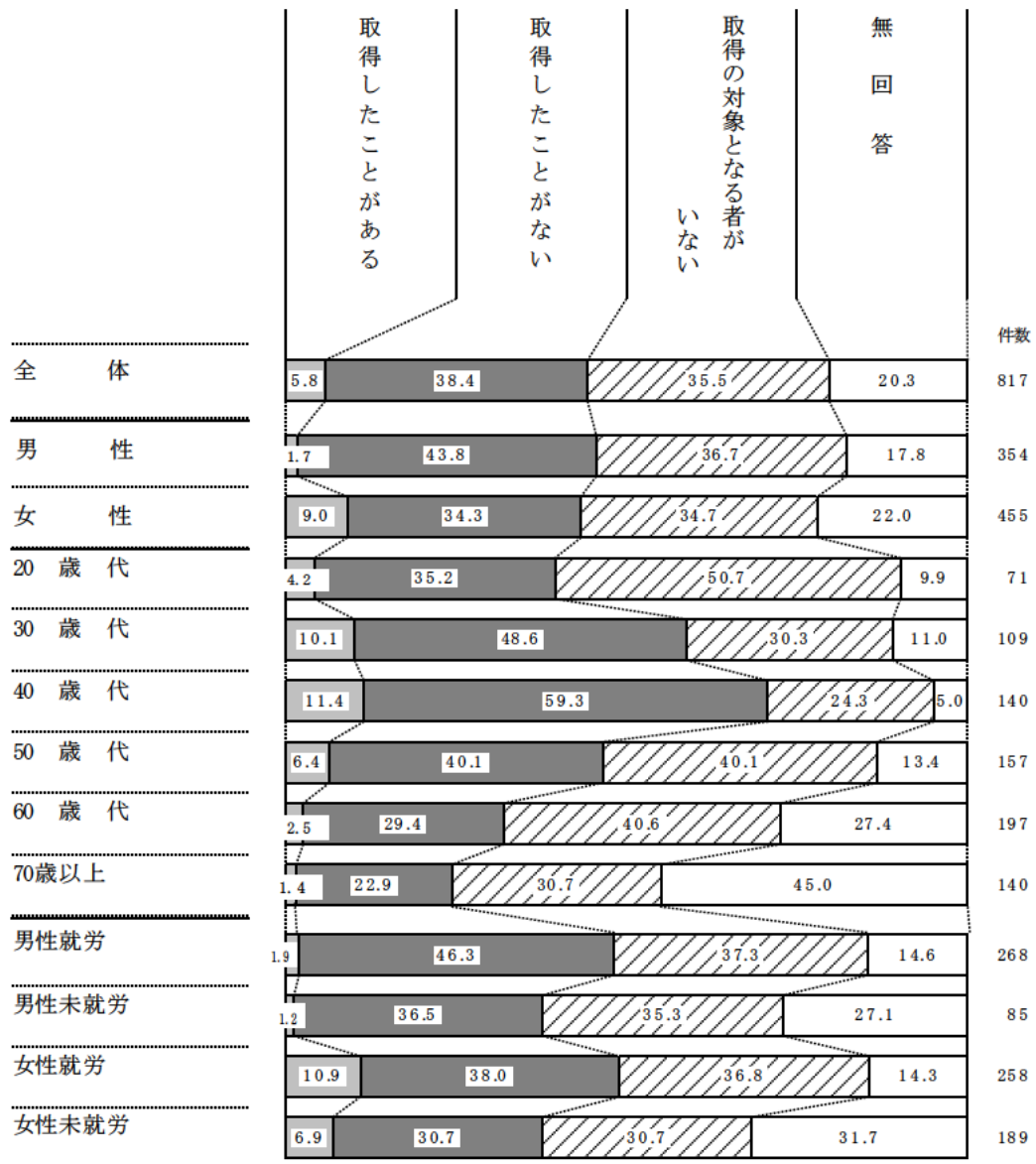
- 「取得したことがある」という回答はどちらも少数で、「A 育児休業制度」の取得率が 5.8% である。



【A 育児休業制度 取得状況】

- 「取得したことがある」は5.8%と少ない。以下「取得したことがない」(38.4%)、「取得の対象となる者がいない」(35.5%)である。
- 性別で見ると、女性は9.0%が取得している。
- 年齢別では、30歳代及び40歳代は取得率が10%強とやや高い。
- 性別・就労別では、女性就労者の取得率が10.9%とやや高い。

A 育児休業制度 [%]

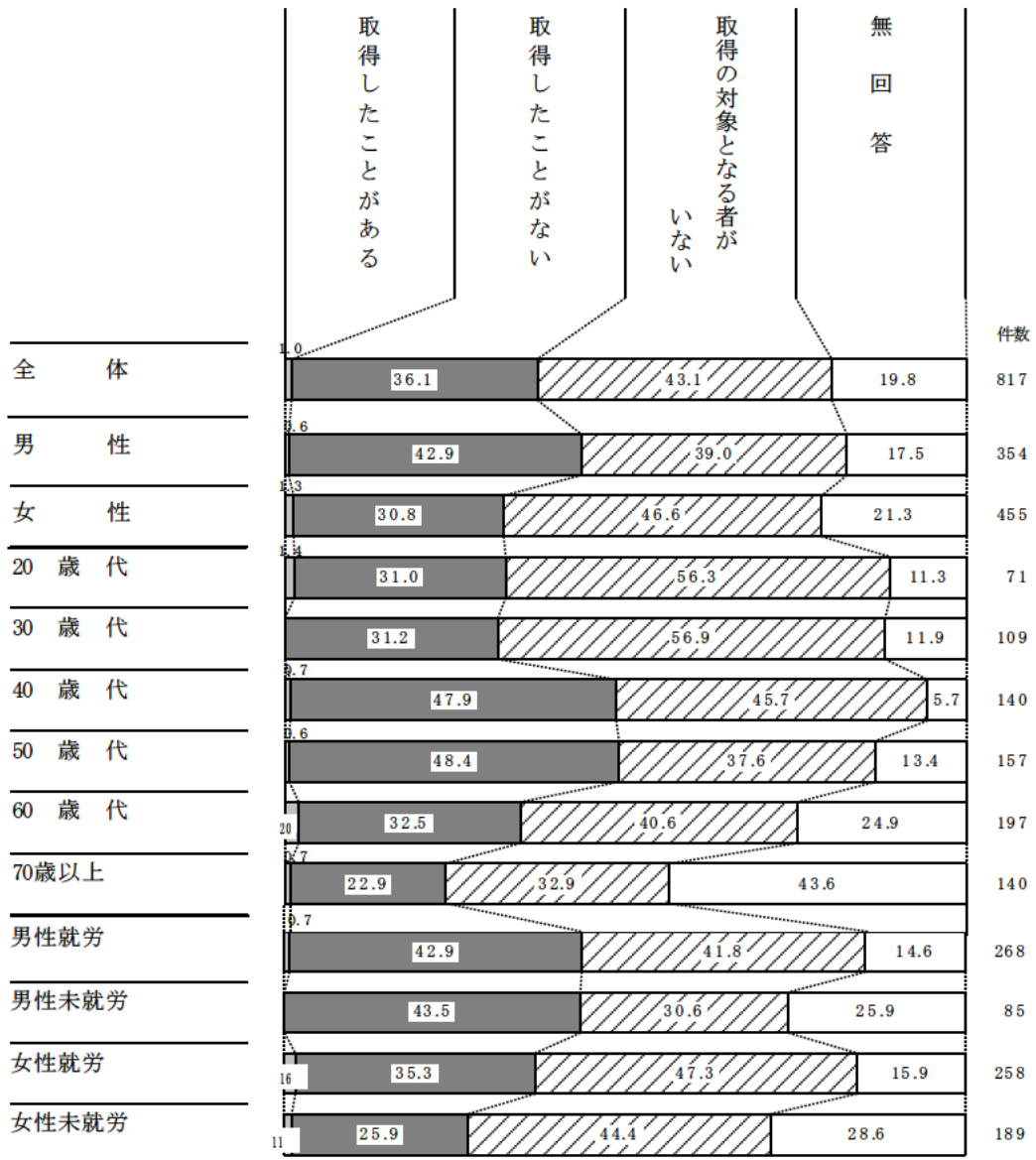


		A 育児休業制度[%]				
		全 体	取得したこ とがある	取得したこ とがない	取得の対象 となる者が いない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	47 5.8	314 38.4	290 35.5	166 20.3
	男性計	354 100.0	6 1.7	155 43.8	130 36.7	63 17.8
	20歳代	26 100.0	- -	10 38.5	11 42.3	5 19.2
	30歳代	48 100.0	- -	29 60.4	14 29.2	5 10.4
	40歳代	60 100.0	2 3.3	40 66.7	15 25.0	3 5.0
	50歳代	79 100.0	3 3.8	33 41.8	34 43.0	9 11.4
	60歳代	85 100.0	1 1.2	28 32.9	37 43.5	19 22.4
	70歳以上	56 100.0	- -	15 26.8	19 33.9	22 39.3
	女性計	453 100.0	41 9.1	156 34.4	158 34.9	98 21.6
	20歳代	44 100.0	3 6.8	15 34.1	24 54.5	2 4.5
	30歳代	61 100.0	11 18.0	24 39.3	19 31.1	7 11.5
	40歳代	80 100.0	14 17.5	43 53.8	19 23.8	4 5.0
	50歳代	75 100.0	7 9.3	29 38.7	29 38.7	10 13.3
	60歳代	111 100.0	4 3.6	29 26.1	43 38.7	35 31.5
	70歳以上	82 100.0	2 2.4	16 19.5	24 29.3	40 48.8

【B 介護休業制度 取得状況】

- 「取得したことがある」は1.0%と極めて少ない。
- 年齢別では、30歳代以下は「取得の対象となる者がいない」が60%弱と高い。

B 介護休業制度 [%]



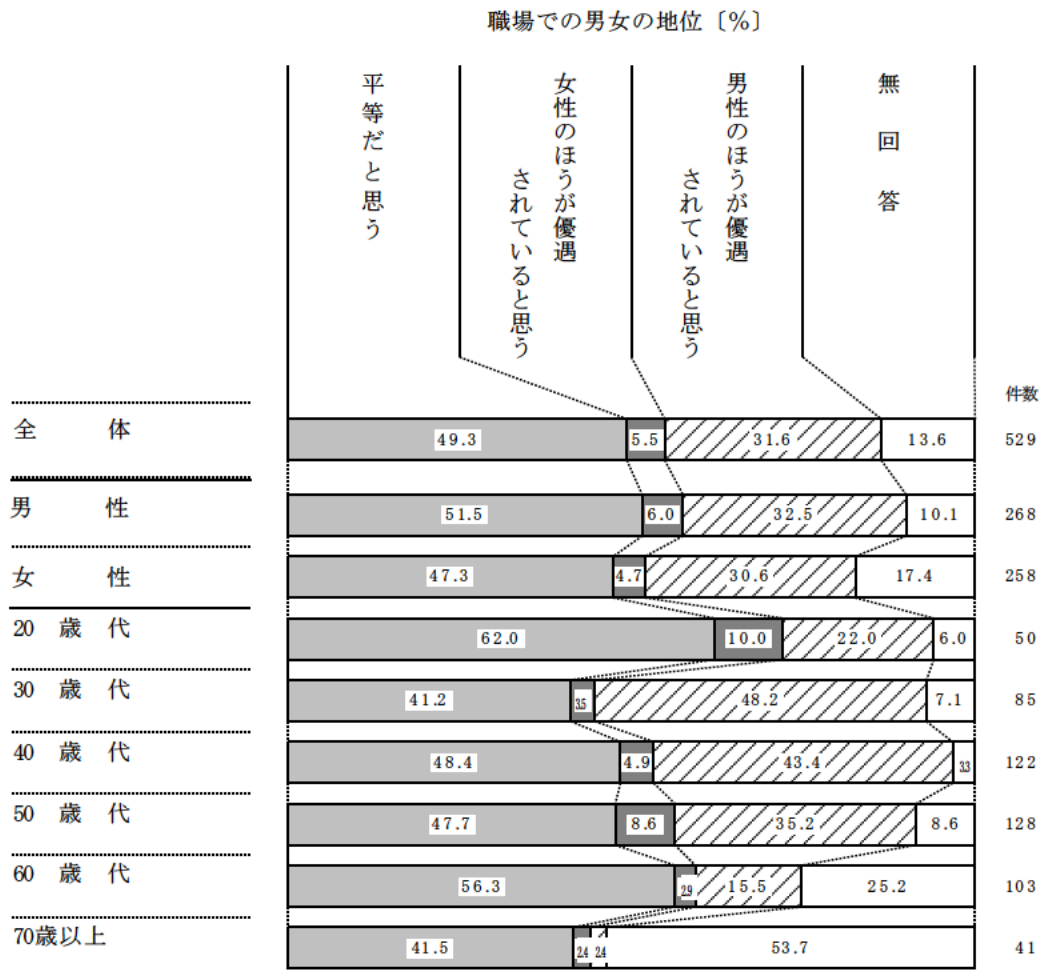
		B 介護休業制度[%]				
		全 体	取得したこ とがある	取得したこ とがない	取得の対象 となる者が いない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	8 1.0	295 36.1	352 43.1	162 19.8
	男性計	354 100.0	2 0.6	152 42.9	138 39.0	62 17.5
	20歳代	26 100.0	- -	10 38.5	10 38.5	6 23.1
	30歳代	48 100.0	- -	19 39.6	23 47.9	6 12.5
	40歳代	60 100.0	- -	28 46.7	29 48.3	3 5.0
	50歳代	79 100.0	- -	43 54.4	27 34.2	9 11.4
	60歳代	85 100.0	1 1.2	34 40.0	32 37.6	18 21.2
	70歳以上	56 100.0	1 1.8	18 32.1	17 30.4	20 35.7
	女性計	453 100.0	6 1.3	140 30.9	212 46.8	95 21.0
	20歳代	44 100.0	1 2.3	12 27.3	29 65.9	2 4.5
	30歳代	61 100.0	- -	15 24.6	39 63.9	7 11.5
	40歳代	80 100.0	1 1.3	39 48.8	35 43.8	5 6.3
	50歳代	75 100.0	1 1.3	32 42.7	32 42.7	10 13.3
	60歳代	111 100.0	3 2.7	29 26.1	48 43.2	31 27.9
	70歳以上	82 100.0	- -	13 15.9	29 35.4	40 48.8

(5) 職場での男女の地位

※現在、働いている方を対象

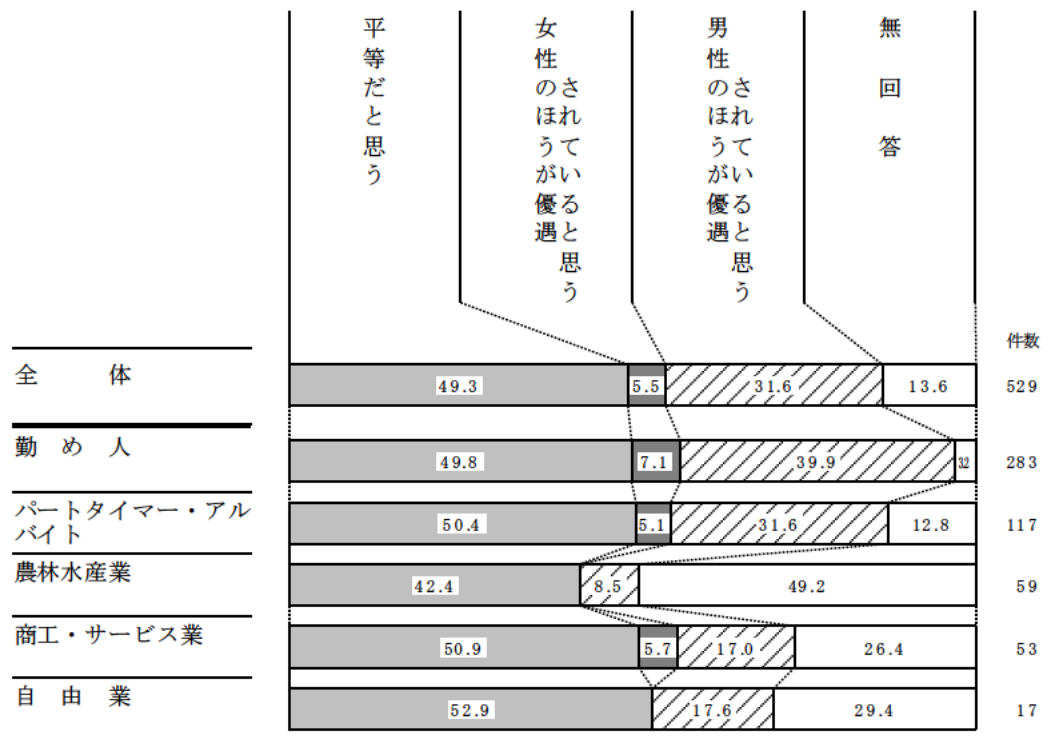
問 13. あなたの働いているところでは、女性と男性は平等だと思いますか。

- 「平等だと思う」が 49.3%と最も多く、次いで「男性のほうが優遇されていると思う」が 31.6%となっている。
- 性別で見ると、男性は「平等だと思う」が 51.5%と女性（47.3%）を 4.2 ポイント上回る。
- 年齢別では、30 歳代及び 40 歳代は、「男性のほうが優遇されていると思う」が他の年代に比べて高く、60 歳代では「平等だと思う」が 56.3%と高い。
- 職業別では、勤め人で「男性のほうが優遇されていると思う」が 39.9%とやや高い。



		職場での男女の地位 (%)				
		全 体	平等だと思 う	女性のほう が優遇され ていると思 う	男性のほう が優遇され ていると思 う	無回答
性年齢別	全 体	529 100.0	261 493	29 5.5	167 31.6	72 13.6
	男性計	268 100.0	138 515	16 6.0	87 32.5	27 10.1
	20歳代	18 100.0	10 55.6	2 11.1	5 27.8	1 5.6
	30歳代	45 100.0	20 44.4	1 2.2	20 44.4	4 8.9
	40歳代	56 100.0	24 42.9	5 8.9	26 46.4	1 1.8
	50歳代	73 100.0	40 54.8	6 8.2	24 32.9	3 4.1
	60歳代	50 100.0	33 66.0	1 2.0	11 22.0	5 10.0
	70歳以上	26 100.0	11 42.3	1 3.8	1 3.8	13 50.0
	女性計	258 100.0	122 47.3	12 4.7	79 30.6	45 17.4
	20歳代	32 100.0	21 65.6	3 9.4	6 18.8	2 6.3
	30歳代	40 100.0	15 37.5	2 5.0	21 52.5	2 5.0
	40歳代	66 100.0	35 53.0	1 1.5	27 40.9	3 4.5
	50歳代	52 100.0	20 38.5	4 7.7	20 38.5	8 15.4
	60歳代	53 100.0	25 47.2	2 3.8	5 9.4	21 39.6
	70歳以上	15 100.0	6 40.0	- -	- -	9 60.0

職場での男女の地位 [%]

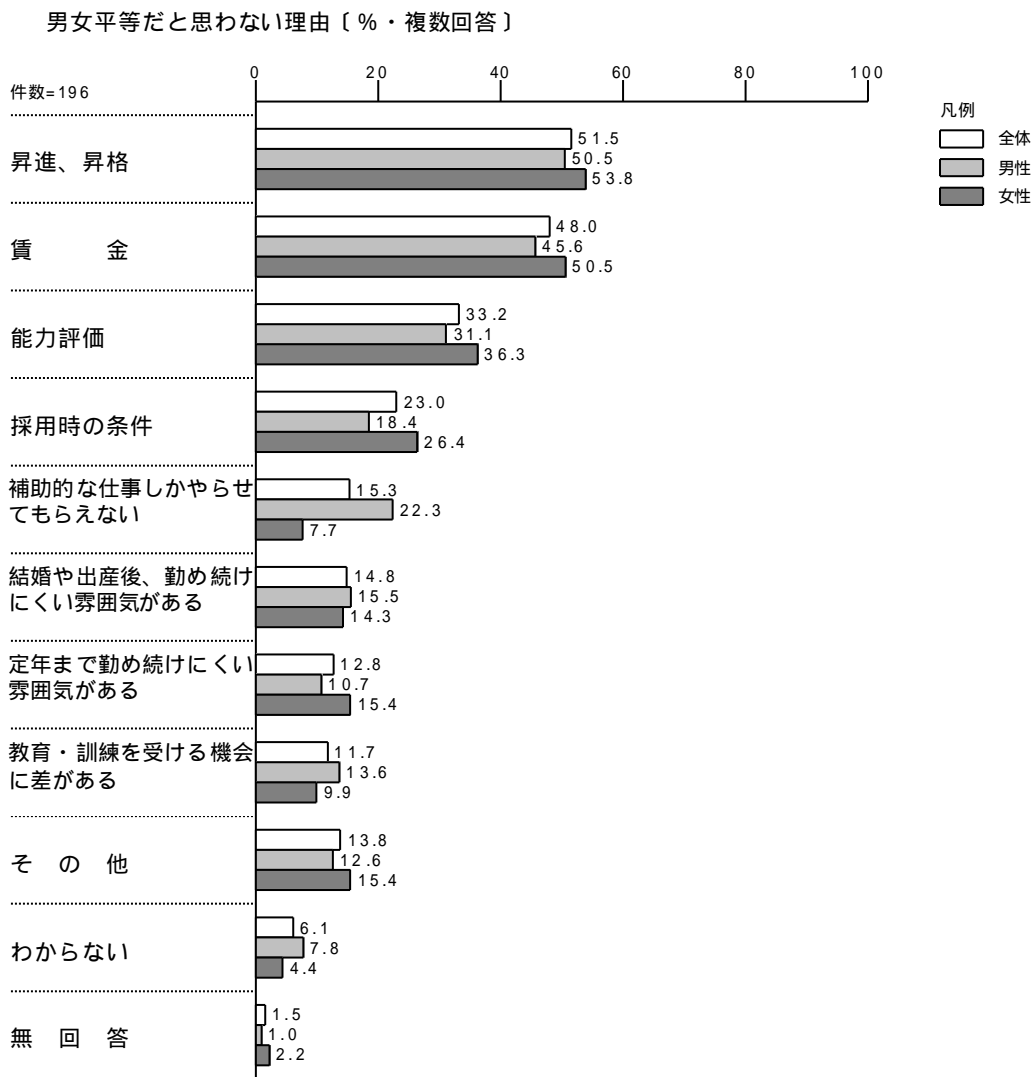


(6) 男女平等だと思わない理由

前問で「女性のほうが優遇されていると思う」若しくは「男性のほうが優遇されていると思う」と回答した方を対象

問 13 - 1 . あなたの働いているところで男女が平等だと思わないのは、どのようなことですか。

- 「昇進・昇格」(51.5%)と「賃金」(48.0%)が多く、以下「能力評価」(33.2%)、「採用時の条件」(23.0%)である。
- 性別で見ると、男性は「補助的な仕事しかやらせてもらえない」が22.3%と女性(7.7%)よりも14.6ポイント上回る。

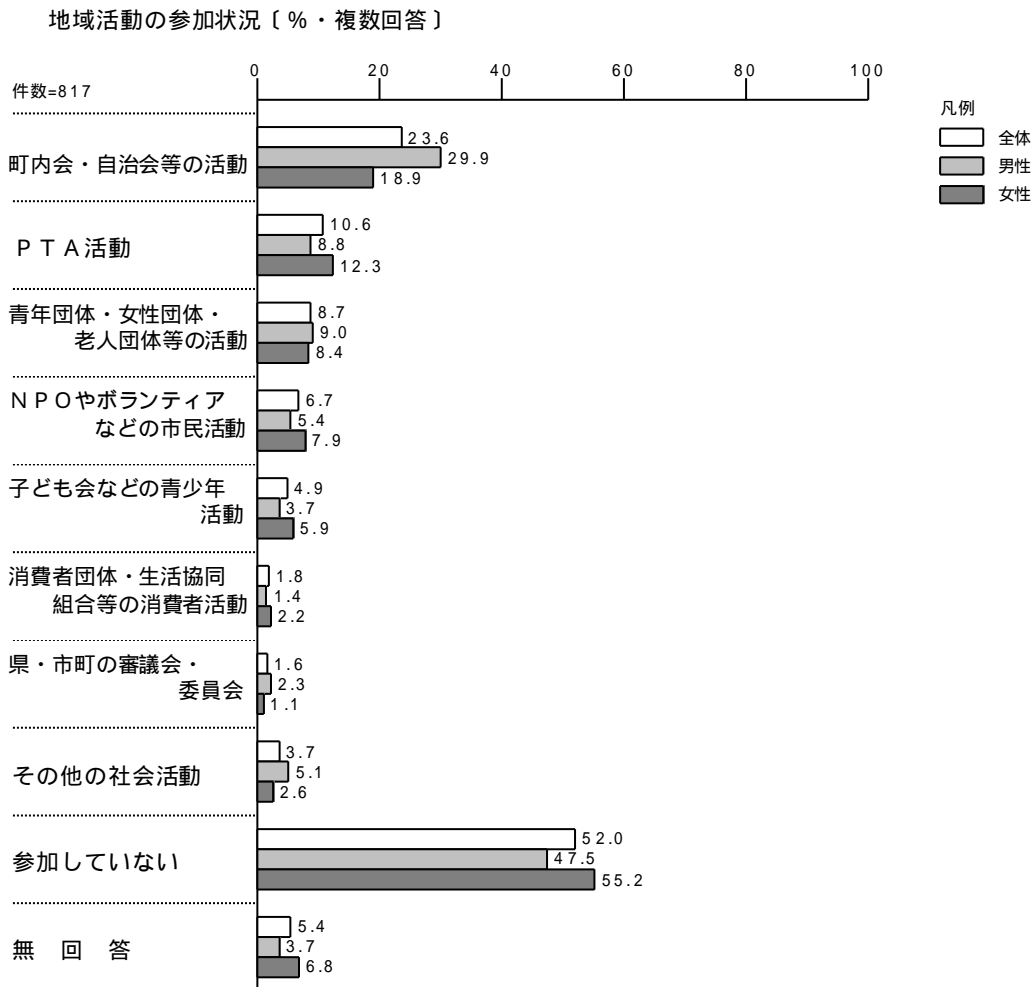


4 社会活動等について

(1) 地域活動の参加状況

問 14 . あなたは次のような活動をしていますか。

- 「参加していない」が 52.0%と最も多く、参加が多い地域活動としては、「町内会・自治会等の活動」(23.6%)、「PTA活動」(10.6%)、「青年団体・女性団体・老人団体等の活動」(8.7%)である。
- 性別で見ると、男性は「町内会・自治会等の活動」が 29.9%と女性(18.9%)よりも 11.0 ポイント上回る。

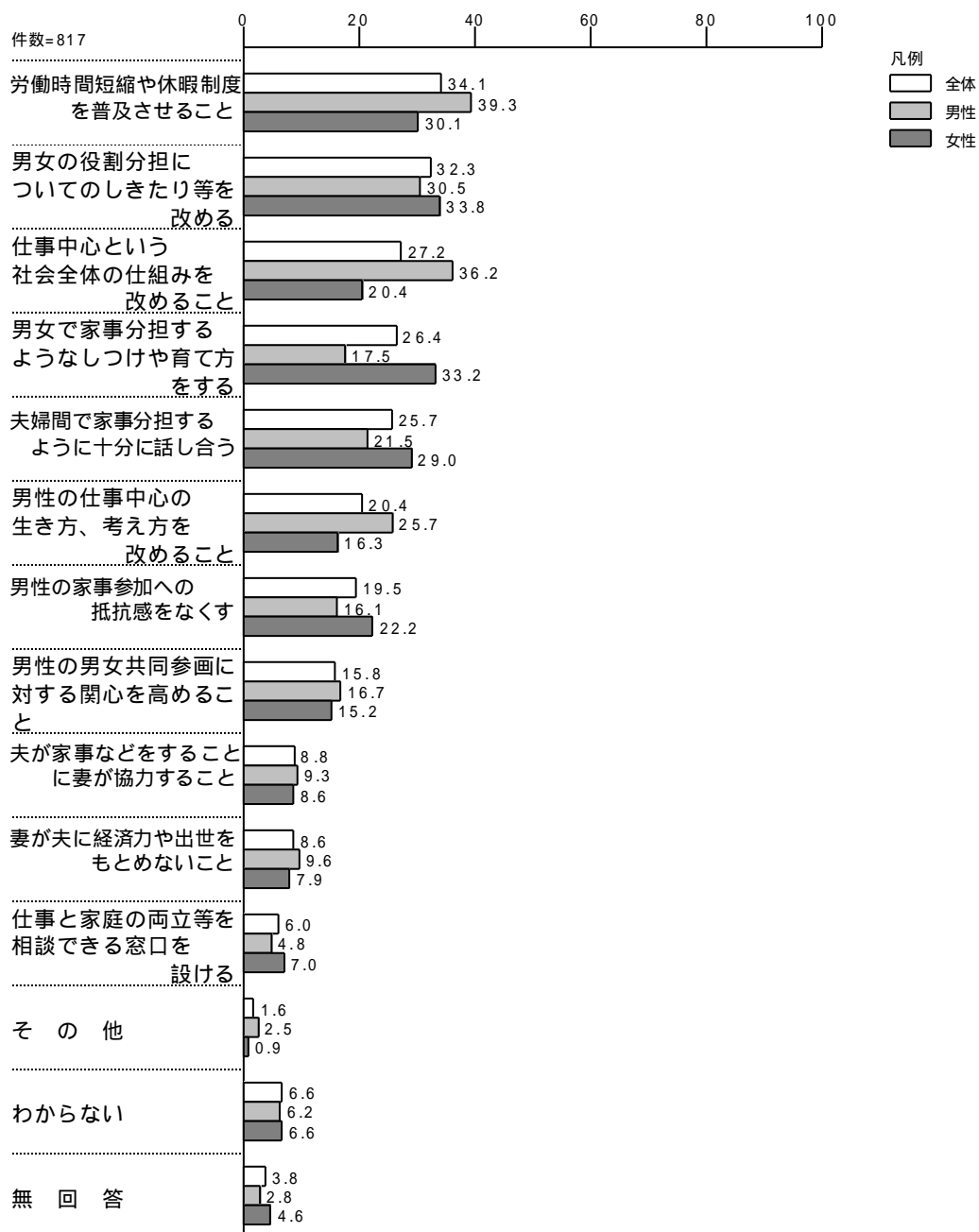


(2) 男性の参加促進に必要なこと

問 15 . 今後、男性が女性とともに家事、子育てや教育、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- 「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」(34.1%)と「男女の役割分担についてのしきたり等を改める」(32.3%)が多く、以下「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」(27.2%)、「男女で家事分担するようなしつけや育て方をする」(26.4%)、「夫婦間で家事分担するように十分に話し合う」(25.7%)である。
- 性別で見ると、男性は「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」(39.3%)、「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」(36.2%)が高く、女性は「男女の役割分担についてのしきたり等を改める」(33.8%)、「男女で家事分担するようなしつけや育て方をする」(33.2%)が高い。

男性の参加促進に必要なこと〔%・複数回答〕

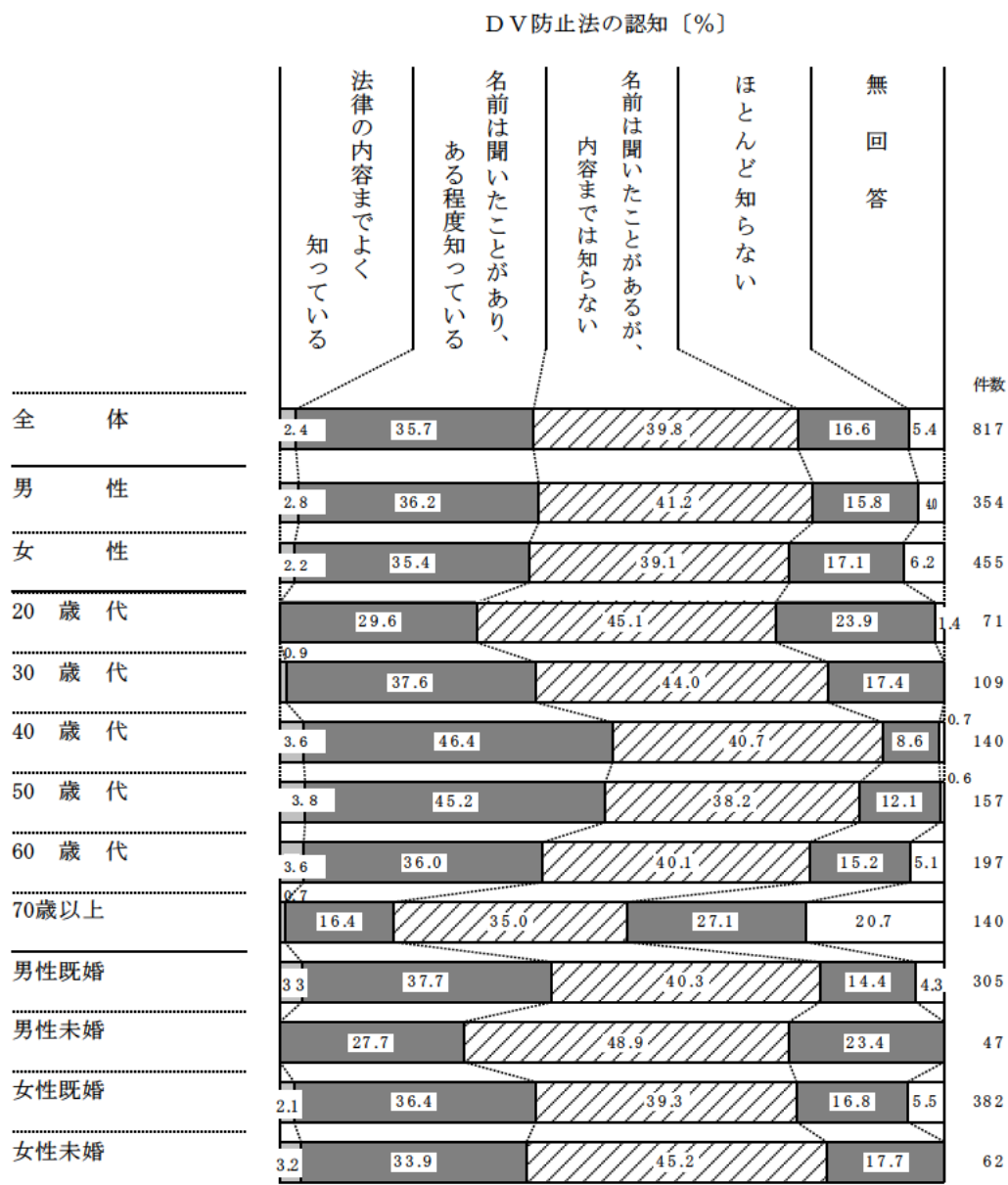


5 女性の人権、DVなどの男女間の暴力について

(1) DV防止法の認知度

問 16. あなたは、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」（通称：DV防止法）をご存じですか。

- 「名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」（39.8%）と「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」（35.7%）に回答が二分され、「ほとんど知らない」が16.6%、「法律の内容までよく知っている」は2.4%と僅かである。
- 年齢別では、40歳代及び50歳代の『知っている』が比較的高い。



※『知っている』は、本来の選択肢の「法律の内容までよく知っている」と「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」の割合を合計したものである。以降のページも同様。

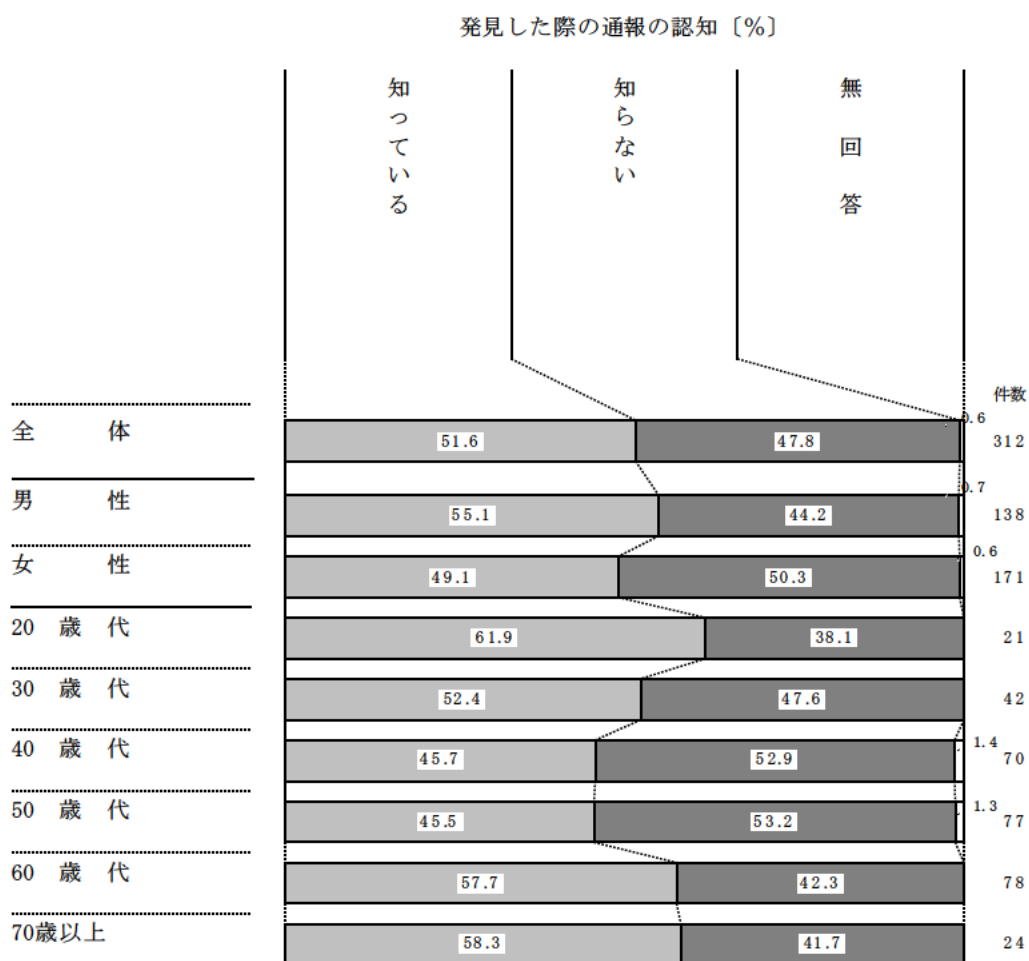
		DV防止法の認知[%]					
		全 体	法律の内容 までよく知っ ている	名前は聞い たことがあ り、ある程 度知っている	名前は聞い たことがあ るが、内容 までは知ら ない	ほとんど知 らない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	20 2.4	292 35.7	325 39.8	136 16.6	44 5.4
	男性計	354 100.0	10 2.8	128 36.2	146 41.2	56 15.8	14 4.0
	20歳代	26 100.0	- -	9 34.6	12 46.2	4 15.4	1 3.8
	30歳代	48 100.0	1 2.1	13 27.1	24 50.0	10 20.8	- -
	40歳代	60 100.0	- -	28 46.7	23 38.3	9 15.0	- -
	50歳代	79 100.0	6 7.6	37 46.8	26 32.9	9 11.4	1 1.3
	60歳代	85 100.0	3 3.5	31 36.5	35 41.2	12 14.1	4 4.7
	70歳以上	56 100.0	- -	10 17.9	26 46.4	12 21.4	8 14.3
	女性計	453 100.0	10 2.2	161 35.5	178 39.3	77 17.0	27 6.0
	20歳代	44 100.0	- -	12 27.3	20 45.5	12 27.3	- -
	30歳代	61 100.0	- -	28 45.9	24 39.3	9 14.8	- -
	40歳代	80 100.0	5 6.3	37 46.3	34 42.5	3 3.8	1 1.3
	50歳代	75 100.0	- -	31 41.3	34 45.3	10 13.3	- -
	60歳代	111 100.0	4 3.6	40 36.0	43 38.7	18 16.2	6 5.4
	70歳以上	82 100.0	1 1.2	13 15.9	23 28.0	25 30.5	20 24.4

(2) 発見した際の通知の認知

※前問で、「法律の内容までよく知っている」若しくは「名前は聞いたことがあり、ある程度知っている」と回答した方を対象

問 16-1. DV防止法では、配偶者からの暴力を受けている人を見つけた場合は配偶者暴力相談支援センター等へ通報するよう呼びかけていますが、このことをあなたはご存じですか。

- 「知っている」が51.6%と、「知らない」(47.8%)よりもやや高い。
- 年齢別では、40歳代、50歳代は「知らない」が50%強とやや高い。



※20歳代、30歳代、70歳以上の回答者は少数のため、分析から除いている。

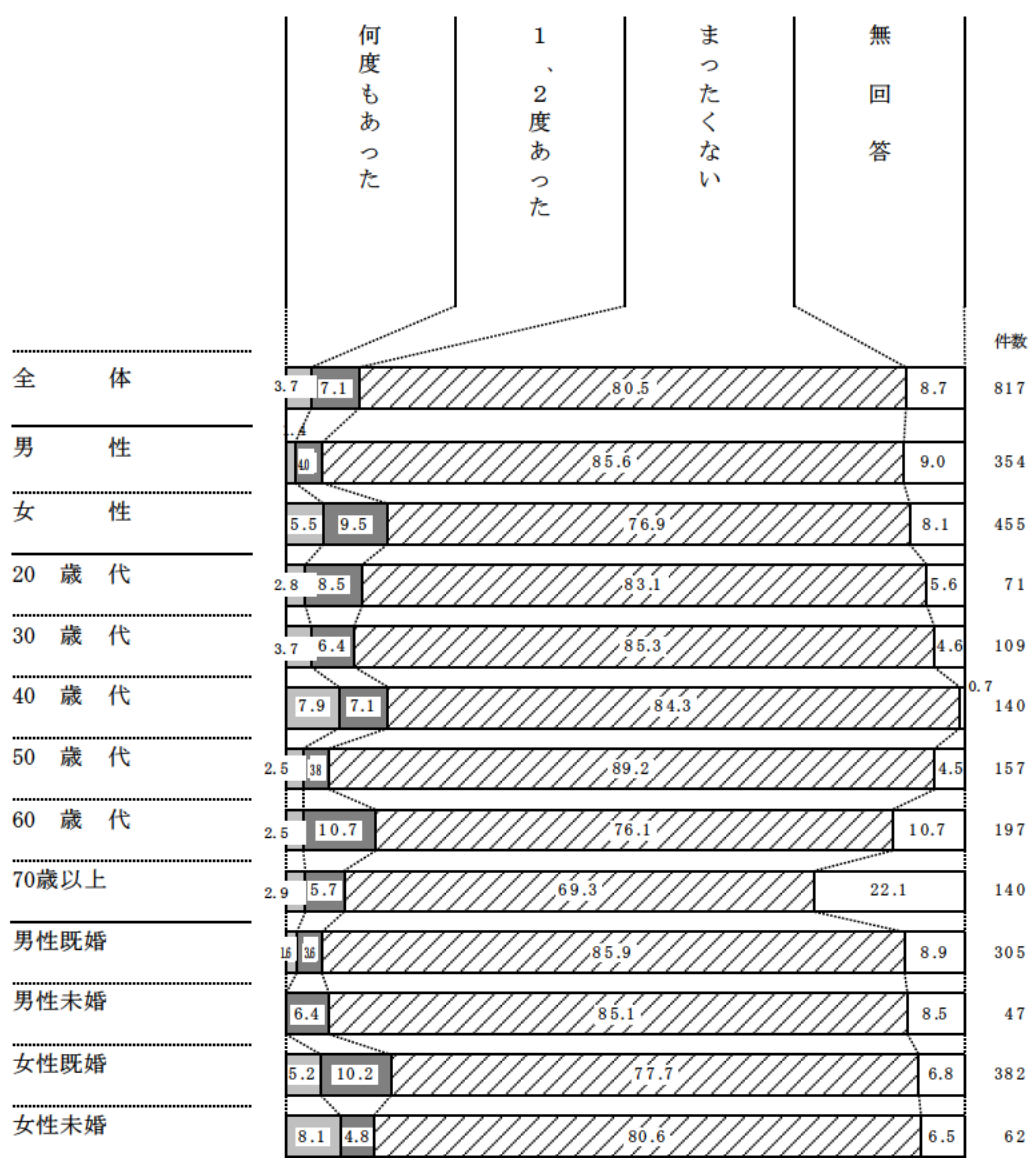
		発見した際の通報の認知(%)			
		全 体	知っている	知らない	無回答
性年齢別	全 体	312 100.0	161 51.6	149 47.8	2 0.6
	男性計	138 100.0	76 55.1	61 44.2	1 0.7
	20歳代	9 100.0	7 77.8	2 22.2	- -
	30歳代	14 100.0	7 50.0	7 50.0	- -
	40歳代	28 100.0	11 39.3	16 57.1	1 3.6
	50歳代	43 100.0	21 48.8	22 51.2	- -
	60歳代	34 100.0	22 64.7	12 35.3	- -
	70歳以上	10 100.0	8 80.0	2 20.0	- -
	女性計	171 100.0	84 49.1	86 50.3	1 0.6
	20歳代	12 100.0	6 50.0	6 50.0	- -
	30歳代	28 100.0	15 53.6	13 46.4	- -
	40歳代	42 100.0	21 50.0	21 50.0	- -
	50歳代	31 100.0	13 41.9	17 54.8	1 3.2
	60歳代	44 100.0	23 52.3	21 47.7	- -
	70歳以上	14 100.0	6 42.9	8 57.1	- -

(3) 男女間の暴力を受けた経験の有無

問 17. あなたは、これまでに、あなたの配偶者（事実婚や別居中、離婚後を含む）や恋人から、身体的・精神的・性的・経済的暴力を受けたことがありますか。

- 「まったくない」が80.5%と大多数を占めているが、「何度もあった」(3.7%)と「1、2度あった」(7.1%)は合わせると10.8%が暴力を受けたことがある。
- 性別で見ると、女性は「何度もあった」(5.5%)と「1、2度あった」(9.5%)を合わせると、15.0%となり、男性(5.4%)よりも9.6ポイント高い。
- 性別・就労別では、女性既婚者は「何度もあった」(5.2%)と「1、2度あった」(10.2%)を合わせると15.4%となる。

男女間の暴力を受けたこと〔%〕



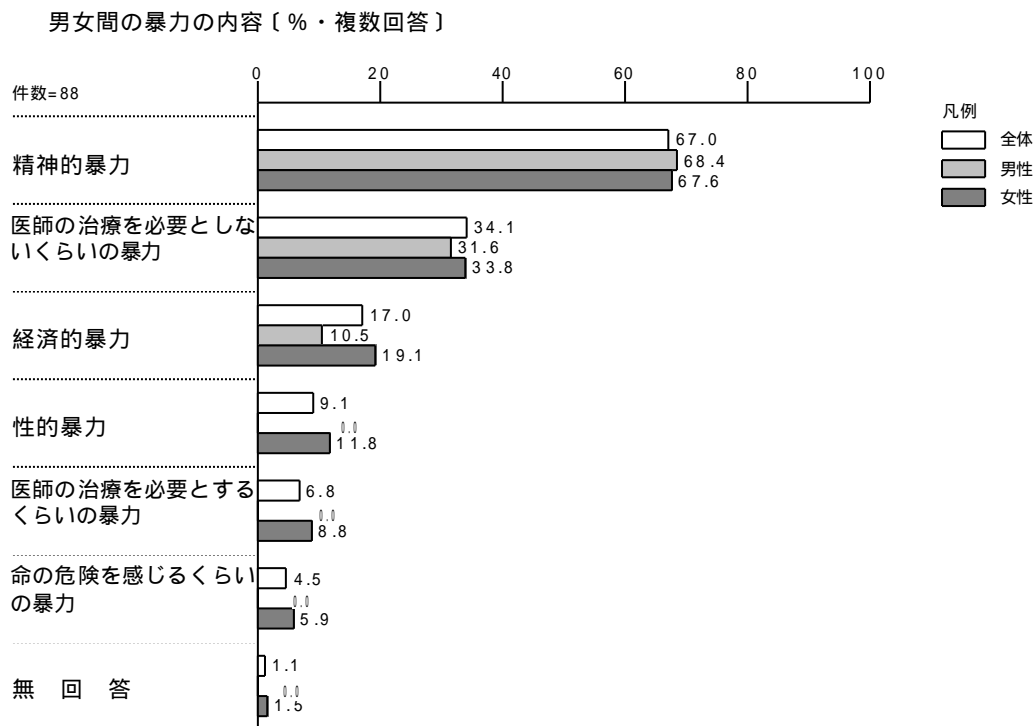
		男女間の暴力を受けたこと(%)				
		全 体	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない	無回答
性年齢別	全 体	817 100.0	30 3.7	58 7.1	658 80.5	71 8.7
	男性計	354 100.0	5 1.4	14 4.0	303 85.6	32 9.0
	20歳代	26 100.0	- -	2 7.7	22 84.6	2 7.7
	30歳代	48 100.0	1 2.1	2 4.2	40 83.3	5 10.4
	40歳代	60 100.0	2 3.3	3 5.0	54 90.0	1 1.7
	50歳代	79 100.0	1 1.3	2 2.5	70 88.6	6 7.6
	60歳代	85 100.0	1 1.2	5 5.9	69 81.2	10 11.8
	70歳以上	56 100.0	- -	- -	48 85.7	8 14.3
	女性計	453 100.0	25 5.5	43 9.5	349 77.0	36 7.9
	20歳代	44 100.0	2 4.5	4 9.1	36 81.8	2 4.5
	30歳代	61 100.0	3 4.9	5 8.2	53 86.9	- -
	40歳代	80 100.0	9 11.3	7 8.8	64 80.0	- -
	50歳代	75 100.0	3 4.0	4 5.3	67 89.3	1 1.3
	60歳代	111 100.0	4 3.6	16 14.4	80 72.1	11 9.9
	70歳以上	82 100.0	4 4.9	7 8.5	49 59.8	22 26.8

(4) 暴力の内容及び暴力を受けた際の相談先

前問で「何度もあった」若しくは「1、2度あった」と回答した方を対象

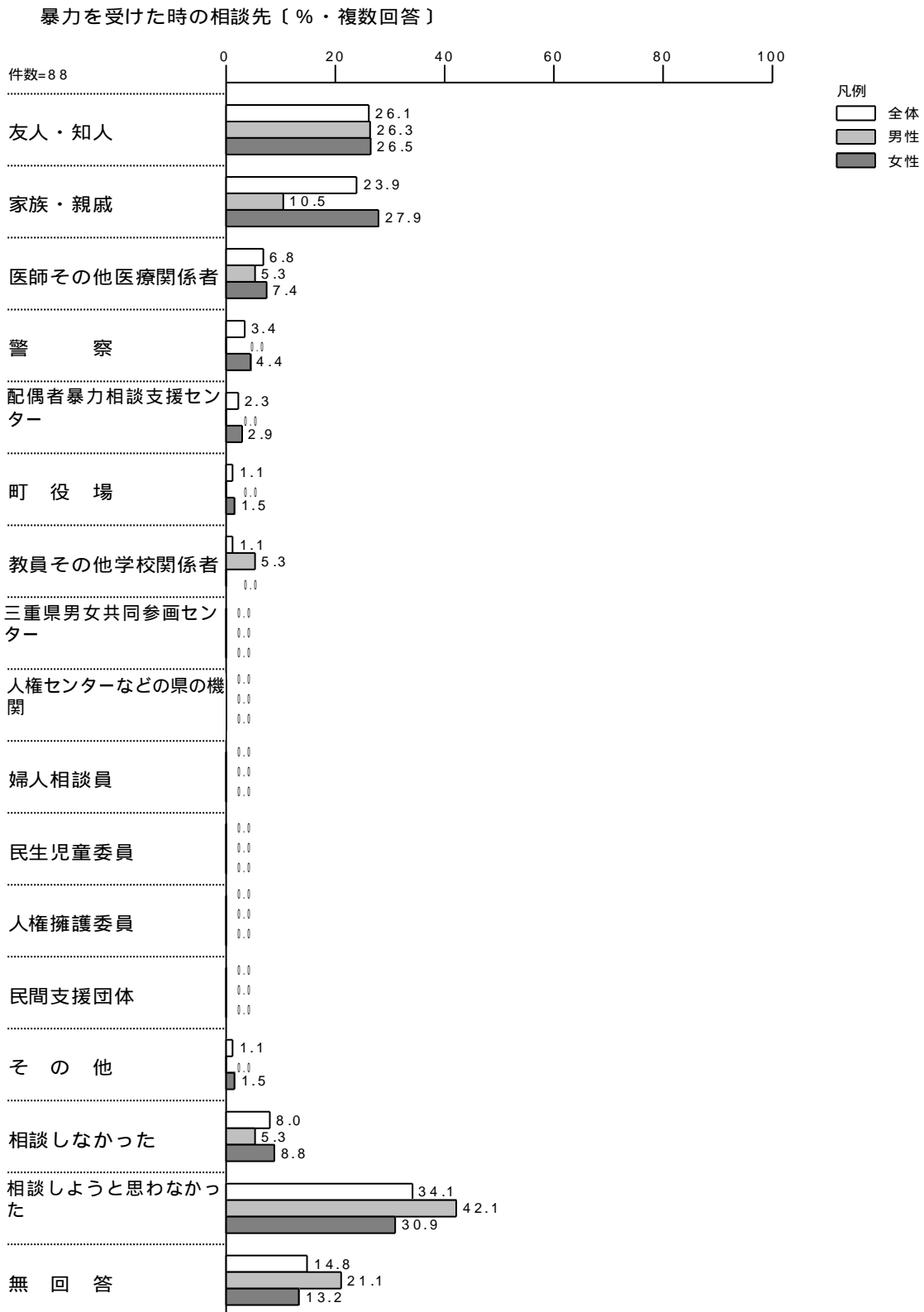
問 17 - 1 . どのような暴力を受けましたか。

- 「精神的暴力」が67.0%と最も高く、以下「医師の治療を必要としないくらいの暴力」(34.1%)、「経済的暴力」(17.0%)である。



問 17 - 2 . あなたはこれまでに、問 17 であげたような配偶者や恋人からの行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

- 「相談しようと思わなかった」が 34.1%と高く、以下「友人・知人」(26.1%)、「家族・親戚」(23.9%)である。



(5) 暴力を受けた際に相談しなかった理由

前問で相談をしなかった方を対象

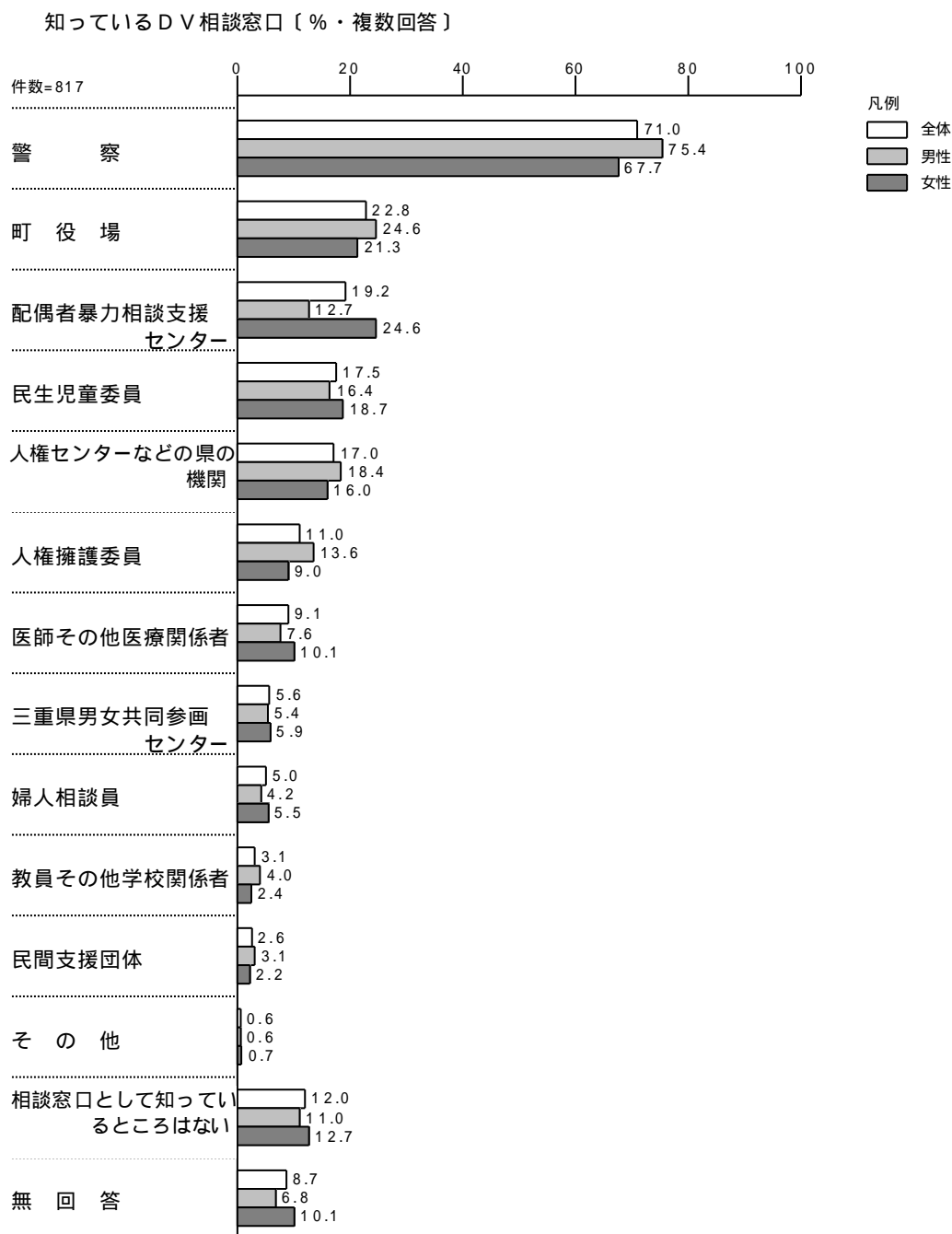
問 17 - 3 . 相談しなかった主な理由は何ですか。

		相談しなかった理由(%・複数回答)												
		全 体	誰に相談してよいのかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると仕返しされると思ったから	相談相手の言動から不快な思いをすと思うたから	自分さえ我慢すれば何とかやっつけられると思ったから	世間体が悪いと思ったから	他人を巻き込みたくなかったから	自分に悪いところがあると思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答
性年齢別	全 体	36 100.0	1 2.8	6 16.7	11 30.6	1 2.8	1 2.8	15 41.7	4 11.1	4 11.1	9 25.0	17 47.2	3 8.3	-
	男性計	9 100.0	-	-	4 44.4	-	-	2 22.2	2 22.2	-	1 11.1	4 44.4	-	-
	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0	-	-
	50歳代	2 100.0	-	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60歳代	5 100.0	-	-	2 40.0	-	-	2 40.0	2 40.0	-	1 20.0	2 40.0	-	-
	70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性計	26 100.0	1 3.8	6 23.1	7 26.9	1 3.8	1 3.8	13 50.0	2 7.7	4 15.4	8 30.8	12 46.2	3 11.5	-
	20歳代	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-
	30歳代	4 100.0	-	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	-	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-
	40歳代	6 100.0	-	2 33.3	1 16.7	-	-	4 66.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	-	-
	50歳代	2 100.0	-	2 100.0	1 50.0	-	-	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-
	60歳代	6 100.0	-	-	2 33.3	-	1 16.7	3 50.0	-	1 16.7	3 50.0	4 66.7	-	-
	70歳以上	6 100.0	-	1 16.7	1 16.7	-	-	2 33.3	-	-	-	3 50.0	1 16.7	-

(6) 知っているDV相談窓口

問 18 . 配偶者や恋人の間で、相手から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者のうち、知っているものを次の中からいくつかでも選んでください。

- 「警察」が71.0%と突出しており、以下「町役場」(22.8%)、「配偶者暴力相談支援センター」(19.2%)である。
- 性別で見ると、女性は「配偶者暴力相談支援センター」が24.6%と、男性(12.7%)よりも11.9ポイント高い。



6 自由意見

自由意見のまとめ（多かった意見上位5位）

1位	26件；男性と女性はそれぞれ異なる特性や特質を持っているので、男女が互いに助け合うべき。
2位	9件；情報提供を希望。勉強会等役場からPRしてほしい。
3位	8件；子育て支援環境の充実。（託児所等、雇用側の理解）
4位	6件；男女共同参画の内容・活動がわからない。
5位	5件；実現の為に家庭、学校、社会全体で教育することが必要。
5位	5件；職場などで女性であることを「盾」にし、甘える風潮がある。

- 13.7%（112件）の記入があった。